## いわゆる「密約」問題に関する調査 その他関連文書

(1. 1960 年 1 月の安保条約改定時の核持込みに関する「密約」問題関連) (4分冊の1)

## 【注意事項】

- 〇このファイルは多数のページがあります。
- 〇印刷する際には留意願います。

問大 題臣 K I b 米と て大 便 IC 魁 鮻 萝 ス Ė 当 面 Ø 安 全 保 闡

つ

三 三 珥, ---29 米 保 10

先 般 Ø 総 選 滋 は 内 間 魁 2 L て は 労 懄 M 園 文 數 間 顋 鹞 8 存

L た Z(K 外 Ę • 防 衛 岡 顧 17 於 7 両 觉 Ø 圈 IC 漿 Š 大 à な M た b **4**2. あ

> た ح 思 ゥ ٥ 遊 滋 Ø 結 果 は 御 涿 知 Ø 通 b て 冯 D 外 交 ٥

1C

볤

L

て

云

. 📆

社

会

党

個

**7**/5

熱

心

VC

政

孌

を

展

開

L

た

K

拘

5

-g|--

•

Ė

防

衡

問

顯

民 党 Ø 政 Ħ M U 撿 女 る 支 狩 一切 变 b žĆX な d. 7 た ٤ 調 ゥ C ح x): 出 來 る یے

思 9 4 偶 À 岸 総 Щ 助 米 1 b 年 K 左 る Ø 7 • 此 Ø 殿 肚 Ø 年 Ø

蕊 弘 答 M L 7 当 M 0 H 臌 考 ^ 7 兒 庱 Va O

阼 年 大 月 0 掛 総 型 助 米 K 先 77 5 総 理 2 嬍 大 使 ٤ Ø 李 儲 的 会 瓣

0

騤 w 安 全 保 園 M 圝 C N L 総 H は

(1) 安 保 樂 約 蒼 聯 麒 Ø 変 化 ic ħII. L て 政 正 步 ~ Ė 点 ٤ L

1.

粂

約

K

基

Ė

醉

圝

寸

る

米

重

Ø

配

傰

及

使

用

IJ.

原

則

ح

L

て

日

米

相

て

互 0 合 鸑 M 1 っ て 行 わ 12 る \*\* Š. ح

ځ

2

夈

約

ع

運

癥

M

0

係

ż

朔

6

Ż

VC

す

~

B.

ح

1

3. 樂 約 VC 期 腿 \* 付 す ~ B ح と

Ø \*\*\*\*\* 点 C 囯 及 t n る ٤ 共 K

(11) 日 本 は H 防 会 磁 7 決 定 7 n る ~ B 髮 期 防 衡 力 整 儞 計 圃 10 從 Va

的 访 靐 衛 憎 力 渐 堂 楽 麣 0-L 簩 カ 米 奎 統 讨 位 헲 る 上 Χ'n 戦 自 部 衛 戀 飲 Ø Ø 全 愕 面 成 並 的 癥 C 遇 K \* 政 含 治 J. 的 極、 心 瑯 力

米 箪 を 削 滅 士 る ح 共 VC \* 米 壐 施 設 Ø 聹 檢 討 \* 弒 办 \$ 檄 婴 女 る

旨 息) を 述 ~ 6 礼 た 0 而 L 7 此 鹞 Ø 叔 は 日 米 会 鹸 0 廢 充 分 検 討 관 5

n 主 ٤ L て 前 記 (1) Ø 网 係 K 於 T B 米 安 保 委 Щ N. 発 足 L 叉 (tr)

Ø 分 野 VC 於 7 rt 地 上 戰 di 部 隊 Ø 全 面 的 撒 退 È 含 T. 米 饵 0 大 爏 削 滅

を見た次第である。

폭 斯 ≺ L 7 過 去 年 0 間 IC 於 7 安 全 保 蹬 0 分 野 VC 於 H る H

米

関

係 K K 相 渌 **(**) 進 遯 Ž 兒 6 12 九 ZZX ` 此 0 M \* 胜 年 秋 ソ - Pit ŽŽ. 大 陸 鍛

鄧 ح 人 工 衛 墨 IC 依 つ 7 軍 酄 科 技 循 Ø 進 懋 を 髂 示 L T 以 来 ` 共

伽 は 方 VC 於 7 自 曲 圍 営 Ø 抑 觗 力 Ø 中 心 た る 米 园 Ø 鬉 奪 力 VC

怒 \* 生 Ł L め **&** 檬 \* 叉 同 带 VC 局 地 戰 仐 瓷 否 定 L T 中 逾 半 觀 な 壐 備

は

繈

激

脒

7

ක්

3

٤

Ø

鑁

念

\*

釀

成

雪

る

檢

宜

伝

Ť

段

ح

盤

化

L

た

0

斯

廃

産

ŻÜ

< L 7 B 米 與 係 IC 蹴 7 見 Z Ġ \* HÚ 記 Ó 語 審 惛 یے 併 \* 此 Ø 綴 檢 討

を 要 少 ~ Ė 種 K Ø H 邇 ŽÍ. 生 超 L て VA る حے 思 Ġ

四 VC 関 以 下 連 具 L 体 自 的 籋 問 際 题 ۲ VC 在 つ 日 Va 米 7 重 考 0 ^ 協 て 力 見 废 0 æ M 本 欢 \* 原 則 其 0 Ø 問 題 は 7 前 為 記 \_\_\_ る 0 Ø 此 (w)

Ø 問 驙 rt 鮹 五 回 H 米 袋 全 保 蹬 **※** 贖 会 Ø 際 自 分 办 5 言 及 L た ح ح žťx

あ る Υ'n. 玆 M 樂 返 L て 甘 う な 5 ば

(1)

安

保

籴

約

は

日

本

\*

É

衛

力

在

保

有

L

7

か

っ

た

빵

期

IC

成

立

L

た

Š

Ø て 澎 る zós. \* 現 Æ 日 本 は 若 干 Ø 自 衞 力 奎 具 栅 重 ろ K 至 つ た

(12) 日 本 Ø 自 徽 力 I 懵 成 Ø 初 脚 IC あ り . 日 本 及 橛 東 自 由 面 営 Ø

防

衚

Ø

為

め

自

衢

欧

2

在

日

米

搥

Ø

阔

IC

峦

接

な

齺

力

1/2

必

婴

で

あ

る

(m) 安 保 条 約 は 米 壐 Ø 懿 務 ž 規 定 L て 居 5 -g-\* 從 M 现 状 は • 双 方

0 薬 僚 录 局 間 Ø 7 解 查 緻 H ば 自 衛 睽 ح H 本 及 其 O 附 近 K 駐 留

す る 櫷 利 を 有 寸 る 米 軍 λγ. \* 羉 蜒 上 並 存 L て VA る W 過 \* 左 5 \*

Y \* 云 Ò 專 蜒 が 存 す る 0 H 米 友 好 M 係 Ø 現 状 ょ b 4 n ば 斯 る 盤

態 7 充 分 7 為 る کے 0 岩 方 Š あ b 得 ~ ₹ 叉 安 保 粂 約 Ž 双 務 觞 定

VC 政 め る と 云 う ح ح は H 本 0 癥 法 上 其 Ø 他 Ø 制 約 か 5 团 鮴 て あ る

ŽŠ. 例 ば 访 K 奥 L 北 海 瀘 Ø 米 空 囯 荻 移 駐 L て 航 20 自 衛 麽

Zig.

る

配 儞 さ れ る M 至 -た ح χħ \* 防 24 曫 儬 The state of 漸 進 的心 3 N 継 X 纖小 布 Ł て S

部 Ø 纏 舆 P あ Ŋ 3 現 奥 Ø 霉 膨 Ø 凝 付 け ح L て • 自 衞 際 ځ 在 H 米

Ø 協 力 閥 麅 VC 付 H 米 両 政 府 間 K 何 鹞 办 Ø 盐 本 的 了 解 を 邀 げ

る

必

窼

要 Ą. あ る ح 思 は 北 る O

斯 る 意 睞 Ø 7 解 ح L τ は

(4) 自 裔 歐 بح Æ H \* 簱 は H 本 地 城 及 礷 東 0

W

和

لح

灾

全

Ø

為

B

夫 K 其 0 内 法 Ø 腿 废 K 於 て \* 協 力 す る B Ø な る ح ح F 圃 政 府

間 VC 於 て 確 閣 L

(11) 具 体 的 IC は 例 ~ ば、 行 政 協 定 绑 + 四 粂 Ø 規 定 \* る 協 鷸 VC 関

予 め 趣 則 \* 糠 僚 坐 局 間 K 於 T 合 遬 世 L め る ح ٤ Š. 考 5 n る

尚 在 H ' 米 簠 熵 設 C, 虤 7 は 米 單 Ø 必 要 حے す 3 施 数 赱 極 力

볧

約

的 VC. 駿 理 L I 使 用 Ø 钀 橡 Ž 自 衢 燃 施 酸 奎 米 軍 χ'n, 共 同 使 用 す る

ځ 云 ゥ 麔 前 IC 改 め 7 行 < ح لے Š 研 究 中 べ ŧ C B る と 思 ゥ 0

廷 次 IC 核 兵 器 及 磁 苖 础 基 地 0 問 抖 釜 考 て 見 度 M ٥ 楤 兵 器 綸 争 は

胖 年 秋 Ø ソ 連 0 大 险 避 道 職 人 I 衛 羉 以 来 躞 ح 深 郊 0 麼 Ž. 加

其 0 後 共 産 鯦 田 0 非 檖 武 磁 地 帝 譭 證 Ø 提 唱 esp. ソ 趣 0 条 件 位付 方

B 的 世 梭 界 舆 的 鱍 盘 中 懎 止 声 IC 加 明 哿 Ø 在 ح 日 と 米 B 重 あ 撽 つ 退 た 0 Ø 殺 谯 行 1 IC K 由 M b L 慈 7 地 lt 翻 圝 以 上 Vi. 衢 Ø < 如

•

下 火 VC. な つ 7 来 た ح ح \$ あ っ 7 社 会 觉 其 0 他 Ø 左 湿 勢 力 ×35. 其 Ø 攻

離 0 矛 先 查 糭 兵 器 間 蹬 KC 築 中 L T 居 b 從 7 7 此 Ø 問 題 K は 幣 VC

敏 熈 7 あ る 我 趣 m は 避 K 刺 戟 3 n て VA る 舆 情 ~ あ る 0

3 n は 前 田 会 K 於 て は 野 党 It \* 核 兵 器 榜 込 問 題 VC 関 L 7 H

米

故 を る 两 必举 之 ح 政 • 敝 を չ 府 取 ع L M て 付 な IC 我 计 つ 如 な て 何 衞 M 2 ケ 終 土 办 3 る \* VC T Ď 入 叉 • 解 帲 る 若 χ'n ح 總 L 存 لے Ø 文 少 米 A)? 醫 る あ 空 IC **//**2 運 佼 る Ø 4 る 右 7 7 笧 は 七 安 は 解 鑑 保 な Vi. 歋 存 委 Va 办 0) L 鬥 얦 な 쑠 船 7 M 蓻 YE. 1 協 橡 拗 陰陰 5 K 兵 3 H 鑙 器 何 12

総 返 選 L 溢 更 K 際 IC L H T 会 自 糭 民 熴 段 VC 階 対 IC L 於 本 て 件 梭 10 非 G) 賦 す 遊 る 决 共 諡 同 粱 宜 2 雷 提 超 查 申 3 入 る n ح T 共 来 ΙÇ

る 所 χħ. あ つ た 0 以 上 Ø 如 È 欧 党 攻 勢 IC 汝 L 7 は 政 府 付 自 衛 歐

は

梭

武

蔱

4

علو

又

核

兵

器

0

荮

込

Ť

認

め

7

V

ح

云

う

方

針

-

阴

5

'n

VC

Ļ

米 H K 関 L て は 日 米 係 IC 鑑 4 米 E Z/S 日 本 0 癥 翻 蒼 無 視 L 日 本

0 意 思 VC 反 す る・ 揩 隧 Ł と る 櫾 な ح ح は 71 V ع 礩 信 \* る 嶽 目 老 以 T

応 网 L 叉 梭 辨 武 装 决 龖 K Ø L T は 其 Ø 必 要 な L ٤ L て Z į. 拒 否

して来たのは翻承知の通りである。

な る 殱 全 あ 7 5 所 化 る 般 Va N Ø ば 775 士 的 る A な る 運 同 ح T 米 け ح 時 ح 縮 0 田 Ŧ 11 IC YN. 其 H は II 想 致 自 何 Ø 日 な 3 E 樂 分 他 本 5 れ 自 0 r(X S. Ø る 똃 な Ø 1 由 獄 共 VA 形 < 單 嚮 ح 産 て は 認 営 K 思 之 具 緻 Ø 拘 Š 0 奎 体 L 防 ø り ر ديء 鄭 化 T 衛 な 日 理 重 女 居 蹴 < 米 鎯 L る b 略 核 惘 ح A), K な 兵 Ø 対 け ے 核 此 器 籴 L 兵 n 赱 Ø 約 \* 答 は 切 器 点 H W 我 な vc ve Ø 本 係 K 希 関 5 健 IC -gha 用 VC 논 坚 L 持 耽 L 雪 7 ż 込 7 V 今 る は 前 7 7 自 易 後 6 拐 得! 見 備 盆 分 Ø ح る る で K は

坐 器 政 黢 P 府 田 弾 2 Ø 黨 L 避 意 て 嚮 基 は 老 地 何 醇 參 Ø 簠 χ'n 阳 す 壓 Ø 3 方 VC 阅 法 ح 云 で L Ż ŋ T E 崖 は \* 解 Ù 决 Y); 他 7 ح Ø る 5 自 必 九 由 て 韶 要 居 3 Z(X ŋ 0 あ 朅 る O 叉 合 日 VC 磔 本 於 K

7

は

米

政

府

要

路

VC

於

T

Ŗ

現

在

H

本

K

は

核

兵

器

は

持

込

读

n

て

Va

K

図

て

Ŗ

梭

兵

۲

بح

بح

な

っ

7

居

り

若

L

此

Ø

点

IC

簱

7

禹

民

Ž,

縣

念

\*

铐

つ

لح

4

n

ば

ケ V B 本 を 梭 蔱 儲 士 る 計 國 Ġ 左 Va ح 髾 明 L て 腒 3 ح ع 7 B

る

አ 5 此 Ø 闘 趨 VC L ηŦij 政 府 H K 佣 繿 D' 0 了 解 \*\*\* 遊 げ 置 < ح ح

A. 全 般 的 K 楽 て 帶 籞 で あ る ح 寒 ~ る

斯 る 滅 味 Ø 7 解 と L T \_ 米 B 廿 B 本 政 府 Ø 岡 濫 な

ভ 袏 磴 鱁 す る ح ٤ Ąζ 蘫 当 て ħ B 논 思 う 0

兵

器

ž

B

本

C

持

込

京

3

叉

骥

28

避

基

地

2

H

本

KC

黢

计

ケ

VA

չ

云

ゥ

戵

<

L

て

は

梭

大 DI L は 何 n 8 安 全 保 蹬 Ø 分 野 IC 於 H る 日 米 N Ø 重 嬖 苺 項 7 あ ŋ

充 分 研 究 0 上 No. of Street, 適 当 な 胎 機 IC 安 保 委 鬨 会 KC 於 7 協 鼬 L 凝 Va ح 思 う。

安 る 0 保 檊 委 圇 IC 在 会 H VC 舆 米 軍 L Ø 7 H I • 本 削 地 配 滋 以 外 0 K 111 於 1. H K る H L 僾 \* 用 Ø 油 間 岩 干 驙 R 0 戧 問 7 覹 žìš 之 あ

\* 協 讖 Ø 対 畿 と 李 る IC 非 12 H B 本 政 府 ٤ 相 鮫 在 L NC 行 2 12 る 在 日

米 I 0 使 用 Ø 結 果 H 本 V) 其 Ø 激 M 反 L 7 戰 命 K 機 È 込 ¥ 22 る ح ይ

Ø ح 関 な 係 る IC 関 لح <del>-خ</del> Ø る 昨 餾 年 v): 九 跡 月 を Ø 総 交 7と 摤 江 公 Va 文 ٥ 7 此 諺 Ø Z) 点 5 は ず 田 明 邂 確 癥 化 趛 3 ح n 宏 た 保 所 条

て M る

為

る

ží<u>k</u>

4

後

前

H

14

£

Ø

例

係

KC

於

7

B

更

KC

研

究

L

て

見

废

M

ح

思

7

7

約

対

4

る

自

當

**%** 

向

上

봔

b

ح

0

鞖

告

ġ

閩

Va

7

磨

b

\*

叉

芸

保

麥

置

会

Ø

発

K

4 年 \* 脑 本 る K 在 H 米 攤 0 縮 少 Ø 結 果 自 衢 欧 Ø 防 衞 齎 任

足 淮 ď. 防 腏 衛 ŽŽŽ KC あ つ N す 危 る 思 H D 米 協 12 力 内 外 係 Ø Ø 共 上 齑 K 明 È 繈 る 乃 S 熈 至 左 Ľ 瀌 ď 玂 勢 力 3 0 等 3 政 相

な

٤

總

K

当

拘 6 -3" 環 政 府 Ø 政 鰀 KC 汝 7 る 支 柠 ZÓX. 齘 Z) 江 Ď っ た ح ح H 先 般 Ø

総 鑑 滋 で 寒 K 証 3 12 た 논 L 思 ゥ 0 以 上 申 逖 く た ح と It. 3 4 箯 0 H 米 協

IC 力 資 関 步 係 る \* 橑 更 全 增 般 進 的 괃 見 地 的 办 5 H 热 本 膬 奎 含 0 F T. Ø 極 給 窠 飿 Ø 7 自 為 由 譜 b • 田 靅 大 体 使 0 防 IC 於 衛

办 れ T Ŕ 壓 殼 的 在 腴 袕 て 之 垫 筷 討 L 7 〇 È 慶 Va

i		No.						erdebne ve all v er voe	
( ) 外務省	する半軍が事実上並有するに思すすまの		と目を及其の沿近と動留する旅利也有	に作成とかかもからあつて、現状は、自然旅	小安辉保的は我国下自衛力のなしない时期	一自衛隊と在日半軍の基本等降につて	好歲人了多事頂 三六八米	安全保障问題心思以及日子總理下	おまれるで をままり

			Managar (Livery Livery Livery Constitution of the Constitution of		
現実的でない	此の方法で協力関係を規定了ることは	国沙都互防衛方式を保持上するから、	美務を規定せんとするも、其の場合は不可以完任作ですれるしてはほの日本防衛	は存むなり、はない、	面的成分等好生規定了百日年间的的東

	T. M.C. (1880 MINISTERNATION IN		T. Granusci recornera		EUACHEKAN MENJERHA				•	
外络	網保に付面改加前に何望からなにより	居る事実了するも、両者のなかのまな中		日本軍が事実上共同作業下從事して		游安組織運營下於心は自衛就と在	代にある事実まりするも、又現実に例へば	撤退至了一定将軍中更以強力的	い在日米軍は死亡者上設局等次の	

外 资 省	は弱衛行と在日本軍の前で取起め	方在心的发布面下確認し思以的情量	为极为对了专为在了社会交换与文学为	日間で現り作品の範囲内で之を切り

Parasana.							PROTOCOMO ANTRONO CON CONTRACTOR SESSENCIA, ANTRONO CON CONTRACTOR
	だより女でうち、グニオンが手切りつり	女人也不被形存了了。因后好人的什么	Company of the state of the sta	の核氏器内題に包では日本南の最も愛達	一枝色岩向殿下了	執多样半便と	ることとするとうの方ががまるくらいるが、新る

-	**************************************	1		**************************************	- Marian Mari	l	l entre entr	I	1	
子でいるが、り自由神覚の政治が次州		あるとるい政府の態度に付し切沈野を	四半側は「核好若持込を記めちい方針で		は協議義務としては承認していない。	の協議事項与と云心教明も孝側		を信むが故に核我君持込は安得委員会		沢野を守ってるが例へは、配衛は装備

		1	SELECTIVE TO A TO	The second secon		1
に持必すないと、我務としては事することは	弹体制与统付了限少 核兵冠之口中	下置了限少、刀至日日本共同安全保	13112、安村50亿、米园は甘蔗を日本	自衛のかめ核兵器の使用を活提して	更多为提出了了了一个四半年自身为	いかでもアンアトがでも核兵器の使

	***********	la sur la companya de la companya d	The Leading Control of the Control o	a de la companya de		V A COLUMN TO THE COLUMN TO TH	<b>用数数字</b> 内层螺		Mark W. C. Carlo	Self Contract of Maria State Sec
すりためたけるですってなったがんで	<b>と</b>	い他方足の問題下原する因念切外に於ける	はむつかしいととなる。	Contraction at General	人とするたらば安母的似期の能特		は没有が本側からたのかでの東を取材	例のは風台が核非武教史養を方し成り		拒かるを得ちい現状からしち後んで

The second secon	ET PACE SERVICE SECURITIES SECURI			SUBTRACTION OF THE		MORRISO SINTI È CHIL	SALABRATONE BACES	- And Annual Control		
AB 2 ( 8-		かり切り		攻勢を		老的題	All the second	板兵器士	下核兵	3ものとる
XXXXX	7	いは、お		現在の質	是家	ななけ		の南後へ	初の進六	10000000000000000000000000000000000000
		となる	呛	いっためる	4	野党及		いついる事	ドはひ	小节花
A ST PA		なかなる		ることがけ		左智芸士		ノ実に題	 いまり	(12)
務がなる		13 1		学である。		アカの		少、核兵	致術的	情並公

しまでいまのする	拒むべあらうが、どの戻は併せ		の好心ある。治典の場合	合とかすべてやるやは終現の	成成 是 事员工
ANAL TRAINING SAFETY	1 1	ぬまなかなっとな	9	重星	事

SILES.	on were p	INCOME NAME	zarusen baren		er and a second		e universa	tatan en	ZMULUDANIYU	APTECT TO SHA	waters see	TL POSILLA MARCO	FERRING STREET
WORKERSON - NOW THE THE PROPERTY OF THE PROPER				i	80 80	78	8	5/08	4 8	3	2/8	1 8	
ACAR DESCRIPTION OF STREET BLAND STREET, STREE					(接針)	青市茶季元	おたも	半得スタル	李龙	子できる	まらる	冷市一份人	
THE TANKS OF THE PARTY AND THE PARTY OF THE	. '					7				- makery 198	September 1	記は焼むり	
THE THE PERSON OF THE PERSON O			•		16	15	14/6	13	12	1) 16	10	9 16	
ACOUNTAL PROPERTY OF THE PROPE									同九	京转行成日	子りをす		
AND	,						-			少一两路	The		

安全保障問題の調整に関する件

马马 六一九 米保

安 全 倸 躑 問 題 12 関 L B 米 間 1C 調 整 苍 要 す る 普 專 項 は 日 米 安

全

保 蹳 委 員 会 vc 関 す る 経 繟 . 3 並 C K 新 内 闂 発 足 後 早 V 機 会 K 外 務 大

臣 在 京 米 大 使 間 VC 恶 餤 す る 戾 運 K あ る ح ع 卛 Ø 癬 愶 I b L て

先 5 右 Ø 如 Ė 毉 鮗 Ø 形 て 之 查 取 L げ る ح ح X). 蓝 当 で あ る Ģ 景 面 0

一月十三日全張 問 題 ح L て 考 **~**~ 5 12 る 篳 項 は 後 記 Ø 逝 D で あ る ZiZ • 此 等 豁 平 項 は

寒 5 東 京 IC 於 7 日 米 安 全 保 障 委 員 会 È 中 心 と L τ 燇 حے 檢 悄 7 n る

Ė 簭 項 て あ b • 之 を 鑵 盛 頓 IC 於 て 採 り 上 げ る 為 分 VC は 粟 荩 IC 於

. て 充 分 Ø 準 備 を 要 す る 0 办 な 5 عو 又 斑 盛 噸 VC 於 7 福 め る 形 ح す

る ح ٤ Ŗ 必 ず L Ŗ 当 な 5 \* 更 R 七 月 下 旬 大 臣 訪 米 0 合 は 何

の途過早であると思われる。

本 件 IC 圆 L .7 採 b L H る べ Ė N 闧 左 Ø 酒 b

Ø

(1) 自 衢 隊 ح Œ H 米 軍 Ø 基 本 M 係 K つ Va て

現 在 自 衢 欧 と 在 日 米 童 Ø 觞 力 Ø 基 本 関 係 VC 隩 L 7 は 何 簩 Ø 合

愈 B 存 L な Va Z/X \* 安 保 祭 約 は 其 Ø 儘 논 L て 右 基 本 飅 係 K 付 何

Ż Ø 合 意 奎 為 す べ 舊 ø 否 P Ø 問 圝 Y/S あ る 别 添

緻

腏

쑠

(m) 樉 兵 器 開 顯

自 由 誻 田 O 防 衞 は 椄 兵 器 Ø 使 用 Ż 前 變 ٤ L τ 5 る 17 汝 L

国

0 内 外 0 左 翼 孌 力 Ø 此 Ø 周 顪 K 関 す る 政 勢 は 激 化 L 7 居 り \* 此

0 岡 飅 KC 阅 L **B** 米 間 C 何 等 χ'n 0 合 濫 を 為 雪 く Ė 中 否 \$ Ø 圈 蹞 XŽ.

あ る 0 N 添 蠡 腏

在 H 米 窜 Ø B 本 地 域 外 使 用 Ø 周 鬥

在 B 米 鮾 Ø B 本 K 於 け る 配 储 及 U 使 用 は 日 米 間 IC 寒 行 可 能 な

腿 b. 協 蠽 寸 る ح չ KC な つ τ Va る ZČK 其 Ø 日 本 地 螆 外 使 用 K 烺

B 恊 龖 산 L t る ح کے ሬ す る K 狮 九 ば B, 本 政 府 느 相 睽 な L K

ゎ

n

る

在

H

米

W

Ø

使

用

0

結

果

日

本

Ŋ,

其

Ø

澉

IC

反

L

て

矀

争

IC

缩

È

行

T

込 重 n る ح と 2 な る ح 云 9 問 題 YE. あ る

客 年 0 B 米 会 談 Ø 経 織 IC 緻 す n ば 此 Ø 問 題 は 安 保 夈

約

を

る

相 耳 雅 助 樹 恊 庭 VC 改 め る 等 Ø ح と オ **〈** L て は 解 决 困 鱁 ح 思 わ 礼

Χγ. 此 0 騤 採 þ 上 げ 3 ځ す 12 ば 前 記 (1) Ø 뫲 と L T 検 討 L て 位

如

侚

Ż,

ح

蒋

5

12

る

日在日米軍配備の協議について

在 H 米 黧 Ø 配 傰 乃 Ŧ 撒 退 計 図 は 安 保 姿 Д 会 M 於 T

協

鹽

25

n て 来 T Va ð XX \* 4 H Ø 觀東 憦 は 米 選 Ø 一撤 選 **7**). \_ H 米 会 譭 VC 於 H

る H 本 個 Ø 要 营 IC 基 V T ረ 云 ゥ ح ዾ 7 愈 巡 VC 進 め 5 礼 \* 幣 C

空 單 阅 係 KC 於 7 H 我 方 Ø 自 衡 歐 背 成 ď. 追 付 χ'n ず L 7 防 酇 M 2

を 生 \* 8 形 勢 K あ Z ø 此 Ø 斌 床 VC. 於 7 自 儞 歐 ع 在 B 米 噩 Ø

髓 查 籅 蟹 的 IC 嫩 化 L 7 行 ₹ 必 變 Y/s あ る

0

力

\*

縊

合

て

我

0

防

衛

荃

礛

保

L

得

る

檄

在

B

米

鄮

配

儬

0

陷

M

答

白

•

A SELECTION

自 衡 欧 变 饠 Ø 螱 的 強 化 0 為 的 VC は 4 畿 共 米 **E** 1. . b 0 園 鸖 鑁 助

K 依 存 す る 必 襞 為 る 処 \* 此 楹 援 助 Ė 受 け る \* め M は 我 方 5 於 1

る 秘 密 保 證 揩 髗 B 必 要 T あ D 叉 梭 彈 鼠 ځ 切: 離 3 12 70 近 代 兵 器

方 受" あ る 容 XIX. 自 22 Ďi 助 Z 麙 他 Ø 뛥 奖 废 爾 米 žř 伽 à's 明 け 確 K 対 7 K L Va 自 る 循 ح H 欧 と れ 遊 8 À 示 . 5 す 近 -j\* 必 娶 升 化 **8** . 髣 M あ 闒 る 米 争 伽 ۲ ふ Ł 米 效 は

Ł

L

Yr.

H

な

太

M

L

て

穳

極

的

授

助

÷

燮

す

る

努

力

芒

払

Ġ

必

要

Z/Z

ð

る

個

Ø

勿

鼢



M 添

安

保

条

約

は

我

E

K

Ę

御

力

Ø

存

L

左

Va

閉

IC

作

成

3

礼

た

\$

Ø

7

あ

Ė 衛 歐 حے 在 日 米

重 Ø 基 本 W 係 期, VC つ Va て

7 て \* 現 状 は Ė 衞 欧 논 H 本 及 其 Ø 附 近 IC 駐 图 7 る 榴 利 圶 有 寸

る 米 軍 ž • 鏮 寒 上 並 存 す る KC 過 8 ず 其 0 间 Ø 協 力 関 係 \* 规

定

士

る B 米 間 Ø 約 東 は 存 L 沈 Va ø

安 保 条 約 \* 改 訂 L 7 米 軍 0 本 防 衡 疃 蒶 规

日

È

定

世

ん

չ

す

る

Ŷ

其

Ø

墈

合

は

米

H

は

相

互

防

衡

方

式

查

粂

件

չ

子

る

办

6

•

此

Ø

方

法

て

協

力 関 係 奎 規 定 \* る ح ځ **片** 现 英 的 て 九 VA

黑 在 B 米 遛 は 既 K 盥 上 戦 部 歐 Ø 撤 退 Ł 7 L • 空 瓣 軍 葛 更 K 縮 办

遥 程 VC 南 3 璐 英 ょ b す る B 叉 现 痪 KC 例 ~ ば 访 空 組 織 邏 営 VC 於 て

自 衢 黛 خ 在 H 米 囯 ź 康 舆 上 共 同 作 雞 K 従 魯 L 7 居 る 礟 寒 1 b 寸 る

B 两 客 Ø 協 力 0 基 本 関 係 K 付 阿 政 府 H K 何 等の 方 法 K ľ b 明 確

VC L 臘 < ح と XX 盛 ŧ L Va

四 m L て 現 行 条 約 0 覹 圀 内 C 之 Ť 衍 う と 世 ば 自 衢 際 ح 在 H 米

鼅

Ø

tt 夬 K 0 内 法 Ø 展 废 て H. 本 地 域 Ø 安 全 Ø 益 10 協 力 雪 る å

左 る ح ح t 交 鐭 公 文 等 0 万 法 で 阿 政 府 間 K 確 認 L 具 体 的 揩 儹

は

5

防 衢 厅 Ł 在 H 米 單 0 阁. T 取 極 め る Z ٤ ے す る 鹤 0 方 法 ŽČ 考

n る X) 斯 る 措 戲 老 靱 る 橃 米 W ځ 餂 合 う 2 p 否 \$ I Ø 殿 高 决

定 K 侠 つ 所 て æ る



別添二

梭兵器

兵器問題につい

7

檖 兵 器 間 題 IC 関 L T は H 米 M VC 殿 ę 憂 臌 す べ Ė 不 致 Zi. 存 す る

迅 会 簭 IC 於 H る 蓰 来 Ø 政 府 Ø 邈 度 K 汝 L て は 米 儮 は 切 沈 縲 を

フ 7 M る ŽŠ. 例 ば 配 僧 は 籔 儲 を 含 t Ą. 故 K 梭 兵 器 柠 込 は

委

賢

会

Ø

協

蠽

癰

項

な

b

٤

云

う

駾

明

B

米

硱

は

協

鱍

쐟

務

と

L

て

H

安

保

守

٥

承認していない。

米 偑 H \* 梭 兵 器 持 込 を 阚 Ø な Va 方 針

7

あ

る

2

云

ゥ

政

府

0

躿

於

て

废 IC 付 切 沈 黙 を Ŧ 7 T Va る y). (1) 自 曲 陣 営 Ø 覹 鹛 775 欧 州 K

B 7 シ 7 VC 於 T 8 核 兵 器 Ø 使 用 돧 前 挺 ع L て Va る ح ح (2)米 軍

身 Ø 自 衞 Ø 為 为 梭 兵 뀲 Ø 偰 用 を 削 提 L 7 Va る と ح 鹞 I h L 7

米

自

田 は • 米 簠 ż 日 本 K 饡 < 腿 b • 乃 至 は H 米 共 岡 安 全 保 廱 体 制 \* 艞

H る 跟 þ 梭 兵 器 を H 本 VC 持 込 葉 な Va 2 錢 務 حے L て 約 灾 争 る こ ح

は 拒 Ė ざ る ŧ 得 在 (A o æ つ て 現 状 χÌ. 6 继 遾 W 7 例 ^ H H 会 Ž.

核

奜 斌 葽 决 識 ž 為 し 蚁 は 政 府 Ď. 米 側 Ď 6 右 Ø É 如 查 約 瑓 ŧ 取 付 け L

ح す る な 5 灯 • 安 保 条 約 体 制 Ø 盤 梤 け t つ Ż L V こ ይ ع 左 る ø

77 他 方 此 Ø 間 題 ìC 阅 す る 田 会 内 外 NC 於 H る 野 笕 及 左 飁 终 力 Ø 攻 勢

は 激 化 す る B Ø と Ŧ 趣 3 n 3 斌 前 記 () 0 魯 愶 並 Ŋ K 核 兵 器 Ø

進

쌀 IC 伴 Va. 小 型 Ø 戦 衙 的 梭 兵 꿃 B Ħ 谿 3 れ 7 Va る 奪 螇 IC 艦 4 梭 兵

器 問 題 M 就 7 It 野 党 及 左 翼 勢 力 Ø 攻 蟛 企 現 在 Ø 丽 麼 ~ 曥 止 为 る

ことが必要である。

229 此 Ø 閥 題 M 関 ا ` 米 伽 ح 何 嫈 χ'n 慰 誸 L 置 < く 書 \$ • 蚁 は 逝 N で

樉 兵 器 辯 込 Ž 協 龤 乃 双至 事 前 承 認 審 項 ح 雪 3 機 話 合 李 為 <del>-j-</del> べ ð P 否

g. は 团 Ø 濙 髙 决 定 VC 俟 つ FF で あ る O

H, 尚 本 件 R 関 L て B 米 間 K 右向 如 ġ 約 粟 老 為 -9-بح 관 ば \* 餂 合 Ø 途

ح 為 次 礼 す ځ 米 ک る • 偑 查 ح ٤ 明 VC Ł Ŗ IC 燉 拒 士 L 等 幣 t る は ~ 要 定 認 あ Ø あ 譭 墈 ろ る う ح 合 微 X). K 5 I 必 神 叉 梭 要 兵 鱦 神 器 ZÍZ. K 網 捋 ð 网 K 込 L 戧 て 7 K 左 は 同 孤 米 意 勢 倁 す 力 は る 何 ح Ø 反 等 ح 鱍 Ø 為 X)Z る 約 予 東 ベ

想

查

Ė

\$

L

<

る

老老长 古川冬生九 半易花 ろうん 冷九 左尾

含 ቔ Ø ziz あ る

安

全

保

澉

IC

翼

す

る

H

米

H

Ø

瞄

案

件

VC

関

し

当

间

Ø

主

要

問

驢

K 左

Ø

安

全

保

豳

IC

関

す

る

当

面

Ø

踏

周

題

KĆ

関

す

る

件

如 O

(1) 自 循 歐 ځ 在 H 米 單 Ø 協 力 Ø 基 本

阕

係

(13) 笹 B 米 堂 Ø B 本 坳 域 外 使 用 0 問 題

(m) 梭 兵 器 問 羉 及 V 之 K 阅 遳 す る 沖 饠 間

(二) 在 H 米 軍 配 備 Ø 觞 数 強 化 0 川 鹽

= 前 (44) 記 対 B Ø 豁 郑 点 鄅 援 K 與 助 L H 趲 間 膻

H) 自 衛 隊 と 任 B 米 塩 Ø 協 カ Ø 4 本 関 係

靐

項

は

左

Ø

滥

b

て

あ

ò

ø

Ø

所

在

炊

粱

並

C

K

网

進

L

τ

考

麿

萝

べ È

•

三 三 大 \_\_\_ Z 米

保

鹽

(1) 間 题 Ø 所 在

安 保 粂 約 は 毁 B K 自 衛 力 Ø 存 し 在 Va 冉 期 K 作 成 な

12

た

\$

Ø て あ っ て 現 状 は 自 衛 歐 ح 日 本 及 ζĸ 其 Ø 附 近 VC 駐

す ð 權 利 奎 有 す る 米 A A); 数 奥 上 並 存 す る VC 過 ŧ \* 其

Ø

留

間 O 協 力 製 係 È 搵 定 す る H 米 間 Ø 約 粜 は 存 L な S

0

D 他 面 \* 在 B 米 重 は 旣 K 歯 上 蹴 部 效 Ø 撒 退 Ž 了 L •

ば 斑 防 運 20 ቆ 更 組 繳 K 選 謚 當 少 VC 遇 於 稏 7 KC 自 あ 衛 る 歐 魯 実 ح 在 I H þ 米 す 壐 る ď Ź 事 爽 叉 L 現 共 舆

IC 従 翻 L て 居 る 翻 舆 1 b す ろ \$ 呵 省 Ø 協 力 0 盐 本 図 係

同

作

糱

K

K

例

空

付

. 两 政 府 H KC. 何 磐 r)a Ø 方 法 VC ľ þ 明 確 VC L 鬒 < ح ೭ YIS 監

京 L Va 0

自

籋

際

Ł

在

H

米

運

は

夫

A

Ø

内

法

0

腿

度

て

H

本

地

燧(及

交

换

公

錐

(3)

考

臌 す べ

Ė

4

冱

K 極 窠 Ø 炡 和 ٤ 安 全 Ø À Ø 協 力 す る જું. Ø な る こ کے 奎

文 vc L b 阿 政 府 H K 確 L 具 体 的 揩 置 は 防 衢 庁 と Æ H 米

Ø M て 必 要 R 応 ٢ 取 極 め る ح ٤ と 寸 る 方 法 žíž 彩 5 11 る

安 係 条 魡 は 米 躍 0 檶 利 Ø 办 を 規 定 L \* H 本 地 城

す る 何 缕 Ø 鋑 務 奎 规 定 L T Va な Va XX. \* 削 記 (2)0

描

置

Zi.X

出

来

防

禰

K

W

n ば 此 Ø 点 を 歷 正 L 帶 b

他 面 米 運 Ò B 本 防 颧 继 断 爸 魁 定 寸 る 橃 安 保 条 約 を 迩 割 世

ん 2 \* る E. 其 Ø 杨 台 は 米 倒 H 相 互 防 衢 方 式 ŧ 椞 件 ٤ \* る

Ż 6 右 付 Ħ 奖 的 な 6 7 隣 削 記 (2)Ø 揝 置 0 程 慶 て B 米 伽 Y);

同 B

Ľ 邏 由 て 鑑 色 を 示 す ح と は 為 b 得 る が 斯 糠 な 掛 置 H

米 安 全 保 险 体 剖 Ø 岚 状 VC. 脚 す る 遜 付 H بح L て 必 婴 7 あ る

と 考 ~ 5 n る

B 米 岡 M 斯 3 約 斏 Ġ, す 妈 台 は 左 H 鹦

力

は

秋

Z(X

米

ح

神

鑑

政

魕

L

て

0 防 循 躞 略 0 環 بح L て 更 KC 深 Z, K 入 つ た

来 る 2 ځ は 予 蛚 L τ 置 < 必 要 ŽŠ. 為 る

H 米 軍 0 B 本 地 域 外 色 厢 Ø 間 臌

(w)

在

(1) 門 題 0 所 在

在 B 米 II. Ø 日 本 K 放 H 3 BC 備 及 Œ 餃 用 は B 米 搁 VC 奖 行 可 能

江

與

b

協

\*

3

ح

٤

VC

な

つ

7

VA

る

X):

其

Ø

H

本

地

域

外

健

用

K

•

٤.

說 て 8 協 ッ ð ۲ ح 士 る K 非 れ は H 本 政 府 ٤ 相 醱 左 L IC

行 わ n 3 在 H 米 Ħ Ø H 本 地 城 5 健 用 Ø 糙 果 \* B 本 **V**3 其 Ø 澈 K

反 L て 戦 争 K 撈 È 込 Ť n 3 ح と ح 加 る • と 云 ゥ 閥 圝 X15 あ る 0

(2)校。 簸

客

年

H

米

会

黢

O

経

繟

IC

徽

ナ

12

ば

此

Ø

問

鼦

0

*7*.

Ť

取

上

げ

ん

L

~

老さんとうは用るんとおきくしてくることのできませんできないとうと 校心海南武是

極

<

と す る B 安 保 粂 約 È 相 Ħ 防 衛 方 式 K 改 め る 鹞 Ø ح ځ な

は 觯 决 M 鐖 ٤ 恩 b れ ŏ Ø て 前 記 (1) (2)Ø 揬 簸 Ø 駳 ځ L て

する 粟 ٤ Ø 云 쟆 ゥ 和 越 کے Ħ 宏 全 Ø 約 zi. 束 眷 登 χ)» 取 2 付 n け た て 楊 本 合 件 は ž H 米 力 両 ザ 酸 7 1 府 N 3 世 K る 協

ح

とと L τ は 如 何. Ż, ح 考 5 れ る

まずの間をトスル

梭 兵 器 問 圝 及 CF 之 10 関 連 专 る 神 飊 岡 题

44

(1) 陶 題 Ø 所 在

綾 兵 盤 鬨 趨 K 阅 L て は 日 米 間 W 曖 P 虁 臌 す ~ さ 不 敪 XX.

存 す る O 米 偑 は 田 会 等 VC 於 け る 從 来 Ø 政 府 Ø 態 府 

ば 配 備 红 姕 儱 弦 含 tr XX. 故 K 梭 兵 器 榕 込 rt 安 保 委 題 会 Ø

魯 頂 オ þ と 云 ゥ 蹴 明 ¢ 碶 兵 器 校 込 を N め な M 方 创 7

あ る <u>\_\_\_</u> と 云 9 政 府 0 邁 躞 VC 付 切 沈 쨇 奎 Ť つ 7 Va る ŽÍ.

**(I)** 自 曲 蹿 営 Ø 戦 図 XV. X 州 VC 於 て B 7 シ 7 VC 於 T b 梭 兵 HAY LA Ø

兵

健 用 查 ĦŰ 遻 لح L て Va み ۲ ٤ (II) 米 蹈 自 身 Ø 自 御 0 X 炒 核

器 Ø 儊 用 的 逄 し て N ・る ح ዾ 等 I b L て 米 は ٦. 米 避

B 本 10 懺 < 跟 Ŋ 乃 45 は H 米 共 问 安 全 保 靈 体 制 ž 統 け る

ŋ .核 兵 器 \* H 本 K 捋 込 主 な Va 논 兤 務 ع L て 約 取 \* る ح

لح

瓯

を

は 拒 Ė 7 る 玄 稱 な Va ø 從 > て 現 狄 χ)» 5 歩 准 W 7 例 ^ VI 园

会 ZÍZ 梭 邦 澉 崣 涣 龤 Ž 為 L 駁 Ü 政 府 XX 米 倒 办 5 右 Ø 如 Š 約

宷 奎 耿 付 H L ح す る 左 6 H 安 保 夈 約 体 锎 Ø 繈 捞 付 世中 7 办

L Va ح ځ یے な る O

b 他 方 此 0 間 躖 K 女 る H 会 内 外 K 於 H Z 野 党 及 左 腿 孌 力

0 政 勢 は 譤 化 す る Ŕ Ø と Ŧ 想 B 九 る ZŽŽ 前 記 8. Ø 嶽 愶

並 U VC 梭 兵 器 Ø 進 歩 K 伴 Va 小 型 Ø 躞 循 的 麽 兵 몺 B 調 発 5 九

て M る 事 奥 K 鹼 4 梭 兵 溢 閥 題 1/2 就 て Ø 野 党 及 左 羅 勶 力

攻

勢

查

現

在

Ø

展

废

て

隂

止

め

る

ح

٤

Z/A

必

要

で

為

る

O

斯

る

見

地

Ø

ょ ŋ 日 米 N KC 何 ŧ; Ż Ø 丁 解 Ť 衍 りべ Ė P Ø 围 圍 žč 為 る

(2)対 蝦

此 Ø 勱 螁 K 阅 し T 米 啣 ይ Ø 間 VC 何 等 Ż Ø 7 解 取 付 H

る

٤

す れ は

核 兵 盎 持 込 を 饆 削 澉 脳 4 璵 とす る

梭 兵 器 持 込 圣 協 4 頲 ۲ 寸 る

改多

7

般

KC

在

H

米草の

数

儲

奎

協

臟

罄

項

とする

Ø 形 XII. 薯 5 n る O

●配信之心水軍人性信(四中東)

兵力規模及兵種

卷 盧 \* ~ 古 簭

(8) 項

ح 米 叉 田 1 は サ 梭 1 兵 器 N \* K 嫈 政 容 す n る る 羖 賭 XX E NC 园 眈 民 7 鄜 慒 Š 梭 は 彈 熟 窡 知 铁 L 込 て 儊 居 用 る

は

ح

当 黢 田 Ø 遼 衢 查 鎴 黧 寸 る ح ح VC 九 つ て VA る ح ځ 鷂 よ b L

て 米 伽 P 前 配 (2)0 如 à T 解 K 無 下 IC 応 Ľ な Va ح は 思 わ 12

VA. V. • 斯 る 苗 合 \* 為 萝 ٤ 世 ď • 其 Ø 逾 次 栄 側 K 炊 L

定 Ø 播 合 VC は 核 兵 器 柠 込 1/C 同 斌 す る ح ع B る べ 8 ح

と

奎

明

牸

左

KC す る 用 宣 Z)S 1 H n d 描 台 は 威 立 た な S

þ 神 纖 K 就 て は 米 偑 は 何 Ø 約 灾 \* 為 少 ح ح P 拒 t べ <

前 記 (2)Ø T 解 は 神 繼 È 含 葉 た Va 0 從 7 若 L 斯 る 了 解 XX. 出 来

n 12 左 選 勢 力 Ø 神 繼 ~ 繞 る 反 鱍 X)? 予 灦 ざ れ 3 0

(=) 在 B 米 翼 配 備 Ø 協 蝕 化 0 問 題

> 在 H 米 軍 Ø 配 備 75 至 撤 返 酣 國 は 安 保 委 興 会 K 於 て 協 龖

死行 半男は後し n て 来 て V る XV. 4 H 0 奱 愶 II 米 單 Ø 癥 退 Ó ----1 日 米 会 鮻 IC 於

H

3

C

る H 本 個 Ø 爨 請 K 鑫 Va て 7 云 う ح ځ て 意 選 KC 進 炒 5 北 幣

空 ¥ 阕 係 R 於 て は 赵 方 Ø Ħ 衛 歐 Ħ 成 ZÍZ 道 付 X/s Ť Ĺ τ 防 衢 K 空 白

Ť 生 \* る 形 勢 1/2 B る ø 此 Ø 減 睐 VC 於 て 自 獮 隊 と Œ H 米 餌 Ø PU

臟 を 寒 質 的 VC 鳇 化 L ~ 行 < 必 要 ží あ る

Ø

力

È

嶽

合

L

7

烮

國

Ø

防

衡

爸

磁

保

L

得

る

様

在

B

米

重

配

儲

Ø

協

岩

٩,

內女日軍事變助問題

自 衛 激 巌 俯 Ø 貿 的 強 化 0 為 め KC 付 今 筱 共 米 I h Ø 窶 數 授 助

VC 依 狎 す る 必 婴 為 る 処 此 楹 授 助 を 受 け る 為 め VC は

(1) 我 方 VC 於 け 3 秘 嗇 保 霾 揩 懂 B 必 變 7 ð b

(2)梭 範 飁 ح 纫 艦 3 12 た 近 代 兵 器 を 變 容 れ る 隵 脧 老 明 確 K L 左 け

九 rt. た 5 **-**je

(8) 米 側 K 対 L て 我 方 χ'n 自 助 0 爽 Ť 쏿 H て Va る ح ح ž 汞 雪 必 婴

8

ð る ح بح II 勿 て あ る Υ'n ۲.,

斯

様

九

M

攊

Ø

下

K

米

儮

K

対

L

É

衡

歐

鲢

戂

Ø

近

代

化

K

萝

る

癥

極

的 鑁 助 鍌 婴 觽 す る 努 力 ż 払 う 必 婴 Y)x 3 3

睪 前 記 Ø 锆 点 付 な る べ < 豳 ď. 左 機 会 KC 凝 京 K 於 て H 米

安

保

変

质

会

ž 念 夏 MC 置 Va T 之 鉴 米 **M** K 攤 超 Ť ベ Ė て あ 8 ے 思 b 22 3 Y/a 同 辟

R 殺 H Ø Ŋ 礩 围 園 K 阕 L B 本 胶 府 չ L 7 充 分 酸 慶 \* 固 め 置 <

ベ

4 鑙 間 避 Ž. あ る ø 殊 K 米 個 VC 搥 起 す べ B 韶 点 ば 削 記 (1) 1 b (21%) K

至 る 迄 米 個 K 求 T. る 所 Ø み 麥 È 形 논 左 5 3 る 得 な VA O て 南 つ て

此 孌 醬 点 **(**) H 蠲 左 る 解 决 I 防 衡 VC 関 \* る H 本 政 府 0 確 ZJā た 8 邈

废 yh. 示 F n る ح ځ な < L τ は K 办 得 7 る 所 7 為 3

防 ~ 衛 VC 関 -g-る B 米 関 係 Ø 鑑 VC 7 5 7

(1) 從 来 在 B 米 翼 は 冤 角 占 饡 軍 Ø 延 燢 ح L て 白 服 視 2

12

行

政

齺

\*

定 は 米 Œ. 奎 繜 る 櫢 K یے 0 耥 襷 C 運 営 ざ n 叉 自 衛 歐 d 米 1 0 打

闽 掛 þ 7 愈 造 3 世 5 礼 た Š Ø 7 あ る بح Ø 慸 耢 Y/s 政 府 꽶 内 K 於

当 怠 遯 在 縮 4 遴 圈 IC 8 る K 対 L 7 自 衢 默 Ø 育 戚 は 躖 K O 儬

ナ

5

存

L

た

Ø

て

It

な

M

Z)s

ع

思

わ

九

る

0

然

る

C

顋

状

て

は

米

M

H

相

7

約

下

K あ þ 従 来 **"**O 趨 鹦 ~ 以 T L 7 は 我 国 Ø 防 衛 K 空 白 \* 生 ٠**٠** る 拟

大 て あ る ۵ 依~ m 政 府 全 体 ح L 7 防 衡 H 題 VC 対 李 認 融 麦 新 11 L

自 身 Ø 岡 鱍 7 办 る کے Ø 越 VC 立 \$ B 米 共 同 安 全 保 靡 大 周 的

防

衢

努

力

付

坟

米

協

力

7

あ

る

کے

云

5

檄

な

133

見

Ż

排

L

防

蘅

は

B

本

見 妣 1 b 明 確 Ť 鮍 躞 て 孌 処 す る ح کے X); 必 要 T あ る 0

(11) 防 獅 施 殼 0 確 傑 C つ VA T

米 踵 施 設 Ø 返 盪 K 盔 次 進 ん T Va る Z) ž 返 選 後 **(2)** 処 分 W 関 L

混

乱 zi. 縋 免 す 娅 Va て U 米 個 0 不 信 を 招 < ح と ح å 左 る 次 餠 ~ あ る。

依 M 当 面 面に提供 供 L て (A る Ġ Ø Ť 含 Ö 胶 府 ځ L て 我 國 防 衞 上

要 Ø 施 設 Ø 範 龃 を 福 定 L 此 绝 所 要 施 設 は 玉 公 私 OA M

問 ゎ سو 確 保 す る 麒 慶 を 明 K 無 用 Ø 壓 擦 ž 避 6 る 必 要 W.

要 す る 0 尚

自

備

隊

施

設

O

有

量

Ø

鰶

Ø

米

Ħ

共

同

使

用

Ø

方

逾

VC

就

7

B

研

究

Ł

あ

る。

É

所

此 Ø 点 K W 連 L 51 U 觚 空 管 側 遲 営 簭 Ø 分 野 VC 於 て \*

関

係

官 庁 老 L て 防 衡 上 0 變 餾 答 光 分 躞 Ħ 世 L Ö る 必 W ZíT あ る ٥

(4) 近 代 兵 범관 遊 儷 K つ Va 7

梭 兵 器 IC つ V 7 小 型 躑 桶 核 兵 器 Y). H 発 3 n τ V る בוע 此 Ø 容 間

闔 及 K 1 O B M Ø 数 灯 別 غے 所 醋 ž サ 1 N C Ė. て は 之 奎 受

(=) 神 糊 問 圝

兵

器

璐

九

る

B

0

な

る

ح

ځ

3

は

つ

Ė

b

す

る

必

變

X)Z

あ

る

0

闭

時

VC.

此

等

近

代

<

懙

向.

查

示

L

て

Va

3

水

現

下

Ø

E.

情

验

Ø

F.

M

於

7

は

神

組

K

強

防

衛

国

圝

VC

N

L

E

賦

勢

カ

H

其

Ø

攻

**9** 

Ø

噩

点

を

力 5 Ż, オ 盐 K L 地 ńï 為 相 る ح Ø と 米 選 XX. M 自 酸 由 斑 K 盤 は 我 Ø 方 4 め は 干 必 与 W 뇬 て 3 為 る る 立 ځ 됆 Ø 灦 查 竪 蜒 持 杏 阴 す

る

必

要

χ'n

あ

る。

入 R 必 要 太 礖 度 0 磁 巒 保 躞 立 法 II. 是 뱱 必 婴 て 為 3

祌 繝 M 臌

5 沙北 多時用(被賣) 大臣 米らん

> 安 全 保 龖 KC 舆 ナ る 当 面 Ø 離 問 豳 VC 9 Va

> > 7

== 黑 -년 127 米

保

Ø

ďá

あ

3

全 保 繭 K 関 す る 坐 面 0 踏 岡 鹽 IC 左 Ø 如 8 Ś

安

(1) 共

司

功

衡

体

倒 充

奠

K

Ņ

遊

A.

る

鏺

項

1. 自 衡 默 على الم 在 B 米 渾 Ø 協 力 Ø 4 本 阅 係

K

つ

VA

T

現 在 Ð IC Ė 衢 脍 ٤ 笹 B 米 摼 Ŋ, 並 存 L 7 Va Ö XX. \* 行 政 協

鹪 区 ----城 + 0 防 24 衡 条 Ø K た 两 政 府 H 戼 鸞 聯 膨 Ø, 生 超 L た 嫋 10 直 合 3 IC 協 日

本

定

٢ 識

務 寸 る 云 5 想 趤 14 あ る Ø み T 單 安 保 Ø 粂 協 力 約 0 は 遨 米 \* M 鼮 0 係 H 本 IC 付 防 両 衡 酸 艬

な Va 此 Ø 点 L 香香

M 鬬 自 獮 隊 在 H

B 必 要 九 共 同 挡 置 を 嬩 3 た

疳 閬 \* W. 規 定 何 響 世 0 \* 約 東 自 衡 は 欧 ٤ 笹 B 米

存 L

米 運 ځ 並 存 す る 現 状 0 数 付 け Ł L T 阿 量 Ø 脇 カ Ø 慈 本 网

瀊 VC Ł 付 L 姜 得 儑 る 夈 約 P \* É 义 体 益 I \* 其 く Ø ā 齼 \* 否 40 7 Ø 周 M 踵 政 ŽŽ 府 存 图 <del>پ</del> IC る 何 鹤 办 Ø

٢

L

合

係

2 在 H 米 簋 E 儱 Ø 186 蠿 K つ M T

在 H 米米 遛 Ø 儘 乃  $\equiv$ 擨 退 計 圝 は 安 保 变 颾 会 K 於 T 協

麟

3 11 7 来 T Va る W. 4 H 0 螇 懠 は 米 M 0 擨 退 žíx 艘 選 KC 進 め 5

礼 IC 檘 2 IC 空 軍 £. 舆 低 K 於 て 勢 II 我 方 0 此 自 衝 划 脒 臂 C 戚 於 75 迫 付 X The same

防

覆

自

验

る

11

為

る

0

0

蘫

7

自

衡

際

٤

在

L

7

H 米 壐 Ø 两 老 0 力 T 查 絵 形 合 L 7 我 函 0 防 裔 È 確 爆 L 穩 る 橃 在

日 米 翼 E 儲 0 協 讖 奎 災 蛋 的 VC 強 化 L 7 行 < 必 要 Z). め る

3. 翼 審 授 Bb K 7 Va 7

Ė 徽 鯜 儹 0 贙 的 躈 12 Ø 益 め ic は 4 綬 共 梁 I D Ø 誑 聯

助 IC 依 存 \* 3 必 要 B る 処 76 此 粒 授 助 Ž. 受 H S 的 K H 稧 方

於 H 3 秘 轡 保 韄 揩 攤 \$ 必 變 C あ b \* 叉 楔 彈 顶 2 切 艦 7 n

代

兵

器

\*

受

答

12

3

鼷

皮

ž

明

確

IC

L

な

H

n

灯

t

6

な

Va

Y)X

他

团

た

近

IC

掇

米 儬 0 選 助 8 **Z** 次 鼢 逫 8 \*L る 蠿 孌 KC 尚 3 Ø 7 • 米 燘 K 汝

我 方 Ø 計 豳 ŧ 聊 K L T 穳 礟 的便 助 を 要 餾 す る 努 カ 老 払

ゥ

必

要

Y) 為 る

4 防 衢 旞 鮻 Ø 確 保· K 7 Va T

米 運 撇 鯼 世 逐 次 牆 少 L 7 Va 2 XX. • 返 選 餋 Ø 処 分 K L 湿 刮

る て 当 M 衆 A K 擾 供 L て Va る B 0 1 含 8 防 徽

XX.

絶

兔

\*

\*

延

M

7

は

米

倒

0

不

儅

を

招

<

ح

ځ

٤

Ġ

7

ð

次

飾

T

あ

我

上 方 Y). 有 所 逾 B 0 婴 R る M 猷 0 Ž-0 て 尚 閩 施 Ė Ŕ b 赻 研 衡 \*\* Ø 究 僚 確 鯫 奎 施 保 囲 要 E 殼 寸 \* VC 3 確 る 製 ۲ 定 L ٤ حے 有 此 事 磐 所 Ø 無 籨 用 嬮 0 Ø 尬 米 E 鼢

Ħ

 $\mathcal{O}$ 

共

同

使

用

0

擦

查

避

け

る

盈

a

副

公

私

٦.

安保条約体制に付調整し度を導

珥

(m)

I. 在 E 衆 **T** Ø B 本 魀 域 外 健 用 Ø 問 · 2

在 H 米 運 Ø E 本 M 於 け 3 配 儲 及 ZX • 使 用 は B 米 間 K 蜒 行 间 館

就 な T 腶 \$ b 協 協 鬰 龖 世 \*\* る L t C る بح ح VC 2 な ٢ つ \* 7 る Va VC る 罪 Ž. 九 I 1 \* 0 B B 本 本 政 地 府 城 外 حے 相 健 鮫 用 な IC

職 VC 缯 Ė 込 Ż n Z ح کے L な 3 ዾ 云 ゥ 間 飅 Žį. あ \$ 3 0

L

Æ

行

b

12

る

Æ

Ħ

米

靈

0

健

用

0

紬

果

•

H

本

滋

其

O

意

K

反

L

て

此 Ø 点 IC 5 (A T は (a) 在 H 米 軍 Ø H 本 插 揻 外 枟 用 Ø 際 は 配

僩 0 消 礟 Ŋ 蓌 題 と L T 協 讖 西 ìL る 7 یے 及 Æ H 施 設 \* 作 戦 搖

趣 2 す る 欘 合 付 H 本 政 府 Ø 羉 M 同 鷲 全 變 雪 る ح یے ځ す る 

和 O 2 安 点 **全** IC X 付 鸖 齣 東 1/2 H 奎 九 取 付 九 朅 け \*\* 合 H (b) 米 蚁 两 は 政 r 廚 þ H 協 般 的 雪 独 3 形 ٤ T 云 橛 9 薁

Ø

W

٤

2核兵器の問題

0

約

艰

\*

為

\*

2

٢

ځ

\*

る

孌

0

鑙

置

**%** 

瘔

6

n

る

樱 兵 器 鬨 圈 IC. 関 \* る H 本 政 廚 0 钀 废 IC 対. L 7 米 棚 I 切 沈

繏 Ť F 7 7 VA 3 XII. • 梭 兵 器 0 譽 L VA 谿 靈 穭 K 覹 術 的 核 兵 岩 0

警 傸 及 兵 K 器 I 0 þ 使 用 (a) 登 自 蓢 由 擬 闡 1 営 L 0 T 職 VA 隘 る XX ک 欧 7 州 K (b) 於 米 1 運 髱 自 7 身 V 7 自 VC 獅 於 Ø 7

為 8 办 < ٤ \$ 睒 循 的 梭 ŢĘ. 器 0 儊 用 峜 MI 遻 L 7 Va る 2 کے I

b L ~ 米 ٤ L T は 此 岡 圖 **Y**/4 保 守 政 権 K 1 る H 本 内 政 Ø 安

定 奎 審 \* る 要 囊 ٤ 在 る C. ٤ È 駳 念 7 \$ ٤ 同 带 VC 梭 延 器 今

後 ÍП 倜 左 3 繬 合 K 8 E \* IC 葕 还 隶 1 5 بح 韵 東 \* 3 ح یے は 米 單

0 B \* 胜 屯 及 安 保 条 約 体 儬 Ø 維 持 查 函 鑑 な L 勞 る b Ø で 為

75

と Ø 濫 何 Ť 有 -2-る ٤ 零 兔 6 n る 徤 7 T 现 状 VC 於 τ 5 会 ŽŠ. 核

武 孌 決 \* 行 9 **35** Ø ح ۲ 尚 5 II 羉 献 lt. 題 K 愆 瘫 یچ . 沱 る \$ 0

\* 現 在 Ø 腿 度 T 险 Ŀ 10 Z Z ح 75 必 要 7 8 る O

Ł

思

D

n

る

Ø

7

核

兵

器

間

題

K

就

T

は

野

觉

及

左

羉

變

力

0

政

孌

斯 る 見 地 r b 此 Ø H 圝 K 図 L 米 個 ځ 何 4 X) 醚 談 \* 蚁 a

瀘

Ĺ

7

樉

兵

器

捋

込

È

協

13

蓝

癣

詂

承

認

魯

理

2

女

3

問合

查

~ B 40 否 \$ Ø H 圝 1 8 8 ø 尚 骷 合 ž 為 \$ یے 生 CI 核 兵 器

定 쉞 \* 梭 避 蹳 IC L 涯 Z ح ٤ 及 谿 栾 墈 合 VC 1 b 梭 兵 器 榜

込

K

Ø

闻 蠶 Ť る C ٤ あ ል ~ 8 含 4 查 Ø た \* 豐 Ø 闁 颲 È 生 7 べ **〈** 叉

袮 纖 C 就 7 は 米 個 H 個 蠽 0 約 庻 1 為 士 ۲ کے 6 拒 Ĕr. T 為 ろ 9 Z)A

6 ψ 繼 -IC L T E I カ 0 反 盤 Y), Ŧ 想 3 礼 8 ح ٢ 等 は 腳 織

し置く必要がある

----怕 記 Ø 錈 点 Ø M 此 0 米 個 K 擾 超 す ~ 蓉 P 幣 IC 御 決 趤 顣 度 Ė

H 項 本 ti 地 域 自 1 衢 健 睽 用 ح Ø 在 間 H. 鰮 米 鑦 (12) Ø 1. 齺 力 Ø 及 基 核 本 兵 器 係 0 問 (1) 腦 /. (12) 2. 在 H て 米 頭 為 る 0

公 ٤ 文 思 Ø D 靏 11 鲻 る rt. 0 魯 以 務 <u>\_</u> 的 VC. K 関 研 L 究 如 L 何 T Va な Z 3 X. 形 \* IC 元 灦 A 20 此 樱 4 ~ 醬醬 B 点 P Kt K 頭 付 \* 京 VC 交 於 換

在 羉 勞 题 Ø VC T < 懎 で 野 k 安 4 愈 盤 在 3 倮 米 見 為 亰 b M 委 **(21)** 米 S 応 殿 は 交 Ø 大 ľ 安 何 会 使 换 C 曫 金 来 0 Š L 办 3 保 内 先 外 安 Ø 40 図 逐 3 全 韻 は 0 K 次 Æ 保 整 股 觧 問 京 台 蹬 九 避 ~ 虃 米 阅 1 馍 6 は 大 L 題 す T 橛 M 得 使 ۲ Z Ø K **8** , 人 ح ح 整 7 檢 È 必 Ø K Ħ 酎 形 围 関 變 Ħ 大 8 T 状 視 Ť L B 九 形 闥 þ 0 L る 成 鹽 覹 بح 惊 て ~ L \* 奪 \* 赏 Va 邀 攓 τ 強 兔 推 岡 Z 行 涸 < 盐 稼 醞 0 < 7 L 潘 る す 7 ح 7 當 \* 3 何 为 ح 双 L K ۲ 処 る 狘 方 T 見 迄 と と 適 鬬 5 居 我 共 は

閱

方

X

T

為

3

یے

恩

D

n

3

录

Ħ

る

机

東部等限級及

21.5

安 全 保 躍 粂 約 粱

前 文

鶬

迅 K Ħ 対 本 囲 L 武 VC 恢 力 L 政 毉 武 が 力 政 行 驟 わ 办 九 行 る ح わ ٤ れ K 同 1 時 b VC 叉 極 は 東 引 Ø SP. Ď 続 和 ガス 魯 破 7 躞 X Ŋ d 2 力 た 合 上 衆

第 条 È

は

网

函

政

府

は

必

要

な

h

2

3

M

Ø

授

助

相

互

K

与久

る

8

Ø

と

す

80

礟 東 K 李 H 3 ¥ 和 Ø 破 壞 Ø 急 迫 L 龙 脅 威 が 生 C た 杨 合、 阿 國 政

府

は 直 5 K 協 な H 九 H 在 5 左 5

#### 簬

館 夈 Ø 武 力 政 壁 及 U 7 Ø 台 果 ٤ L 7 埶 ッ た 3 ~ ~ Ø 锴 置 过 宜

ち K 围 盛 遵 合 装 全 保 闡 理 響 会 K 緞 告 L な H 九 世 A 6 な M O 2 Ø 1

¥ 和 及 T 袋 全 È 回 復 L 7)\* 1 繈 辫 \* 3 叉 た b K 必 要 Ž 搢

之

措

置

は

\*

国

際

連

合

0

安

全

保

闡

理

魯

会

は

他

Ø

適

黑

众

機

圆

水

国

際

0

9

置

Ż

た

#### 第 四 粂

È

过

終

止

Ł

な

H

九

I

左

5

九

h

懒

1 鹪 粂 0 目 的 E 即 時 カネ 7 歾 果 的 K 室 成 7 3 龙 め 7 × Ŋ n 合 缭

國 政 府 I H 本 国 政 府 Ø 要 翻 IC 基 Z Ø 軍 燉 T Ħ 本 国 儇 域 内 K 配

戂 7 4 2 Ł 產 受 器 \* 3 \*

2 日 本 国 内 K 配 储 ¥ 12 3 7 X ŋ Ħ 衆 国 軍 欧 Ø 具 力 及 CF ~ 0 主 要

見なるかっとい ) 3 3 5

H

本

国

内

K

配

傭

वं

れ

3

ァ

火

ŋ

力

合

衆

国

Ø

軍

麽

0

地

位

は

別

Ø

協

O

施

な 漤 備 並 C K そ Ø 軍 隊 Ø 使 畑 K 供 さ 九 る ح ح が あ 3 H 本 国 内 Ø

設 及 T 区 域 は 两 国 政 府 Ø 合 意 K 1 つ て 决 定 さ n る B 0 ځ 士 る

定 K 去 b ~ 定 め 5 礼 る 8 Ø ځ 雪 る

第 五. 条

ı と Ø 条 約 は 締 約 国 0 团 際 連 合 憲 掌 K 基 < 権 利 及 T 鋑 務 叉 は 国

際 Ø 平 和 及 U 安 全 を 維 持 + る 国 際 連 合 Ø 實 任 K 対 し て は S か な

る 影 龗 8 及 個 寸 B Ø で は な ₹ 煮 た 及 图 寸 8 Ø ٤ 解 1 ~ は な 6

な

2 締 約 国 は 1,3 国 際 連 合 憲 章 K 定 め る ٤ ح ろ K 從 5 自 国 が 闋 係 1

る ح ٤ 水 岛 る S カュ な る 国 際 紛 争 B 椞 和 的 手 段 K ょ つ 7 国 際 Ø 本 和

及 U 安 全 並 U K Æ 餕 查 危 < - 1 な V I 9 K 解 决 ナ る ح ٢ 並 V K

そ 0 国 劉 関 係 C D M T 围 騤 連 合 0 目 的 ٤ 两 江 L 太 M M カ 太 る 方

法 K I る 武 力 K I 3 威 歐 叉 は 庶 カ Ø 行 健 B 慎 tr -کے Ż 約 束 3 る

0

## 第六条

会 関 亡 7 設 る Ø 置 H 条 本 3 約 团 Z Ø ø - 1 英 合 7 施 同 × K 委 Ŋ 関 具 L 77 会 合 ~ は 衆 相 国 互 必 Ł Ø 要 Ø 協 上 間 鸖 7 Ø 查 る 協 必 補 龖 要 助 機 7 7 棚 関 る ٤ 阅 す ŧ L ~ 設 T 7 置 7 合 Ø る 同 審

ح

4

委

買

項

K

ができる。

### 第七条

~ 0 桑 約 0 寒 施 K 図 3 る 細 目 H 両 政 府 Ø 協 蠲 VC L b 意 苡 礼 2

ものとする。

八

約 は 九 Ħ 六 年七 月三 H 効 力

は Ø 本 条 方 俎 Ø 緻 为 約 為 国 Ł K 他 力 より終丁する Ø 部 約 国 K 対し 勑 年 力 前 É K 存 文 統

るととに X ~ 前 項 K 掴 げる 期 H K 又

は

櫥

K

7 3

極 生 秘 5

### 第一条

H 本 E 及 U T × ŋ 力 合 衆 国 IC 饺 1 武 力 攻 盤 か 行 わ 12 る Ł Ě は \*

約 国 は 迅 際 連 合 癥 黛 第 五 + 条 K L ク ~ 認 め 5 礼 7 V る 個 别

的

各

叉 は 集 団 的 自 衡 楹 0 行 使 ٢ L 7 許 古 12 3 籬 囲 内 K to V T 必 婴 な

ð M Ø 授 助 在 相 互 K 与 久 3 ح ٤ K L b 極 東 K 本 H Z 安 全 È

回

復

M

し及び維持するために協力するものとする。

4 秘 5

> 安 保 闡 条 約 B 案

前 文 略

第

1 力 合 H 本 衆 国 国 K Ø 校 陸 1 軍 ð 武 空 軍 力 及 政 U 靈 商 0 阻 軍 を1 Ŀ K 旦の 幣 与 台灣 7 ð K 危 よる 10 K 决 必 崽 要 K 友

盐

LB

日

7

×

Ŋ

本 国 内 VC. 配 僩 \* 3 檀 利 ŧ H 本 团 は 許 7 × ŋ 力 合 漱 国 は

7 礼 ż 受 賭 \* る

2 H 本 前 国 期 内 C K 基 配 M 個 T a 相 九 I à 0 台 7 × 意 ŋ VC 力 1 合 2 衆 T 田 決 軍 뉟 查 欧 九 0 具 Z カ ~ 及 è U 事 Z 項 0 O H 主 要 K

は

な

幽 儞 並 U K 1 0 軍 劉 0 使 用 K 供 A 11 8 2 7 が 遨 3 H 本 国 内 Ø 施 腴

及 T X 域 が 含 食 12 3 6 Ø Ł \* 2 O

3

H

本

H

内

K

配

備

4

n

る

7

X

ŋ.

力

合

衆

国

0

軍

划

Ø

地

位

は

M

0

盛

窟 K \* M T 窟 8 6 礼 3 \* 0 Ł \* 2

## 夈

H 本 国 K 拔 \* Z 武 力 政 盘 叉 过 武 力 政 鑑 0 怠 迪 た 独 威 对 生 九

合 IC は \* H 本 国 政 府 及 U 7 求 ŋ 力 合 衆 國 政 府 は H 本 围 0 防 衛

2 0 敵 九 肥 分 必 0 武 要 力 农 政 共 驟 同 及 描 U 置 -奎 徽 0 鐑 2 果 左 Ł 8 直 L 5 T 埶 K 協 9 龖 た 4 L く 众 7 rt 0 九 锴 I 歠 澄 は 6 灰 直 V

Ď 农 攢 置 は H 巖 遯 0 安 金 保 魔 理 礟 会 又 过 他 0 蘆 選 な 橃 関 7)3 国 L

6

K

器

蓬

合

安

全

保

闡

廽

魯

会

K

報

告

1

农

H

1

过

t

6

太

M

ø

2

Ø

Ø 和 K K 安 金 \* 回 復 7/2 繈 符 7 3 九 D K W 要 龙

置

歌つたと食は、終止しなければならない

# 第三条

太 軍 欧 \* 岡 7 3 桑 會 Ł 及 衆 \* 1 国 往 M 鄉 7 0 前 豑 条 約 IT. 頂 H 0 本 1 餞 田 揭 H 粂 0 同 6 K 澄 基 12 九 Va を H -得 衣 的 Ħ H 以 本 # n H 社 内 0 Ħ 农 K 配 的 九 K 儺

健

4

## 第四条

0 M 夈 及 約 U 世 女 金 辯 \* 約 では 繈 园 村 0 太 1 田 3 磁 岡 選 羉 4 選 癥 合 黧 及 K 0 宜 澂 基 1 任 1 C 楹 按 利 7 及 L 鄮 U 1 鑝 は 酚 过 叉 办 は H

縮 約 国 H · 🤏 国 際 運 合 麼 掌 K 定 K 3 ځ Z 3 K 從 M Ė H M Ø

係

7

3 7 ٢ 7). あ 3 M DA. 文 3 図 際 紛 争 6 平 和 的 Ŧ 睽 K 1 1 T 際 0 W 和

及 U 安 金 並 TF C E 錢 查 危 1 农 M L 9 K 膟 泱 3 る 2 Ł ÌÉ CF K

t 法 K Ø L 园 3 際 武 M 力 係 K C \* \* 3 1 威 T 跡 叉 国 は 際 武 遬 力 合 0 0 行 目 使 的 Q. X 2 懷 阿 tr Ż 2 Ł な Ż V 約 Va 朿 办 1 な る 3

...

ガ

#### 飾 H 条

Z 0 条 約 0 舆 艫 K 圆 L T 栶 耳 Ø 協 蠿 查 必 要 Ł ¥ 3 7 ~ T 0 鏮 項 K

関 7 3 H 本 Ø -7 × Ą 力 会 獭 围 ٢ 0 閬 0 鼦 蠿 櫗 関 1 L ~ 合 同 奕 ٢ 圓

会 \* 設 置 7 3 合 同 委 員 は 必 要 7 3 3 補 勋 機 网 È 鼢 置 7 ð 7

第 粂 水

T

台

8

Z, Ø 缞 約 Ó 爽 施 K 阕 ナる 翻 目 は 两 胶 府 Ø 筯 龖 K ľ b 合 意 a n

る

ものとする。

館七条

1 Z 0 条 的 は Ŧ 九 E 六 += 年 4 月 -+ H Ż T 効 力 Ė 有 そ

0 後 过 本 粂 T 趤 助 3 上 L ろ VC 1 b 終 7 3 る 意 1 効 力 を 存 勰 才 Z

2 1 る M Ť 予 鲁 1 O 老 与 方 名 3 Ø **C** 罐 ٢ 約 K H 1 6 7 7 他 ガ 前 0 珥 締 K 約 捆 国 H K 8 汝 期 L Ħ K 年 又 前 は VC そ 文 Ø 鸖 筱 VC

C 8 Z 0) 粂 約 \* 終 T 存足 Z ۲ ٤ 戏 7 蓝 3

十部的 五号

日米間の安全保障問題に関する件

五三 ヤニー 米保

-Ħ 米 冏 0 安 全 保 蹴 K \* 3 基 本 的 な 鬪 題 K 就 て (1) 共 闭 安 全

虚の必要、の三点から食付する。

IC

恢

\*

る

認

瓣

(2)

類

行

安

保

夈

約

Ø

不

平

鹞

性

(8)

Œ

\*

科

誉

技

衢

0

発

保

齏

遊の影響、の三点から検討する。

= 헮 項 (1) は 瞹 -梗 本 的 且 翰 騟 的 な 岡 題 C あ る 办 5 螱 ≺

之

酡

揩

M

て

先

7 (2)\* 採 Ŀ H る ø 赟 保 淾 約 K 関 L 7 H 4 H 法 橊 A Ø) 瓣 餾 YŽŽ ක් る XX

其 Ø 所 謂 不 本 **#** 丝 ح は 米 国 欢 H 本 VC 駐 兵 \$ る 機 利 4 规 定 L 乍

5 H 本 IC 阅 L T 何 容 0 鳞 慈 验 鱼 7 T VA な Va 논 灵 9 ح ح 7 尚 る

4) 袋 倮 条 約 は \* 其 Ø 髓 驗 VC N す 3 H 米 腦 Ø 點 合 K 系 7 7 承 初 B 本

個 は W 鹏 的 な 夈 約 查 塔 て Va た ŽŽ. H 本 偑 K 於 7 涨 法 Ŀ **(**) 制 約

並 Z IC 防 徽 力 を 具 储 L て Va な VA こ ٤ か 5 L て 现 行 条 約 Ø 橃 な 形

K 蓉 敷 Va t 次 飾 7 あ る Ø 安 保 夈 約 H 爾 来 H 本 Ó 安 全 保 覹 Ø 蓝 礎

٤ な 7 7 来 た ZÍŽ. 他 面 条 約 Ø 形 式 的 密 M MC 网 與

/. 米 田 I H 本 防 衡 Ø 酸 務 Ė 顩 I ず M

4

体

的

C

は

2 米 翼 Ø H 本 IC 於 け る 配 儲 I 米 ź 方 的 M 之

عے 云 9 = 点 XV. 批 判 0 対 繳 Ł 壮 つ 7 来 た 0

3.

在

H

米

軍

Ø

H

本

地

域

外

健

用

は

米

田

X);

方

的

K

行

9

答

決

め

更

C

(11) 關 来 此 蟀 0 醬 点 I 楹 K Ø 形 で H 米 閥 て 餂 合 It jr. 7 来

た

W.

\*

就

4

相 ľ b 互 梦 防 V 衢 方 ス 定 漪 IC 長 関 官 L C て 趮 は 起 B 九 12 五 た 五 沁 年 H Ø \* 重 個 光 Ø 大 食 9 渡 ~ 米 B Ø 緻 쬟 務 闻 Ø 大 問 臣

鹽 IC W \* 2 不 敪 Ż 6 結 脇 R 至 6 -Ji 叉 九 五 七 年 擀 総 廽 眆 米

Ø 際 米 選 Ø B 本 IC 於 付 る 配 儲 使 用 は H 米 腦 C 183 識 す る ۲ と 苍 含

め て 条 約 Ø 邏 用 \* 極 力 双 豁 的 K 7 る 檖 大 屬 的 な 意 見 0 歡

查

見

る、等のととがあつた。

6 4 H Ø 愶 簩 Ż 6 此 Ø 問 壓 \* 瓣 鞖 7 る

VC

1. 虃 法 F 0 岡 緪 II 自 衢 カ K 関 す る 藗 法 Ø 解 釈 0 毫 腏 K 拗 5 -

佐 絃 ٤ wer L T 儬 約 ٤ L T 存 任 L 癥 法 竣 IE 位 容 易 C 具 体 化 女 Z

見込なし、他方

2 自 衛 繳 0 育 成 XX 繙 文 VC 進 N C 珳 程 度 Ø Ė 籋 力 办 存 + る

3. 在 B 米 單 Xi. 大 幅 K 鯝 滅 B #2 4 後 Ø, 51 統 È 削 滅 3 n る 見 込 ~

ある

等 0 癣 嶷 K 鹺 办 H 米 袋 锞 体 鮙 IC 付 何 쑠 Ż 0 關 艦 企 献 み ð 得 る

حجر Y) Š 圈 題 ٤ な る

(二) 安 保 夈 約 O 不 平 孌 性 查 絵 去 寸 る ح ح は H 本 1 **(2)** 久 L < 希 175

L

7

来 た 所 ~ あ b B H 米 共 闻 泛 全 保 쮋 体 制 查 儘 躞 的 K 強 化 争 る M

以 ð 办 て ٢ 為 云 る ħ. یے C 灣 と て る 為 îğ. \* 7 ~ 具 体 安 的 保 K Æ I 約 酣 自 記 体 (1) 0 0 改 \*\*\* E 热 tt \* 如 H 何 本 K 個 楷

嚴

4

6

見 ð 淮 6 ば 此 Ø ----点 K 対 寸 る 解 决 È 含 Ť b Ø 7 左 H 11 I た 5 χ'n 左

な数 K 於 7 灣 得 る 饝 Ø 方 法 は 依 然 ح L 7 相 I 防 衢 方 淀 7. 為

VC る 於 **7**/4 H 8 本 自 方 籋 式 欧 C Ø 於. 访 H 癥 3 協 圃 力 圝 は 1 (2) 基 H 本 地 供 個 与 IC 於 (3) け 後 B 方 (1) 協 癥 力 宏 Ø 0 -钀 Ż. 图. 慈 内

避. 1 L T 栄 儬 松 相 I Uj 衛 方 式 受 H 得 7 3 ø VC 存 ~A~ Z 0

(av) 次 K 相 耳 防 衛 方 式 IC 蓋 6 3 る 腿 废 て 換 B 世 IT 法 徽 的 VC は 现 行

保 숋 約 Ø 鐵 囲 内 C 於 7 措 置 世 W ٤ 萝 る 揚 合 は

宏

1. 現 K 我 H K II Ħ 衛 際 と H 本 K 駐 圝 す る 權 粌 奎 有 1 3 米

饠

ح

Y/A

並 存 L T Va 4 ŽŽŽ 阿 番 Ø 協 נל O 基 本 圆 係 M 付 阿 政 府 M R 7 解

を明にすること

2 在 H 米 里 配 儹 Ø 協 뾃 H 自 徵 欧 ځ 在 日 米 韗 0 阿 蓍 Ö 力 奎

綜

合

L T 日 \* 0 防 悔 瀶 保 L 得 る 糠 Z 奎 舆 鬒 的 K 強 化 寸 る こ 2

3. 在 H 米 遛 0 H \* 尴 捻 11. 徳 用 rt H 本 個 2 協 部籍 + る C Ł ع 幣

VC 在 H 施 設 奁 作 戰 盐 炮 کے L T 使 用 ナ ろ 嶜 合 tt H 本

棚

Ø

霉

削

岡

意の下にすること

等 O 点 M 関 L M 政 府 間 VC 何 響 **\*** 0 形 Ø 合 激 Ł 逖 IF 3 ح 2 VIS. 糌

へられる。

二 次 IC. 嚴 近 VC. 松 け 3 M 猫 科 绺 技 循 Ø 怠 避 在 統 巀 ZIZ. 安 金 保 廱 IC 図

寸

る

H 米 傑 IC 及 E L T Va る 影 Ě 横 討 小 る ø

41 般 的 VC. 盤 龙 李 3 必 要 ZIS. あ る Ø は y 運 Ø 邂 0 成 功 K 谿 す 3

共 窼 Ø 平 H 攻 勢 乃 盃 J. 廽 戦 7 邀 3 0 即 5 共 避 图 は y 連 Ø 成

功

湰 殿 大 頤 IC. 一百 用 L T \* 因 查 # 心 と + る B 由 寙 営 0 抑 儬 力 ٤ L て

Ø 簠 盘 力 C 对 \* る 僧 顪 を 勵 鐂 ¥ L め 8 乙 と 1/C 簩 8 \* 数 翰 外 交

核 蚌 武 藝 攊 篴 簭 VC 依 9 T SPE. 和 政 勢 \* 慶 闘 L 礰 歎 珂 懋 0 麒 废 77

自 由 車 営 0 切 崩 L 4 所 鸖 中 立 醛 0 西 欧 髗 反 **5** " 居 b 敪

vc 按 L ~ 易 中 y 岡 H 1 b 靈 Va. 压 נל Ž. Z)A y)A 7 7 (a Z

(m) 授 題 離 藥 蓝 雕 0 発 繈 H 兵 力 0 職 略 Ė 配 儷 IC 変 雄 è 齏 Ť Ž 3 此 Ø

意 脒 K 於 -極 亷 K 於 H る H 本 0 纖 略 H 地 位 B á 6 変 つ T 来 る

即 \$ 常 緻 的 K 髾 つ 7 極 東 VC 於 け る 米 軍 配 備 0 簱 繚 Ž 穖 退 L 得

3 ځ  $\overline{\lambda}$ ġ 2 خ KC 左 n H \* 岩田 쓈 0 4 旟 VC 於 7 B 本 II 倜 娅 滥 樂 A **(**)

直 接 的 協 カ K 期 符 L 得 る \* K 付 大 在 る 不 安 \* 麔 3 る ح ح ع 次 Þ

醸成されることとなる。

馸

<

T

H

怕

配

Ø

加

È

共

産

錮

Ø

A.

斑

雠

K

抆

L

極

罗

T

有

利

な

空

戾

z);

(1) 安 採 粂 約 成 V. 0 頃 ľ b 梭 兵 盎 Ø H 鼺 は Ø 鸙 存 在 L T Va た ¥75.

梭

兵 器 VC 柭 + 3 聧 0 幡 磔 Ø 迅 麔 憤 は 其 0 後 K 於 T Ë 驱 鹦 力 Ž).

殿

大

腿

IC

利

用

す

る

所

یے

方

b

.

更

IC

殿

证

K

於

け

る

其

0

優

臌

離

遯

搬

野 睽 Ø 郄 盘 K 由 7 T 梭 兵 器 間 鹽 II 盆 K 糭 雑 化 L 7 來 T Va る 0 五

n IT 政 府 Yh X. 0 政 Æ 2 L T 曲 衛 歐 Ø 核 非 武 遊 外 VC 1 る 牸 込

捆 否 瞯 K L 1 VA 3 M 拘 6 -ju 7 反 汝 党 は 更 K 歩 奎 值 め ~ 圆 会 Ø

决 貓 企 企 W یے L T Va る 他 所 鸖 梭 非 武 孌 宜 蓸 等 VC 対 L T d 廮 齡

It 題 縬 K 之 \* 变 持 4 N Ł \* 3 空 凤 K 為 る

T

논

7

る

B

B

(=) 他 道 礖 方 K K 邐 於 繼 S 梭 兵 n る 器 水 變 概 彈 称 飁 8 0 n 発 瀊 N ٤ 共 K Ø 他 方 R 方 於 K 7 於 T 11 小 大 陸 型 濉 **(7)** 

典 器 2 皧 別 \* 3 鑑 睐 Ż. 左 < 左 b 7 つ あ る ø

嫏

循

的

楤

兵

器

Ž

56

邀

L

7

de

~ **h** 

幣

K

後

潜

H

漸

次

睿

X

fb

L

て

在

来

(44) 斯 . < L て H 本 H 府 2 L ~ 4 麽 兵 器 VC 坟 \* る 灕 粹 O E 民 膨 懵 ځ

世 騨 0 現 寒 ٤ O 間 VC. V 7 T 何 논 Ż 国 Ø 安 金 奎 確 保 3 3 藏 1 見 出

a 左 H n H な 6 版 ď. 此 Ø 問 鹽 XV. 華 常 K 政 治 的 VC な ي τ L 意 7

T Va る 16 故 7 C 其 0 政 极 6 反 容 H C 左 左 V Q 此 0 間 鹽 A. (1) 事 常 (m) W. 函 龖 在

3

礟

僧

H

対

凭

及

濕

數

Ħ

が

前

記

(127)

0

如

Ė

背 景 IC ٠, 米 围 蓝 恰 -釈 方 Ø 瀊 智問 K M

倸

な

<

核

兵

器

柠

込

查

寒

檢

行 L 7 V 3 YA. Ø 加 2 甘 辎 \* 矛 L ~ 厝 る ح ٤ T あ 2 zď. 先 3 斯

な 瓤 鼣 \* 對 \* ð 為 b Š 叉 部 民 0 緻 粋 九 憂 惧 \* 臉 < 為

IC 梭 英 器 持 込 緻 m 岡 鼋 礟 選 ٤ \* 3 合 黨 验 H 米 圈 K 行 Þ

必

N)

要がある。

飔 共 岡 安 金 保 鑃 K 坟 \*\* る 翻 0 脳 盟 壮 固 1 b 雘 8 极 本 的 な 間 灩 7 あ

7 7 以 L 遬 ~ 7 \* た 贈 点 I 鰡 3 H 的 W. 対 す 5 F. 駿 ٤ 酮 3 \*\* 意

性質のものである。

(1) 4 H Ø H 本 K 於 τ は 安 金 保 臟 0 周 題 IC 関 L 7 Ŀ. 野 覚 冏 M 大 Ė 九

不 0 ď. あ 皶 XX る 為 先 b 般 0 総 民 選 0 滋 防 籋 K 騤 W \* 7 U る W 内 識 政 t 關 極 題 D K 7 於 钀 ~ 膜 文 vi. 歡 壮 Va 労 P

働 Ø 大 冏 鹽 IC 付 与 ø 覚 間 r 圝 審 左 懸 网 X)? 為 5 た 他 位 暳 6 対

外

政 簸 K 蹴 T **\$** II 12 た 0 7 办 つ 7 \* 其 0 濫 睞 ~ I 虱 民 0 大 鑫 数 郊

现 酸 府 Ø 安 金 保 囡 政 策 を 支 柠 L た ح کے は 明 自 7 為 3 Ø 然 L 乍

2 あ వ ح ح 755 間 魕 ~ B る O

紐

会

党

0

搊

H

7

Va

2

安

全

保

罐

政

簸

žč

现

酸

府

0

政

鍛

ح

興

躛

Ø

\$

Ø

5

6 n る (13) 現

状

Ø

由

つ

~~

来

3

所

以

\*

考

貕

す

る

IC

庄

Ø

如

ă

内

事

愶

A)?

垮

1. ル \*\*\*\*\* O 年 代 以 ·狭 0 防 Bi 窾 的 思 慮 논 政 鍛 VC 对

4

3

反

動

بح

胶

府 O 繈 威 IC 焌 李 る 不 儅 ٥

2. 占 懨 担 当 L た 米 B C 坟 ナ る 嫨 敜 ょ L た 反 犪 Ø

3. 糜 西 נל Ø 按 触 点 K 位 櫭 \* る Z ځ 办 5 来 8 愈 険 麔 1 Ė 衢 館 力

に対する絶盛感。

4 厭戦思想と無防體中立に対す

る

憧

馓

٥

**お意法問題と国内政争。** 

B 本 政 府 O 防 衞 努 力 は \* 右 Ø 如 8 底 漉 0 上 C \* 内 17 は 経

士 芝 柱 ح L ť 銃 H 5 12 T 来 た 0 T 西 る

醚

٤

蹤

Va

乍

叉

91

Ż

6

O

冷

瞰

0

鵝

龖

K

揞

抗

L

7

7

安

保

条

約

袹

的

困

- 5

H 本 政 府 0 努 カ 可 館 江 5 L 炒 H 本 XV. 自 由 磁 営 Ø 員

ح

L

7

全 徐 身 A L K 臟 工 L 直 2 L T T 来 /c VA る C. ځ Z)A 5 I 7 渺 H 本 る ٥ H 過 民 去 0 蒼 E 灦 倒 办 的 7 \$ 相 数 当 XX な 共 遊 醛 腰 主 磁 8

翻 B 得 る が 未 だ 满 足 \* ~ \* 状 뛢 K は 程 遬 Va \* 0 Y. 為 2 ø 右 K

逾 ~ た 橙 注 醛 癬 悄 -哎 8 Ğ Ø は 驋 \* C 糊 \* DJ. 7 7 ð \* 更 L

蚁 る Š Ø は H 本 政 廚 Ø 努 力 1C 依 b 解 決 Z 12 左 け 九 H 九 6 -gh\* 又

蚁 3 8 0 I H 米 双 方 Ø 協 力 IC 依 þ 処 理 L て 行 Z) 'n ď 左 5 加 B Ø

7 本 岛 る 胶 安 府 全 یے L 7 d \* H 米 共 共 同 安 極 全 保 蹿 体 和 刨 延 沱 12 V 築 K L 界 b

踆 VC

B

身

Ø

¥.

確

保

步

る

ځ

K

瞙

0

**W** 

7

世

Ø

XII. 和 K 鬱 基 \*\* る 决 d. 蒼 有 7 る Ġ Ø T あ る 0 斯 3 兒 地 1 þ 館

於 T 米 K 炒 \* る 要 鑑 金 鎪 5 XA. 披 圈 L た ΥŃ \* 米 棚 þ 8

我

方

K 汝 + 8 多 < Ø 要 盛 VIX. 為 る ٤ 思 9 ø 此 鲁 0 闥 題 IC 跷 ~ KI 双 方 屬

話 7 T 共 邇 Ø 利 盐 Ø 益 め 齺 力 す る \*\* 地 \* 固 b 麼 M بح 零

3 \$ 0 7 為 る

激

左

<

今世本をはいるかん大をな話はるかん 米上花 ろうろん 米马友 等分上 次十

•

安 大金 臣保 即障 明に 粱 翼 す る 当 面 Ø 賭 聞 題 M 7 Va

7

三 二

七

大

米

保

鰶

6

先 艘 Ø 総 瀊 繈 C 際 L T I \* 内 閥 圝 ح L T la 文 轛 \* 勞 勴 問 腦

存 つ 冷 L չ た 思 V. 9 0 1 交 遴 縊 ٠ 防 Ø 儲 靍 果 閥 N. 圞 IC 6 見 绌 n T KI 岡 • 党 Ė Ø 民 園 党 M Ø 殿 政 4 大 鮻 K 意 対 左 隔 ·j-る Ŋ XX. 民 為

Ø 支 榜 VC. 変 b XX. 江 Ż. \*> た ۲ ೭ X)X 明 6 Ø. T あ る Ø 即 B H 米 閥 Ø 安

全

保 H \*本岸 障 M 0 飅 防 衢 I は 阿 H 米 圃 共 0 鬞 Ø パ Ĭ ナ 1 V y ブ Ø 閿 巛 Ø 戮 る ~~~ ٢ 為 云 5 9 T

基 本 政 鍛 H 民 K L b 再 H 確 ö 騘 H B 米 ¥2 関 た 係 يے KC 图 位 9 覭 ح 爽 Ł VC.  $\mathbf{A}_{2}$ 戀 出 来 多 Ø 3 图 Ø 쪮 7 \* 為

同 安 金 保 雠 体 制 K 依 つ て 之 E 礩 保 少

る ø 然 L 乍 6 此 Ø 分 赵 K 放

南 る Q 胜 垒 Ø 間 繮 11 4 後 Ø 安 保 変 貫 会 Ø 邏 営 ح 6 M 邁 \* る 所 T

為

る 7 Χ)? 號 < 幣 ح VC 노 Ħ 郊 分 必 0 變 Ħ と 米 題 VC. 先 ゥ IL 0 て つ て 嬍 先 プ 大 使 H 本 と 伽 Ø χŽ 間 6 IC 兒 元 た 分 坐 虃 面 見 Ø \* 甜 交 換 冏

題 Ø ŋ ッ *.*.... 1 峑 試 办 健 (A ٤ 思 う

7 膌 纽 六 月 Ø 熾 総 珽 訪 米 K 先 立 7 縊 堙 ٤ 賞 大 健 ٤ 0 Ŧ

儲

的

会

ଚ

Ø

際 安 全 僫 蕸 岡 圝 K M L • 総 選 は

4) 安 保 粂 約 ř 4 义 0 变 化 C 則 L て 变 Œ \* ベ 含 点 ح L τ

Ø 台 K ľ と

1.

条

約

K

越

B

庭

留

乛

る

米

運

0

配

儋

及

使

用

は

厭

即

ځ

L

T

H

米

相

Ē 斌 7 τ 行 Ø n 3 ~ B C

2 3. 叅 条 約 約 IC ٤ 期 磲 遜 を 鰵 付 皶 -0 ~ 圆 8 係 2 \* 2 明 6 Ż. VC す ~ à 乙

ځ

の三点に雷及されると共に、

(12) H 本 H 巫 防 会 7 涣 定 T 'n る ~ è 聂 蛚 访 衞 力 数 儲 計 囤 K 従

防 衞 力 漸 增 Ø 努 力 奎 統 时 Z X)X \* Ė 衢 際 0 育 威 並 T C 政 治 的 S.

的 鸖 愶 B 糌 麻 L 米 圑 は 陸 上 躈 部 隊 Ø 全 函 ÉÜ 擨 退 答 含 み 極

力

理

V

12

米 軍 登 削 滅 \* る ٢ 共 K 米 Ħ 施 設 Ø 再 檢 討 查 試 Ž. 5 檢 要 彩 ず る

目 ż 述 べ 6 n た 0 m L T 此 鐴 Ø 点 付 H 米 会 談 0 綴 充 分 檢 討 世 6

野 主 ٤ M 於 L T T 前 K 地 配 Ŀ (1) 蚁 Ø 鼮 部 係 **W** IC Ø 於 T 全 面 H 的 米 安 擨 退 保 奎 奕 鬒 含 t 会 米 Źζ 超 発 0 足 大 L 幡 削 叉 滅 (13) \* Ø 見 分

た次第である。

. <u>#</u> 係 K 斯 < は 相 L 当 T 避 0 進 进 腏 1 年 見 Ø 6 M 1 K た 於 YK. 7 3. 此 袋 Ø 全 M 保 闡 FFE Ø 年 分 秋 野 ソ VC 遲 於 XE H 大 8 险 B 鞭 米 霖 W

門

先

7

H

米

共

岡

安

金

保

職

体

飿

弦

丞

舆

Ť

3

見

地

1

b

次

0

如

8

閥

题

χįχ

彈 ع Å I 籋 羉 IC 依 7 7 重 罄 科 学 技 衞 Ø 進 歩 圣 鮬 郊 L 7

伽 は 方 IC 换 T 自 由 趣 営 0 抑 儬 力 Ø 中 小 た る 米 0 本の一般を表する。

愍 全 生 ¥. L め 3 機 叉 同 翰 K 周 進 戰 争 を 否 虚 L 7 中 逾 华 徽 な 窟 備

位 無 箛 肤 T a る Ł O 觀 念 全 齒 成 す る 樧 宜 伝 圣 躞 ٤ 盤 化 L た O

9 4

<

L

T

H

米

颰

鎌

K

旣

T

鬼

2

\*

m

配

Ø

髓

簭

惛

٢

併

世

此

O

際

檢

討

斯

\* 要 + ~ 盘 膧 K Ø 鹰 園 ýi. 4 盟 L T M る Ł 思

為 Z ح 思 ħ •

4) Ė 衢 歐 2 在 H 米 輝 Ø 協 力 Ø 基 本 関 係 IC 7 Va. ~~

親 隺 鍛 K 自 衢 燉 ح 在 H 米 敓 水 並 存 L T VA 3 XIX \_ ^ 行 酸 齺 定 第

+ 四 夈 C 暉 政 厨 は 非 常 数 艬 XX 生 缸 L 沦 婸 H 本 X 域

Ø 访 衡 Ø た 的 必 要 左 共 闻 鑙 置 Ě 藥 る た 黔 直 B R 齺 釀 1\_\_\_ 梦

Z

Č 云 3 规 定 15 あ る Ø Ö 安 保 粂 約 I 米 軍 0 H 本 防 衢 쵏 騎 奎 规 定

世 明不の 1 Ė 靍 歐 7 Æ H 米 重 Ø 協 力 Ø 蓝 本 関 係 IC 付 阿 政 府 間 VC

何

簭

ø

る 现 状 東 0 tt 鑫 存 付 L 计 水 ٠ ي Va L T 此 Ø 两 点 習 IC 阅 O 10, L 力 0 Ħ 趭 衛 本 麽 関 15 係 在 K H 付 狄 簱 ٢ 安 保 並 存 枭 約 **→** 

Ħ 体 rt 其 Ø 盤 논 L 7 两 政 廚 K 個 您 Ż 台 筮 Ż 蕊 L 得 3 Þ

又為すべ P 否 \* 0 鑩 M. 存 す る O

(m) 在 H 米 重 E 備 Ø . 協 VC. 7 Va 7

在 B 米 氫 Ø 配 儋 乃 蓋 撤 遜 計 固 は 安 保 要 圓 4 K 於 T 協 鯔 \$

幣 れ K 7 空 来 軍 7 関 VA 係 3 IC W. . . 🖘 分 7 4 H は 我 0 方 舆 0 僧 崮 d 衛 米 歐 魟 育 0 撤 成 Y15 退 追 Y); 付 敿 办 溅 \* VC. L 進 7 约 防 5 衢 n K

空 白 \* 壁 -300 る 形 勢 1 為 る 0 此 O Ħ 昧 KC 於 7 Ħ 徽 TO: と 在 H 聚

润

 $\bigcirc$ 

储

Ø 两 着 儲 0 奎 力 築 奎 躓 総 的 合 K L 強 T 化 致 L 7 Ø 行 访 ₹ 衛 必 \* 變 確 75. 保 あ L る 帶 کے 7 思 橡 D ir 在 る H ٥ 米 翼 配

缓

軍 璐 助 IC 7 VA T

Ħ

衢

隊

装

儘

**(2)** 

質

的

皶

16

0

蕊

め

K

は

4

後

共

米

H

1

þ

0

題

礟

授

助

vc 依 存 事 る 必 要 AX. à る Ø 此 Ø 点 K 9 Và て は H 本 倒 K 於 T B 脳

密 保 羻 攚 懺 P 近 代 兵 器 受 入 方 針 K つ VA て 措 匵 步 る 必 褽 が 南 る Xyy

我 方 C 対 寸 る 壐 魯 挭 助 VC. 付 好 虃 的 麒 脡 7 以 7 篮 \* 12 為 ۲ ح ŧ 期

待 す る 0

他

面

米

個

K

於

T

杏

Ħ

方

0

計

团

遊

威

ă

M

館

东

5

L

的

3

10

4

後

共

次 M 現 存 0 安 保 梷 約 体 헮 K つ Va 7 鼮 整 Y) 堂 L VA ح 思 1 12 る 問

他 的 否 ØS. 堆 然 圝 方 B 4 相 相 \* 強 Ø 与 Ħ. 耳 点 鑁 授 团 妳 極 Ż, 助 助 (8)T 間 Ø 考 後 Ø 方 見 **A**^ 方 塵 τ 形 式 大 Ł 6 餲 ځ 0 L T 新 12 力 L て T 粂 為 Ø 此 新 る = H 红 約 0 左 ζ \* Ø 間 Ø ح 約 儬 閱 圝 K 踈 題 T, **/**/2 位 鑑 と つ B す (1)0 办 る る 麼 な 当 閱 慎 YX. 2 法 る 面 豳 یے Ø XV. 之 χχ 研 K 鰡 鬨 為 9£ 依 は 田 Ž 趨 촶 H VC l る つ 内 要 本 T b Ø つ 萝 伽 充 防 T る 分 VC 衞 Va 於 所 ح 窗 は 瀊 で 鄹 T カ D あ ø, X 米 n る 政 る 田 (2)ば 慈 治 伽 汧

(1) 在 H 在 米 B 翼 米 鰵 Ø H 0 本 H K 本 於 地 域 け る 外 配 健 用 僧 及 Ø N 周 使 鹽

嬮

D

觞

鑑

J.

る

2

ዾ

C

方

つ

て

Va

Z

ŻŲ.

其

Ø

H

本

地

城

外

僾

用

VC

就

T

用

H

H

米

閱

C

築

行

可

鮱

な

4

行 わ n 協 動 3 0 在 世 谽 B 果 米 tr 窜 3 ۲ Ø H 使 ح 本 用 ح 雪 X)S 幣 る 其 MC VC H 蝉 本 n 斌 越 IJ 赸 K 查 H 反 拠 本 热 L 政 2 府 T Ť یے 戦 る 稻 뿠 談 躛 か M 0 L 運 KC 瘞 行 (11)

梭

兵

器

Ø

閩

圖

る 鮻 含 上 办 込 云 6 弦 ð CI れ 機 1 る ح 左 3 ٤ 澈 11 ځ 床 た χ'n 形 な る 6 C T 左 つ ٤ I 云 オ て Ð < . Va 鐑 4 共 疥 餾 闻 ŠČ 防 米 あ 衛 運 3 Ø Ø 行 此 般 勵 Ø 的 M 热 見 は 制

0

昨

年

**(**)

会

肘

Ť

쬃

-

地

1

þ

B

米 両 政 府 M Ø 協 繼 癰 珥 Ł \* る こ ٤ źń 盛 蛮 L Va と 筹 5 n る

核 英 岩 鹼 争 KI • Hi 年 秋 0 y 遵 Ø 大 肠 曔 道 聯 人 I 獮 題 以 来

段

唱 と 深 4 ソ 쩷 遊 Ø 0 废 桑 查 件 加 付 ~ 方 其 的 0 梭 後 共 寒 殿 靈 中 繼 止 豁 闰 E 明 0 4 非 核 0 ح 武 疲 ح Ġ 赸 幣 B 7 殼 隱 た Ö **(**) 我 提

R 网 L T H 以 上 0 如 Ė 世 駅 的 靐 僧 IC du • 在 B 米 選 撒 退 0

党 趭 其 行 Ø R 他 由 Ø b Ħ 基 淵 地 勶 問 づ 驖 Ž Z)Z 其 獅 < 0 F 政 艦 火 0 K 矛 な 先 7 ř T 核 樂 兵 た 器 ح 問 ٢ 题 6 M B 樂 7 中 7 社 L T 会 依 右 器 E 居 Z tt 12 櫅 b 了 安 込 7 解 保 闘 V 從 χ'n 委 題 る 7 存 頁 IC 築 7 L 会 関 儹 此 ~ な て L Ø 協 間 7 VA あ な 貓 B る 瓥 5 さ 米 VC ば 12 阿 B は 何 る 政 22 犃 故 府 ح K d 之 と 別 前 徹 奎 ځ K 国 愍 取 左 如 会 C 付 つ 何 K あ 计 放 7 加 る 在 る T 羖 Va 了 る H M I κĺχ X): 解 脚 • • Ŋ. 野 龠 叉 窓 存 党 H 祌 L 少 更 Vit. 釰 文 る M 0 斖 梭 刺 Ŋ. 兵 米 IC 鏣

如 炇 È L 野 本 霓 件 攻 C 孌 國 K す 炊 3 L 共 同 7 宜 は 营 政 登 府 申 a 入 n 自 て 衛 来 逖 る 所 It 梭 ZÍZ. 武 南 变 7 世 た -义 以 7 核 上

器

0

柠

Δć

\*

翮

Ø

左

Va

٤

云

9

方

針

产

明

6

X)

IC

L

米

IC

闋

L

は

兵

0

7

核

事

武

變

泱

魕

案

荃.

攓

起

3

3

٤

共

K

\*

総

邏

继

K

鰶

L

τ

自

囝

覚

1/C

ZÍZ

do

る

Ø

T

は

な

VA

X/A

等

執

坳

IC

纖

返

L

更

K

会

般

終

段

雷

W

於

•

空

壐

\*

簬

t

魕

漆

0

艦

鉛

ŽÍ.

梭

兵

盘

查

搭

藏

L

7

致

H

顀

土

K

入

る

ح

٤

ijĖ 掛 H 武 \* 癥 錢 \* 決 と 係 136 る M 様 鑑 C 网 な み L こ 米 T ٤ ZX 位 d Ä 在 日 Ø W 本 必 と Ø 夓 確 黨 な 僭 쮑 L 寸 奎 と る 擨 L 趣 視 て 圖 L Z \* B 奎 以 本 拒 ~ Ø 否 応 奝 M 題 L 7 K L 婡 反 た 叉 -0 核 B

は御承知の通りである。

る と 他 共 方 C 他 口 方 K 小 核 捌 兵 器 0 聯 ٤ 云 袻 的 7 梭 τ 兵 b 器 0 闥 方 発 K YI. 於 虚 T ん 水 7 爩 曆 弾 ŋ 盟 K) N 発 À 邃 事 T

ح 0 其 ع 13 0 自 他 分 Ė B 曲 庫 L < 営 翻 0 防 誸 L 衛 ~~ 躈 略 居 る Υ'n Ø 核 兵 此 Ø 器 点 Ø 健 C 関 用 L \* T 前 挺 H Ħ کے 分 L 7 đ 全 M 般 る

的 Ħ 縮 Y/X 侚 等 r) 0 形 7 具 体 化 \* る ۲ ح ż 切 VC. 糖 鑑 \* 3 B 0 T 為

鏦 る 0 化 す 問 る ە 上 IC. 7 좿 灦 H Z Ø 12 嬔 る 驗 共 は Z 童 豳 No. 0 篡 A M 型 L 臌 な K け 坟 n L d な 榖 5 K 7 1 L 4 7 徬 B 益 爤 K 牟

ŧ

M

明

L

7

居

8

7

C

8

T

Ż

5

此

0

周

魖

K

脚

L

M

政

府

間

VC

何

鰶

見 S 3 た 所 5 XX ď 左 \* H 米 n H II T B 6 本 江 0 M 意 と 圈 恩 ゥ K O 拘 b H 米 な < 間 梭 0 兵 条 器 約 N. È H 係 本 IC VC 說 梤 Va 込 て

み

獰

る

ح

٤

ع

左

7

T

居

b

\*

濫

L

此

Ø

点

K

歛

T

H

民

D.

懸

念

**18** 

捋

7

る と 0 士 殊 71 C 1 核 兵 政 器 府 40 ٢ 避 L 遯 Ť 驒 I 基 何 地 Ø 办 圈 0 題 方 IC 法 阅 Z. 之 L 芒 7 付 解 \* 决 飷 寸 Ø 3 自 必 由 要 龤 **7**); 為

9 鱜 16 て 

合 IC 於 " \$ 逍 鵔 0 滾 싿 鑏 重 \* る ح 云 ゥ 雄 前 χ'n ح 5

居 典 器 þ 叉 本 K 网 L τ 过 米 政 府 要 路 K 於 ~ \$ 现 在 B 本 VC は 甘 檄

14 榜 込 1 九 T W 춫 VA L 3 H 本 查 梭 链 儲 寸 3 計 圃 \$ な Va と

× O T 解 奎 瀊 d 置 < C ٤ χĸ 全 般 的 IC 零 T 得 鍛 70 杏 Z ح 增 B 0

飅 -Z K 在 H 煍 靈 稽 1 Ø 緖 果 卣 衞 繳 0 防 靍 遊 任 K

M 力 な 足 対 資 闋 進 A)2 雪 士 係 展 防 る る ŧ 循 自 ¥ŽŽ 磔 覚 茰 K あ W XX. IC 9 \* 全 增 た 向 般 瀊 ٤ Ŀ る 的 世 思 H 世 飓 米 b L ю 地 協 ٤ 8 九 力 Ď 3 Ø ø 戦 5 H 関 以 係 告 擬 本 躞 上 É 企 Ø 合 申 上 0 L 迹 C Va Ť 0 極 ベ 明 τ 東 る 居 船 た ۲ b 鼢 0 Va 自 膨 で ح 又 邀 由 17 t 安 翻 ŋ 老 腦 60 保 4 賞 全 後 瑟 雪 大 体 員 Ø 等 会 使 H 0 K 防 相 米 Ø 於 協 吊 発 衞

χ)<sub>A</sub> n て B 建 殿 Ħ な 氮 持 C Ż 全 検 討 L て 藏 8 废 VA o

## CONFIDENTIAL

- 4. Following aspects may be considered with a view to strengthening the existing joint security system.
- a. Currently in Japan, there exist side by side the Self Defense Forces and the United States Forces, Japan. Although the Administrative Agreement provides in Article XXIV that in the event of hostilities or imminently threatened hostilities, the two Governments "shall immediately consult together with a view to taking necessary joint measures for the defense of the Japan area, the Security Treaty itself does not stipulate any obligation on the part of the United States Forces to defend Japan, nor is there any explicit understanding between the two Governments as to the basic relations of cooperation as between the Self Defense Forces and the United States Forces, Japan. In this respect, there is a question as to whether the two Governments should agree, within the framework of the existing Security Treaty; on the basic principles of cooperation between the two forces.

b. The disposition, or the planning on the withdrawal, of the United States Forces, Japan has been subject to consultation at the Japanese-American Security Committee. However, the withdrawal of the United States Forces has been expedited considerably, and the possibility exists that the build-up of the Self Defense Forces may not be able to catch up with it, especially in the field of air-defense. The consultation on the disposition of the United States Forces should therefore be strengthened with a view to securing the defense of the Japan area by the combined capabilities of the Self Defense Forces and the United States Forces.

c. Japan has to continue to depend on the military assistance of the United States for the modernization and reinforcement of the equipment of the Self Defense Forces. In this respect the Japanese Government has to take steps in respect to the measures for the protection of security as well as the acceptance of modern weapons. On the other hand, it is hoped that the United States should continue to give favourable consideration for military assistance to Japan so that the Japanese defense build-up program could be successfully carried on.

- 5. There are certain aspects of the existing security system to which some adjustment is deemed desirable. The problem of the adjustment may lead us to the more basic question of rewriting the existing treaty into a treaty of mutual assistance. So far as a mutual assistance type of treaty is concerned, a question has been whether the United States could enter into one with Japan if Japan comit herself to (1) the mutual assistance in defense activities within the Constructional limitations, (2) providing facilities within Japan, and (3) cooperation and mutual assistance in logistical support. At the same time, a mutual assistance type of treaty with the United States having far-reaching political implications in Japan, this question has to be studied very carefully. Meanwhile, the following questions present themselves within the framework of the existing treaty.
- a. The disposition and use in Japan of the United States Forces are subject to consultation between the two Governments as far as practicable. However, the United States may use her Forces in Japan without informing or consulting Japan. Accordingly, it is agreed that unless their use outside

might be entangled in a war, without her knowledge or against her will, as a result of the use by the United States outside the Japan area of her forces stationed in Japan. It is deemed desirable, therefore, to agree between the two Governments that the use of the United States Forces also class two Government, not to place limitation on the activities of the United States Forces, but in the light of the general interest of joint defense.

b. The controversy in Japan over nuclear weapons has been intensified since last fall when the USSR announced her success in ICBM and artificial satellite. Communist countries have since then proposed the establishment of denuclearized zones, and the USSR has announced unilateral but conditional suspension of nuclear bomb test. Furthermore, as controversies over the military bases of the United States Forces have gradually subsided, the left wing opposition has been concentrating its attack on the issue of nuclear weapons. In the preceding sessions of the Diet, therefore, the Socialists insisted on demanding, as for instance, what understanding

existed between the two Governments concerning the United States Forces bringing nuclear weapons into Japan; was not this question subject to consultation at the Security Committee; was there no written agreement; why was not one made; were not vessels of the Seventh Fleet or aircraft from Okinawa entering into Japan carrying nuclear weapons? The Socialist Party final submitted to the Diet a resolution on denuclearization, and proposed to the Liberal Democratic Party a joint declaration in the course of the general election on this question. Against such opposition, the Government has clarified its policy not to arm the Self Defense Forces with nuclear weapons nor to permit any foreign country to bring them into Japan, and emphasized that the United States would not take action in disregard of the intention of Japan. The Government has also turned down the proposal of denuclearization on the ground that it was not necessary.

Speaking of nuclear weapons, I am aware that while the thermonuclear war-head has been developed on the one hand, small-sized tactical
nuclear weapons have also been developed on the other. I am also aware
that the defense strategy of the free world including NATO presupposes
the use of nuclear weapons. I earnestly hope in this respect that a

general agreement on disarmament should be reached. At the same time,
the Government cannot disregard public opinion. Should the Japanese
public entertain some genuine apprehension in the nuclear weapons question,
the Government has to deal with it. So far as the legal relationship
between Japan and the United States is concerned, the United States may
bring into Japan any type of weapons without regard to Japan's intention.

If the public is concerned about it, the Government has to do something
about it. In dealing with the question of nuclear warheads or missiles
among free nations, the opinion of the countries concerned is respected.

Furthermore, the United States authorities have stated that they have no
current plans of arming Japan with nuclear weapons, or bringing them into
Japan. In the circumstances, it is deemed appropriate that some understanding will be agreed upon between the two Governments on this question.



## 七 月 Ξ + 日 藤 Щ 大 臣 在 京 米 大 使 会 談 抜 萃 マジアクを上

臣 八 月 中 Ø 会 談 Ø 予 定 は 後 刻 打 合 せ る ح ح ೬ L 今 日 は 安 全

保

大

障 問 題 K 関 し 先 づ H 本 側 0 IJ ヴ I を 弒 み 度 大 臣 ょ り 別

を 読 上 5 れ た 0

大

使

貴

大

臣

プ

ij

せ

ン

ァテ

1

シ

3

を

多

ح

す

る

0

本

日

は

訓

令

な

米

\*\*\*Ő

为升 げ

菰

三年七二六米作至系了老住降上周丁雪面之沿门还好了(在月记出了

私 見 ح 述 べる せ て 戴 < 0 な 話 10 依 れ ば 日 本 は 長 期 的 K 考 て

国 ح Ø 間 10 何 等 か Ø 形 0 安 全 保 障 取 極 を 必 要 ح す る ح 考 て な 5

n る ح 7 解 す る ŽŠ. 左 様 で あ ろ う Z)S . 0 刞 5 第 次 大 戦 後 世 界 Ø 勢 力

関 係 K 大 き な 変 動 が あ り 日 本 は ソ 連 中 共 ٤ ゔ つ Ø 巨 大 な 力

が 存 す る 実 情 Ø 下 10 於 て 独 力 で 其 0 安 全 を 保 障 す る ح ح は 出 来 ず、

従 つ て 米 玉 ح Ø 間 VC 何 等 か Ø 形 Ø 安 全 保 障 取 極 を P つ て 行 < と

ゔ 長 期 的 方 針 で あ る حے 解 بإ て 差 支 な S ح 思 ĝ DS. 如 何 で あ ろ Ġ Z)

大 臣 其 Ø 点 K 就 7 は 何 等 Ø 変 化 Š な S 0 今 後 例 ば 大 幅 な 世 界

軍 縮 と 云 Ġ 様 な ح ح Ŋ, 実 現 て 世 界 情 勢 Z. 変 <del>-</del>و る ح 云 ģ ح

軍 事 力 邓 存 て S る 限 b 其 Ø 点 は 変 5 な (A

b

な

れ

ば

別

で

あ

る

Z.C

戡

<

ح

B

現

在

Ø

如

<

ソ

連

中

共

ح

S

ġ

巨

大

な

大 使 米 国 Ø 伤 部 . VC b 日 本 Ø 安 全 は 日 本 だ け 0 利 益 K 非 ず

米

玉

を 含 扩 自 由 諸 玉 全 体 Ø 利 益 で あ る ح す る 考 郊 あ る 0 今 後 玉 連 邓 平

な 和 変 維 動 持 郊 Ø あ 為 n 20 ば Ø 兎 効 果 多 角 的 な 自 体 由 制 諸 を 国 作 ح る し لح て Z) は 或 信 は 頼 軍 性 縮 Þζ Ø 実 あ 現 り 相 ح 互 か C 大 受 き

け 容 九 得 る 安 全 保 障 体 制 を 維 持 し て 行 办 な け n ば な 5 ぬ ح 考 ^ る 8

そ ح 米 間 0 現 在 0 関 係 を 養按 す" る K 安 保 夈 約 恋 one sided で あ る

೬ 云 ġ 難 点 郊 あ ŋ ` 之 必 議 会 乃 至 輿 論 KC 物 챮 を 醾 L 7 S る の で あ

る ح 思 う 0 此 0 点 0 解 決 Ø 為 め 10 自 分 は 出 来 る 腿 り 0 協 力 を 行 ゔ

决 心 で ぁ る ŽŠ. 其 Ø 為 先 ブ な 確 め す る 意 味 で 全 < パ 1 ソ ナ ル

ベ 1 シ ス で 伺 V 度  $\sim$ 点 沁 あ る 0 即 5 日 本 側 は 安/ 全 保 障 C 関

・す る 日 米 関 係 を durable な 5 し め る 為 め 1 相 互. 援 助 Ø 取 極 を 最 善。 لح

し て 之 を 欲 し て な 5 n る Þ 否 \$ 0 問 題 で あ る 0 日 本 側 は 相 Ħ. 援 助

方 웇 を 希 氅 な n て B 支 章 亦 あ つ て 出 来 な V . と 云 ゥ ح لح で あ る Ø Z)z

或 は 相 互 援 助 方 式 は 之 を 欲 せ ず 現 存 粂 約 Ø 枠 内 で side arrangement

K 依 り 生 起 す る 問 題 を 其 Ø 都 度 処 理 L て 行 < ح ح を 希 氅 L 7 な 5

な れ る Ø 云 で ġ あ ح ろ ح Ġ で か 0 :あ 若 る な L ら 相 ば 互 其 援 Ø 助 支 を 障 希 は 횧 何 し で て ぁ B 支 る 障 か ح が 云 あ ġ つ ح て بح 出 を 来

探 氽 し な け れ ば な 5 な S ح 思 う 0 要 す る K 方 法 は つ で つは

間 題 を 全 部 瞩 け 出 し て 長 期 的 C 耐 え 得 る 体 制 樹 立 を 弒 み る か 或

は 不 安 定 な 状 態 を 続 け つ つ 生 起 す る 問 題 C 追 わ n て 弥· 縫 策 を 続

る 办 بح 云 う ح لح で あ る 0 貴 大 臣 0 プ IJ ぜ ン テ 1 シ  $\exists$ ン K は 両 方

0

け

考 ^ 方 ŽŠ 入 18 N. B. C. S. C. て S る 様 10 解 3 n る が 基 本 的 K は 何 n を 女 考 で、 あ

ろ Ġ か 0 尚 蛇 足 的 10 申 世 ば 米 国 郊 第  $\equiv$ 玉 ح 結 ん で V る 相 互 援 助

条 約 で は 憲 法 上 Ø 手 続 10 基 き 相 互 (C 援 助 す る ح ح 条 約 Ø 期 限

か、と云うことである。

等

Ø

規

定

を

含

 $\lambda$ 

で

S

る

郊

日

本

側

b

斯

様

な

条

約

を

希

氅

5

n

て

**(**2

る

大 臣 安 保 条 約 を 改 訂 L 相 互 KC 対 等 0 義 務 を 規 定 1 た 条 約 を 結 £,

ح 云 ゔ 問 題 C 就 て は 日 本 KC 於 け る 憲 法 上 Ø 制 約 か 5 し て 完 全 K

対 等 な 条 約 を 作 る ح ع は 出 来 な S ح 云 う ح ح は 事 実 で ぁ る 0 従 つ

て 完 全 10 対 等 な 条 約 KC 改 訂 す る ح S ĝ ح ح は 考  $\sim$ て V な **(**2 0 然 L

現 存 Ø 、条 約 は 其 Ø 規 定 KC し 7 B 叉 其 Ø 運 営 C し て B 米 側 0 方 的

意 思 C ļ る ح 云 う 点 郊 多 < 旁 々 安 保 条 約 は 日 本 K 自 衛 力 0 な Ŕ

時 代 C 作 ĥ n た B Ø で ぁ る ح 云 ĝ 事 情 B 手 伝 つ て 所 謂 方 的 な

安 保 条 約 が 米 側 Ø 方 的 な 意 思 Ø み で 運 営 3 n る ح 云 う ح ح Źζ 不

条

約

で

ぁ

る

云

ゔ

ح.

ح

KC

受

取

5

n

て

(A

る

ح

ح

K

問

題

が

あ

る

0

即

5

味 M Ø で あ つ 7 其 Ø. 運 営 KC 日 本 側 Ø 意 思 が 加 わ り 日 米 双 方 Ø 意 思、

郊 対 等 Ø レ ヴ ı ル で 話 合 わ n た 上 条 約 Žĩ 運 営 3 れ 7 行 < ح 云 ġ ح

ح KC な n ば 或 程 度 実 質 的 な 改 訂 ح B な り 叉 斯 様 な 基 本 的 了 解 邓

成 立 る

す n ば 可 成 な 解 決 ح 易 な り そ う 度 々 個 K KC 生 起 す

間 題 10 追 わ れ る لح 云 ġ ح ځ B な < な حے 思 う

大 使 貴 大 臣 Ø 言 ゎ n る 憲 法 上 Ø 制 駆 ح は 海 外 派 兵 Ø 間

題

を

意

味

3

れ る Ø で あ ろ ĝ か

大

臣

憲

法

上

Ø

制

約

Z)

5

日

本

Ø

自

衛

隊

は

米

本

国

VC

派

遣

す

る

獳

K

行

す

5

騫

か ず 朝 鮮 KC 出 す ح لح Š 出 来 な V 0 自 衛 隊 Ø 存 在 そ 0 B  $\oslash$ 

法 を 最 広 義 1C 解 釈 し 7 0 み 可 能 で あ る

大 使 於 互 10 考 え て N る ح ح を は 0 き り す る た 8 R 申 述 ~ る 郊 `

思

ĝ 10 条 約 地 域 を 日 本 区 域 ع 肕 定 し た 条 約 ح し 日 本 Ø 海 外 派 兵 Ø

問 題 Z), 生 起 し な M 様 な 相 互 援 助 条 約 ŽŠ. 若 L 出 来 る ح L た 場 合 そ

n で B 日 本 0 憲 法 上 Ø 蹱 碍 Zi. あ る て あ ろ Ġ 办 0 叉 憲 法 上 以 外 10 何

等 か Ø 支 障 Z), あ る で あ ろ ĝ Z) 0

大 臣 自 衛 浆 は 日 本 囷 外 K 出 き 行 < ح ح は 不 口 能 で あ る 0 今 Ø な

戦 す る لح 云 う ح ح K な る Ø で あ る ζ'n 0

は

自

衛

隊

は

海

外

KC

出

て

行

ガュ

ず

米

軍

は

日

本

地

域

で

自

衛

隊

لح

共

同

作

話

大 は

使

今

Ø

勿

論

つ

0

例

ح

L

て

申

し

た

迄

で

あ

る

何

n

K

せ

J

相

互

援 助 方 式 0 碍 は 海 外 派 兵 で あ つ て 之 は 憲 法 改 正 す る 迄 は 出。 \*\*\* 来

な

V

೬

云

う

礩

趣

旨

لح

了

解

重

る

O

憲

法

解

釈

لح

云

ĝ

問

顋

は

勿

論

当

該

玉

自 身 Ø 問 題 で あ り 政 治 的 其 Ø 他 種 K Ø K B 依 る ح ح て あ

つ 7 米 国 ح し 7 何 ٤. b 申 上 げ る 考 は な S 自 分 žĬ 承 り 废  $\langle \rangle$ 0 は

互 全 援 ? 助 パ 方 l 太 ソ 郊 ナ 可 ル 能 で ~" あ 1 る シ ح ス L Ø た 話 場 で 合 あ る 日 Z), 本 は 日 之. 本 を 憲 適 法 兴 Ø ح 節 認 囲 め 内 5 で れ 相

る か 或 は 之 Z), 可 能 で あ つ 7 B 尚 現 行 条 約 は 其 Ø: 儘 لح L 或 は そ 0

字 句 5 ぢ り を 試 み て 個 K Ø 問 題 を 其 Ø 都 废 処 置 て 行 < ح لح を 適

当 ع 認 め 5 れ る 办 其 0 間 Ø general feeling ę, preference

で あ

る

0

迄.

大 臣 完 全 K 对 等 な 相 耳. 援 助 条 約 で あ る な 5 当 然 自 隊 かご 米 本 玉

派 遣 5 れ る ح ح 易 食ま な け れ ば な 5 すぎ そ n は 憲 法 改 正 を 待

不 能 完。

て

は

미

で

ぁ

る

0

如

何

様

な

取

極

を

作

つ

て

B

右

0

意

味

で

は

全

た

ず

 $\mathcal{C}$ 相 互 的 な 8 Ø は 出 来 な 5 0 日 本 側 Ø 目 的 は 現 行 条 約 Ø 方 的 性

格 を 除 去 し ょ う ح 云 う ح لح で あ つ 7 其 Ø た め K は 条 約 Ø 改 正

其 0 儘 ح し て side arrangement KC Ţ る 方 法 بح あ り 得 る 邓

对格

条

約

は

条

約

Ø

改

正

 $\mathcal{C}$ 

ļ

る

場

合

は

政

治

的

KC

な

办

な

办

Ø

困

難

が

予

想

3

九

side arrangement KC 依 る 方 法 ŽŠ 逾 当 34 認 め 5 れ る 0

念 重 ね て 伺 Ŝ ٤ درگر 日 本 Ø 憲 法 Ø 制 約 下 VC 於 て 相 互 援 助 方 式

郊 口 能 で あ る ح L て B 左 様 で あ る か 0

大 臣 然 り 0

大 使 ょ < 分 つ た 0 先 刻 Ø な 話

は 臨 時 玉 会 KC 法 案 を 出 す ح 自 分 K 内 話 3 n た が , 之 は 甚 だ 結 構

Ø

中

機

密

保

護

措

置

C

関

L

過

日

総

理

650

な

ح بح ع 思 つ 7 V る 0

大 臣 昨 年 訪 米 後 総 理 は 軍 事 外 交 其 Ø 他 を 含 む 広 範 囲 0 立 法 を 考

5. n 閣 議 で F 発 言 あ り 関 係 省 B 協 力 し た ŽŠ 其 Ø 後 本 件 K 対 す

る 強 V 抵 抗 K 鑑 み 目 下 軍 事 上 0 機 密 保 護 10 腿 つ 7 立 法 を 考 之

を 臨 時 玉 会 K 出 す ح ح を 考 文 て な 5 れ る 0

大

使

先

程

来

0

点

KC

関

L

ナ

1

ダ

1

ょ

ŋ

自

分

郊

意

を

尽

L

7

V

な

0 で は な V カン ح 굸 つ て Ó る ス Ø で 重 ね 7 B う 废 申 3 せ 7 戴 く

H. 本 が 条 約 上 海 外 派 兵 し な ζ ح b ょ **W**. ح S ġ 形 で 相 互 防 衛 援 助 条

約 が 可 能 で あ る ح L た 場 合 日 本 側 は 新 条 約 を 考 麙 5 2 る な 灵 持 は

あ る で あ ろ ĝ Z) 0 此 0 点 は 従 来 確 办 VC 相 互 援 助 方 式 Ö 蹿 碍 で あ つ

叉 た 勿 0 論 は 自 事 分 実 \* O で 方 あ カュ b 6 叉 今 迄 現 申 在 し B 7 依 然 S る ح 様 し な て ح 章 لح 碍 を で 提 あ 案 る す かっ ~ B き 知 筋 れ 合 な

で

**(**2

務 b な な < 5 , . • • 0 た た だ だ 条 例 約 ^ 地 ば 域 S 10 E 派 A 兵  $\mathbf{T}$ Ó 0 義 で 務 は を 東 負 南 ゔ ァ 0 諸 み 国 で は あ 米 大 る 0 陸 左 派 様 兵 な Ø 訳 義

て 若 L 日 本 側 Zì. 希 坚 5 n る な 5 自 分 は 努 力 す る 用 意 郊 あ る と S Ġ

次第である。

大 云 臣 う ح 左 ح 様 で な 日 条 本 約 ZŲŽ は 好 極 東 ま 地 L 域 N KC ح 思 派 兵 う 0 L ļ 然 う L ೬ 云 極 5 東 7  $\bigcirc$ B N. そ 和 れ と 安 は 出 全 来

ح

な

ح ح で あ る

S

大 使 日 本 を S Ē A  $\mathbf{T}$ 0 ع 比 較 L ょ う ح L 7 申 上 げ た B Ø で な <

V 相 互 援 助 条 約 を 何 ġ 考 5 九 る で あ ろ ゔ 办

た

だ

例

を

述

~

た

次

第

で

あ

る

0

然

L

日

本

Ø

海

外

派

兵

義

務

垄

含

ま

な

大 臣 斯 る 新 ~条 約 は 好 ま L Va لح 思 う 0 他 方 新 条 約 لح L て 围

会

 $\mathcal{C}$ 

出。

世

ば S ろ S ろな 0 問 題 ŽŠ. 出 来 る Ø は 明 5 Z) で 政 治 的 VC ţ ζ. 考 る 必

要 郊 あ る 此 Ø 点 は 非 常 10 重 要 で ベ あ り 0 且 政 治 的 判 断 つ を 燛 は 此 雪 る 所 間 で

C 関 L 総 理 を 交 ^ て な 話 L て F ょ V لح 思 ġ

あ

る

办

5

総

理

ح

B

話

す

ح

کے

لح

す

L

場

合

10

よ

7

Ø

題

大

使

自

分

Z),

以

上

申

述

~;

7

来

た

所

は

全

<

パ

1

ソ

ナ

N

•

~

1

シ

ス

で

あ

り 0 申 し た ح ع žίζ 総 て 可 能 で あ る لج お 取 り R な 5 な V 様 VC

願 ġ 0 た だ 日 本 側 Ø 御 希 窐 て ぁ n ば 請 訓 し 7 実 現 方 全 力 を 尽 す 用

意 ží あ る 0 重 ね て 申 す 弘 本 件 取 扱 は 人 数 を 限 り 厳 10 極 秘 ح す る 要

あ り 0 自 分 は 着 任 年 半  $\mathcal{C}$ な る Żί 通 商 問 題 は 植 木 C 水 を P る

問 題 لح 沖 繩 問 題 で あ づ た 0 沖 繩 は 冒 頭 申 述 ベ た 如 < 土 地 間 題 全.

諸 種 最 Ò 案 重 件 要 は な 問 処 理 題 L 郊 7 解 行 決 < 争 ح n ح ば Źί 出 将 来 来 る 行 ح 政 思 権 ĝ 返 0 還 安 全 見 保 随有周 K 至 問色 題 迄 K

を

る

る

と

云

う

B

な

b

Ø

で

 $\Box$ 

常

努

力

寸

る

要

あ

り

`

特

C

重

要

ح

思

う

Ġ

0

は

安

保

様

就 て B 出 来 る 丈 努 力 し 度 Ó 0

大 臣 御 指 摘 0 問 題 Ø 重 要 性 C 就 て は 同 感 で あ り ` 之 を 解 決 L て

使 行 0 < 拹 ح 力 لح を は 得 日 7 米 関 歩 係 づ 全 つ 般 で İ B り 前 見 進 て を 極 続 め け て 度 重 要 V 0 で あ る 0 今 後 共 貴 大

八 月 中 Ø 予 定 を 別 紙 Ø 如 ? し 度 し 0 別 紙 を手 交) 安保 委 員

会

も一回行うこととし度し。

何。

大

使

結

構

で

あ

る。

安

保

委

員

会

は

特

K

重

要

な

議

題は

ない

と思

ゔ

郊

如

大 臣 追 て 事 務 的 C 打 合 5 世 る ′ح とと し 度 し

昭 \*\*\*\*\*\* 八

米 窜 0 配 僩 及 U 健 用 C 関 Ť ă H 本 僩 齾 簡 粱

齾 餾 Ż 8 T 暋 Ł Va 龙 L 文 力 0 本 大 臣 H Ŧ 九 Ħ Ħ + 年 九 月 八

H K 審 4 T 九 危 銨 金 保 障 粂 約 K 目 及 \* 8 光 樂 \* 有 L \* -岡 条 約 鱁

= 夈 I 7 × Ŋ Ħ 合 緞 Ø 運 欧 Ø H 本 岡 内 及 U -0 W 近 C \* H Z 配

備 仓 規 律 士 8 条 4 は M 政 廚 圓 0 行 政 蛠 雉 7 决 趤 + B 1 查 覷 趤

薆 \* 11 九 合 激 K 徤 7 Ŧ ~ 九 殿 躍 T + 11 七 九 安 年 金 六 保 圝 K 阅 \* 2 H 米 数 腦 会 は

T

b

b

堂

4

索

た

\*

Ħ

I

月

-

H

Ø

72

Ž,

-Tantilia Tantilia

19

K

羅

合 嫩 K L 3 Z 0 軍 欧 0 H \* K -H 3 配 儲 及 U 使 周 K V -螇 行 N

飽 倉 Ł è は 1 \_ T \$ 腦 す Š 2 L 食 0 T 袋 金 保 墜 4 齣 K 网 L 1

3 岡 驑 金 檢 澍 7 ŏ 實 被 \* 与 Ż 5 礼 T 1 3 Ł 游 蕸 烟 à n. Ŕ

L つ T 安 金 保 黀 委 風 会 K L Z ~ Ø 任 務 O 邀 行 K 資 7 る 沈 Ø H

Ť 礼 2 7 L 蒼 擬 鎏 \* 8 池 栄 奎 有 L 渡 \*\*

本

國

陵

府

过

\*

次

Ø

~

Ł

**7**/4

闻

M

府

٢

7

×

IJ

Ħ

合

稅

酸

府

Ł

Ø

M

C

合

斌

A 外 部 加 6 0 武 力 政 题 K 放 萝 3 H 本 图 0 铵 金 0 쇒 抻 C 脇

D

合

瘚

國

超

麼

Ø

H

本

C

\*

IT

名

配

礦

及

T

使

用

d

H

本

0

自

蘅

麼

虁

力

7

8

沈

Ø Z n Ł 聚 遊 K 阀 蠽 T 12 3 Ġ 0 ٢ 7 3 ø \_ 0 問 鑿 12 安 金 保 쨃

鬒 会 K よ 2 7 作 成 T 12 Z 計 画 を 通 -行 b 12 2

B 合 缭 水 安 金 保 礟 夈 魡 館 螽 K V T H 本 H 以 外 0 儮 Ħ 0 赸 擨

K \* H Z 國 際 Ø 쟆 和 及 U 安 全 0 繈 榜 K 智 与 7 Z t 8 K Ž 壐 熤 於

使 3 4 用 瘚 国 I 9 選 歐 Ł 7 0 3 配 儲 Ł À 0 变 は 更 × K 合 緞 -M 圖 -陵 府 篡 は 行 P Z 館 12 欢 VC 腿 傳 b ħ 靐 H 醐 \* K 1 H 3

本 H 政 府 Ł 協 蠿 ナ 3 b 0 2 7 3 O 危 だ L 79 衍 政 協 定 館 桑 鹪 頂

1 M う 施 駛 及 TF 区 域 は H 本 田 政 暦 0 翻 前 0 同 慧 水 勘 る 杨 合 VC 찙

b 合 衆 国 軍 欧 K X D ~ 0 仰 戦 行 勵 0 た D 0 趣 1 L T 健

用

A.

n

3 2 ٢ 加 T È Z O

煍 H は H 本 固 政 Z. 12 册 は 0 奪 前 \* O 阅 鸑 农 < L ~ 樉 Æ **F37** 奎 H 本

内

K

捋

5

込

龙

M

ø

H

内

K

配

備

B

1

B

合

獭

固

窟

歐

0

図

办 左 5 ず 臨 時 K Ħ \* 内 K 入 8 合 漱 固 0 船 翰 D T 航 4 K 6 適

用 カキ ð ð 8 0 ٢ \* 3

本 大 臣 は 4 Š 5 K 7 × y 力 合 鍛 圖 政 暦 水 前 配 0 擾 案 藿 受 醋 Z n

3 1 查 は 2 0 餾 及 TF 要 騎 豪 聂 阴 d n 2 闡 F 0 洒 觸 位 **1**6 F 0 返

餔 0 E 付 0 H K 捌 力 些 Ť 8 两 政 廚 M 0 合 M 樽 践 7 Z 6 O 7 4 次

すととを過寒する光栄を有します。

極 4 秘 5

次たぬ 等全花 ファール

> 交 换 公文 築

(1) 選 藗 本 章 件 2 は の関 • 国会 係 K 0 圆 承 ታ 額 を要す 3 交 换 る改 公文 Œ C 昭 は 在 Va 0 九 袋 保 粂 四)

約と国

Ø 例

K 在 5 1/2 双 方 合 滋 す 3 0 T ð 3

(2) 内 容

(1) 米 軍 O B 本 K 3 H ö 配 爤 健 用 I Ħ 本 Ø 袋 金 羅 粉 K 13 力

(H) 龙 米 め 軍 自 0 衞 麽 東 Ø 健 £ 甩 12 K 2 聯 羉 L 游 K 奖 奲 行 整 可 3 館 12 康 3 儮 Š b 0 聯 -的 \* K 3 H 本 بے

協

約 改正に 闋

昭

۲ 2 及 U Ħ 本 0 争 諭 0 同 激 水 杏 3 鍚 合 K 礰 þ 米 は H

本

4

IC \* 付 3 \* 0 艗 酘 区 域 查 作 戦 行 勴 0 基 趟 Ł L T 儊 用 士 る C

水 T 查 Z 8 0 Ł 1 Z

(~) 核 兵 器 は H \* 0 靐 前 0 同 意

办

<

7

社

H

本

K

榜

5

込

意

À

0 L \* 3

0

改

Œ

案

(2)内 容 (1)

從

来

0

安

保

粂

約

李

席

止

L

新

条

約

左

籋

結

世

K

Ł

宁

8

6

0

72

态

Ž,

(1) 米 は 凝 4 嬮 度 必 要 ٤ す 3 兵 力 定 H 本 K 配 億 \* 3

(12) 和 0 Ħ 破 本 瘿 K 又 按 位 7 優 8 脳 武 行 Ü 益 政 Di. 瓥 極 16 東 為 K 3 生 M C は た \* Ł 21 Ė 0 武、 H ・カト 本 政、 盤、 は 垫, H, /本 合、 国、 tr. 及、 SE

U. そい Ø > 周、 辺、 K. \* Van 73 切 0 自 衝 力 \* 用 n T 攻 盤 0 排 除 IC 努

め

T

额

米 軍 0 行 鋤 K 切 Ø 便 宜 **\***-供 与 寸 3 0 米 軍 . A \* Ł 怒 力

政 驟 0 排 絵 K à 龙 3 O

64 H 本 K 按 す 2 武 力 政 撃 査 含 tr C

O 破 滋 又 は 侵 略 T 為 D. H 生 L た 2 è Ł は 左 Ħ < 米 極 爾 田 東 U K 椬 \* H ち K 2 YE 腦 戲

\* 3

(=) 期 圈 五 年

本 件 过 ໝ 钳 园 会 2 0 阅 係 b þ 交 换 公 文 案 亡 Ł 3 縕 は 辟 期 的 K

右 國 会 前 全 B 淦 Ł \* 3 Ł 滋 景 左 5 Ť \* \* . 尝 九 政 Œ 案 K T 瀊 **U** 曫

ŧ 欝 は Ľ 窳 b 協 < 必 会 要 K 众 孏 È 2 P M 0 K 冏 綾 圃 兵 114 器 8 岡 2 趯 等 K 网 L 4 要 凝 小 儮 塺 0 播

置



S

B

何

れ

B

領

自

身

Ø

発

意

KC

く

B

Ø

で

Ø

K

取

八 月二 + 五 日 総 理 外 務 大 臣 在 京 米 大 使 会 談

場 所 外 務 大 臣 白 金 公 邸

時 間 午 后 五 時 十 分 1 大 時

=

+

五

分

出 席 耆 総 理 藤 Ш 外 務 大 臣 米

保

長

クア 1 サ ー大使、 ス ナイ ダ . 書 記 官

る 办 5 大 統 領 K 御 伝 達 願 V た 5 0

上

げ

総

理

米

国

Ø

実

験

停

止

10

関

す

る

大

統

領

Ø

親

書

K

対

す

る

返

書

を

し

別 添 を 大 使 IC. 手 交

大 使 扱 早 速 伝 達 大 す 統 べ し 0 本 件 書 翰 B 基 過 般 Ø 沖 繩 通 大 貨 統 問 領 題 K 関 貴 総 す 理 る

対 す る 炱 持 を 示 す B Ø K 他 な ら 雪 0

総 理 大 統 領 Ø 灵 持 は 深 < 此 れ を 多 بح す 0 大 使 K は 九 月 日

出

発

ح

承 つ て 5 る 郊 0

大 使 日 出 発 Ø 予 定 で あ る ŽŠ 其 n 迄 C 貴 総 理 及 外 務 大 臣 ح

な 如 何 た 10 。進 め  $\equiv$ る ベ あ ŧ P Ó そ 問 Ø 題 な は 日 り 0 米 最 間 近 Ø 藤 安 Щ 全 大 保 臣 障 ح 関 t 係 話 調 整 し て

を 適 当 ح す る ø KC 関 す る 総 理 御 自 身 Ø な 考 ~ を 承 る な 5 ば 甚 だ

た

結

果

本

件

Ŕ

つ

Ø

方

法

かご

あ

り

得

る

ح

Ø

結

論

K

達

し

た

Ψž

何

れ

L

き

ŧ

り

 $\mathcal{C}$ 

関

来

お

話

で あ る 0 藤 山 大 臣 Ø 御 訪 米 は 素 ょ り 短 期 間 0 事 K 7 ` 交 渉

ح M ĝ 訳 K は 行 Z) ざ る B 今 後 Ø 進 め 方 Ø 基 礎 を 定 25 得 ベ L と 考

る 0 即 5 つ 0 方 法 ح は つ は 現 存 Ø Ø 条 約 を 其

Ø 儘 ح 7 補 助 的 取 極 め で 個 K Ø 問 題 を 処 理 7 行 *(* 事 で あ る。

他 は Ø 条 約 を 根 本 的 N 改 訂 し H. 本 憲 法 1C. 牴 触 护 ず 日

本 弘 海 外 派 兵 義 務 を 負 Ĵ. 事 な < し て mutual な 新 条 約 を 作 る 事 で あ

る 0 外 務 大 臣 بح Ø 於 話 で は 此 Ø 点 K つ き 最 終 的 結 論 C は 達 し な Z)

つ た L . 又 は 自 分 は 何 n Ø 案 K 世 Į. 其 Ø 口 能 性 を 今 Z)Z 6 確 定 的

L

上

げ

る

書

出

来

な

S

ŻŠ

総

理

Ø

な

考

を

承

ŋ

た

**(**)

ع

思

つ

て

V

る。

10

申

理 外 務 大 臣 N 向 S 外 務 省 0 話 は 何 所 迄 行 つ 7 M る か . 0

外 務 大 臣 総 理 N 向 5 ح Ø 問 顬 は 総 理 0 御 判 断 な し K は 決 め 5

n な M 事 で あ る لح M つ て 保 留 L て あ る 0 総 理 を 交  $\sim$ て な 話 す る

10 採 り 上 げ ょ ぅ بح b 云 つ 7 あ る 0 今 総 理 vc な 話 戴 け n ば 其 Ø 趣 남

事 で NC 今 な 後 ろ 進 ĝ 80 D'S る 0 其 新 所 条 を 約 踏 で 越 行 < n لح ば な 5 n つ ば ば 対 り 玉 雪 会 る 関 で 係 等 あ ろ で う 重 • 荷 他 を Ø 負 方 ĝ

法 は 交 換 公 文 で あ b そ れ ~~~ 行 け れ ば 重 荷 は 負 は ぬ ŽŽ. ` 3 5 ば ŋ

ょ S ĝ لح ح ろ 迄 話 L て あ る 0

は

L

な

V

لح

S

ĝ

書

で

ぁ

る

0

何

12

ic

せ

ょ

総

理

Ø

t

考

办

心

要

で

あ

る

総

理

自

分

は

ح

ĝ

思

ĝ

n

ば

現

約

を

根

的

KC

訂

す

る

事

di?

·O 出 来 行 条 本. 改

횧 変 L 5 0 根 本 的 K 改 訂 す る 事 (C な n ば 米 国 0 議 会 B 問 題 弘 あ ろ

ĝ Ąĭ 日 本 Ø 国 会 で B 大 S C 論 議 3 れ る 事 K な ろ う 0 L か L 自 分

は

論

龖

3

n

る

事

郊

良.

S

ح

思

う

0

安

保

条

約

が

出

来

た

頃

ع

今

日

は

事

情

か。 変 つ 7 **(**2) る 0 今 後, Ø 日 米 関 係 10 つ S て は 此 n を 新 L V 理 解 لح 協

力 0 関 係 K 太 < ع (2) ĝ Ø が 自 分 0 内 閣 0 基 本 方 針 で あ り 7 Ø 見

此 地 办 n を 5 経 B た Ŀ 度 は 論 相 議 当 を 期 経 間 た K 方 亘 が つ 良 て S 0  $\mathbb{H}$ 米 論 関 議 係 は を 烈 安 L 定 S し \$ た Ø 基 7 儊 あ NC ろ Ŝ 蓉 弘

事 Z)ž 出 来 る 0 ح れ Źζ. 新 条 約 を 可 と す る 第 点 で あ る 0 保 守 党 内

畧

C 対 L • 社 会 党 は 防 衛 問 題 C つ (A て • 小 出 L NC 反 対 L 7 来 る Ψž

民 心 C 対 し 7 新 条 約 体 制 K ょ つ て 覚 悟 を 決 め さ 世 る 事 Z.C 出 来 る Ö

斯 < す る 事 邓 日 米 関 係 Ø 基 礎 を 固 め る 所 以 で ぁ る لح 思 ŝ 0 他

方

条

K

約 を 根 本 的 3 改 め る 事 Z), 米 玉 側 10 困 難 ZJZ. あ つ た り 7 非 常

時 間 を 要 す る ح S ĝ 事 で あ る な 5 ば 交換 公文 d よる 了 解 اع 办 安

自 全 分 保 障 は 新 委 条 員 約 会 を を Þ 通 る ず 事 る 措 Di. 置 日 米 لح 関 Z) 係 10 Ø ょ た 5 ざ め る KC 良 を 得 V ح な 思 S ġ 事 K な ろ や ŋ う た

5 لح 思 う かご L か L 時 間 邓 か D る な 5 中 間 的 K  $\stackrel{\cdot}{\equiv}$ Ø 点 を 処 理

L て 行 办 な け 2 ば な 5 な Ŋ ٤ 思 ĝ 0

大 使 只 今 Ø  $\equiv$ Ø 点 ح は 外 務 大 臣 Ø 云 は n た 如 < 在 日 米 軍 使 用

Ø 問 題 及 核 兵 器 持 込 み 問 題 ځ 考 7 ょ ろ し (A 办

0

総 理 そ 0 通 り で あ る 0

大 使 若 L 条 約 改 正 ŽŠ 出 る ح し て B

来 米 玉 ح L て は 上 院 Ø 手 続 郊

ぁ り 議 会 Ø 再 開 は 明 年 月 て ぁ つ て そ Ø 後 ヒ 中 IJ ン グ 7 Ø 他

で 相 当 な 時 剛 Δÿ. 必 ·要 で あ る 0 今 総 理 は 余 り 時 間 Ž 办 か る な 5 ح な

ゔ P つ た ZÍŠ. . . ど Ø 位 0 期 間 を 考 7 な 5 n る Ø で あ ろ ĝ 力

総 理 日 本 側 Š 議 会 手 続 は 必 要 で あ る 0 次 期 通 常 国 会 は 米 議 会 بح 時

を 同 ľ ĝ L て 来 年. 月 C 開 か れ る 0 新 粂 約 如 次 期 通 常 国 会 VC 提

を ^ る ょ ŋ な بح ĝ o

案

出

来

る

位

な

6

結

構

で

あ

る

郊

若

L

そ

れ

Z)Z

出

来

な

 $\bigvee$ 

な

5

ば

他

Ø

方

法 考 仕 方 Z), V 思

大 使 外 務 大 臣 Ø ワ シ ン ト ン K な け る な 話 Ø 時 只 今 Ø 様 な プ レ

ゼ

ン テ 1 シ ₽ ン 即 5 日 米 関 係 を 基 礎 VC t ζ. 見 地 ょ り 現 存 Ø sue-

な 条 約 を 改 IE す る 事 ŽŠ. 窐 ま し M ح 云 ĝ 御 趣 旨 Ø な 話 Ziz 誠 K 適 当 で

あ る لح 思 ゥ 0 本 件 は 重 要 な 問 題 で あ る か 6 ` 米 政 府 部 内 Ø 検 討

な ablaで あ ろ Ŋ. Z) 0

相

当

な

時

間

を

要

す

る

لح

思

ĝ

刘

月

迄

لح

決

め

て

考

 $\sim$ 

な

け

n

ば

な

5

b

総

理

自

分

は

- THE

月

بح

V

ĝ

月

VC

固

執

す

る

B

Ø

で

は

な

S

次

期

通

常

国

会

0

は 何 Ø 途 月、 Z) 5 五 月 迄 は 続 < g. Ø で あ り そ Ø 間 KC 批 准 な n n

ば 良 **(**2) Ø で あ る 0 自 分 Ø 申 し た 趣 旨 は 適 当 で あ る かご む つ Ŋι し 5

困 لح る V Ø ĝ 事 で で そ n な 年 5 Ġ ば 年 玉 会 B 論 研 議 究 そ し Ø な 他 け 0 n 関 ば 係 な g. 5 あ な り M بح 他 V  $\bigcirc$ ĝ 方 事 法 で を は

考 ^ な け れ ば な 5 な S ح 云 う 事 で あ る 0 実 際 上 月 10 出 来 な <

B 良 V Ø で あ る 刘 唯 研 究 لح S ĝ 事 だ け で は 困 る Ø で あ る 0 次 期

通 常 国 会 中 K 批 准 す る ح S ĝ 目 標 で 日 米 双 方 は 本 灵 NC な つ 7 話

つ て 万 そ n で B 問 K 合 は な か つ た ح **(2)** う な 5 そ れ は 又 7 n

で

合

いたし方ない。

大 使 を 含 め 新 て 条 約 輿 を 論 や 及 る 国 ح 会 S 30 Ø 関 事 係 は で 般 貴 内 輿 閣 論 K Ø 有 関 利 係 で 来 あ る 春 ح Ø 選 Ø 挙 御 判 Ø

断

で

関

係

あるか。

総理 その通りである。

大 使 な 許 L を 得 て 他 Ø 問 題 K 移 り 度 し

大 使 内 々 承 ŋ た 5 **%** 臨 時 国 会 C 防 衛 C 関 す る 秘 密 保 護 法 を

な

出 し K な る 見 込 み な り æ 法 務 省 及 W. 政 調 会 VC 検 討 を 命 じ て な

5 n る と 承 .0 7 M る ٥ 自 分 \$ 帰 玉 Ø 上 は 対 日 軍 事 援 助 そ 0 他 K

努

力

す

る

つ

Š

り

で

あ

る

**%** 

そ

Ø

際

大

統

領

そ

Ø

他

K

内

々

新

立

法

Ø

話 郊 出 来 る な 5 甚 だ p り ょ ₹ な る . 0

は

総

理

É

分

臨

時

玉

会

K

提

出

雪

る

考

兌

で

法

務

省

及

Z

政

調

会

K

研

究

を 命 じ て S る 0 最 終 的 結 論 は 未 だ 出 て V な V が 自 分 は 提 出 す

る 考 兔 で あ り 多 分 提 出 さ n る ح ح VC な る ح 思 う 0

大 使 自 分 Ø 出 発 Ø 前 K 決 ま n ば 御 内 報 5 た だ た Ø CA. 叉 決

à

ŧ

5

な 5 合 B 総 提 出 Ø 向 で あ る ح 大 統 領 等 KC L 7 差 支

場 理 は 御 意 話

兔 な ż

総 理 自 分 は 提 出 す る 強 V 意 向 で あ る ح 話 さ n て 差 L 支 兔 な Ŋ 0

左 様 な 戾 持 で 研 究 を 督 促 し て \$ る し 叉 結 論 K 達 す n ば 零 知

6

せする。

大 使 本 件 は 決 し て 自 分 0 方 か 5 サ (رژ ジ 工 ス

総理良く分つている。

<

唯

米

国

側

K

V

ろ

V

ろ

問

題

が

あ

る

Ø

で

伺

つ

て

S

ろ

次

第

で

あ

る

۲

L

て

(2)

る

訳

で

は

な

大 使 デ IJ ケ 1 1 な 問 題 で あ る Ż. • プ ラ 1 ヴ 1 ١ K 言 及 V た し た

し 0 沖 繩 K 関 し 7 最 近 前 進 す る ح ح ろ ŊS あ つ た が ځ n は 問 題

を 総 理 外 務 大 臣 及 27 自 分 0 間 で 内 々 運  $\lambda$ だ ح ح が 非 常 VC 役  $\mathcal{C}$ 

立 つ た ح 思 う 沖 繩 間 顯 は 直 接 自 分 Ø 主 管 外 で あ つ て 自 分 郊

介 入 す n ば 関 係 軍 当 局 は ح n' を 不 快 بح す る 訳 で あ る 邓 兎 易 角 建

設 的 な 措 置 が 必 要 で ぁ る ٤. V2 う ح ح は 認 め な 世 る.  $\mathcal{C}$ 至 つ た ع 思

う 0 L か る ح ح ろ 松 野 総 務 長 官 Ø 冲 繩 行 zóz 新 聞  $\mathcal{C}$ 伝 文 5 れ

長

n 官 て が 経 V 済 る Ø 的 で 政 治 軍 的 当 KC 米 局 は 軍 非 0 常 行 K 政 怒 を つ 調 て 査 な 改 り 善 す 渡 る 航 ح Ø Ŋ 申 Ś 請 風 が K あ S

n

わ

ば拒否すると思われる。

長 官 Ø ブ V ス テ 1 ヂ Ø 問 題 B あ る ベ き K つ き 口 は 臨 時 国 会

Ø

備

等

な

ん

ら

か

Ø

理

曲

で

延

期

し

て

V

た

だ

ŧ

た

S

ح

思

ゔ

0

総 理 良 < 分 つ て 2 る 実 は 只 今 Ø な 話 ľ り 前 本 日 午 後 総 務 長

官 C 醓 時 国 会 0 関 係 法 案 Ø 潍 備 等 B あ り ح 5 ĝ 丰 で 延 期 雪 る

様 K 話 を L • 長 官 B 承 知 L 7 S る

0

大 使 甚 だ 有 難 **(**2 0 尚 後 日 行 办 n る 場 合 K B パ プ IJ

3/

テ

1

な

L

で

願 (2) た V 0 自 分 É · H 本 政 府 が 沖 繩 VC 関 心 を b た 九 • 叉 ح n を 示

3 な け n ば な 6 な (A ح VA ġ 事 情 B ょ < 分 つ て Va る ٥ 今 は 行 政 権

返 還 0 時 機 で は な  $\langle \rangle$ が そ Ø 肼 機 K 至 る ま で 冲 繩 問 題 を Ġ ま <

ワ 処 シ 理 ン L て ŀ > 行 < K ح \$ ح S て が. は 反 外 対 務 党 大 z 臣 L 办 て Ġ 乗 沖 ぜ 繩 L 問 め 題 な Ø M 重 所 要 以 性 で を B 強 あ 調 る 3

n た 5 良 V ح 思 ゥ 0

総 理 今 行 政 権 返 還 圣 唯 云 5 7 み て Þ 意 妹 か な V が 沖 繩 問 題

は

沖 繩 人 八 + 万 Ø 問 題 で な < \* . & 九 千 万 H 本 入 VC 直 5 K 繫 が る 間 題

で あ る 点 VC 層 Ø 重 要 性 Zi. あ る 0 叉 反. 対 党 は ح 0 点 を 利 用 L

題 を ĝ ま < 処 理 L て 行 ζ ح ح が 必 要 で あ る 0

外

務

大

臣

ワ

# **>** 

ン

ŀ

ン

 $\mathcal{C}$ 

な

V

て

は

沖

繩

問

題

C

関

重

る

日

本

入

0

炱

日

米

関

係

を

刺

戟

雪

る

材

料

K

L

て

b

る

況

で

あ

る

0

従

5

て

沖

繩

問

持 叉 日 本 ~酸\_\_\_ 府 郊 重 要 視 雪 る 理 由 を 強 調 す る つ B **b** で B る 0

大 使  $\mathcal{C}$ 팗 べ ば 成 果 Zi. 上 げ 5 n る ح 思 ゔ 0 経 済 問 題 K 世

ょ

日

本

ح

L

7

何

が

出

来

る

かっ

ځ

M

ġ

ょ

ゔ

な

خ

ع

で

今

後

多

t

話

L

7

行 き た < 総 理 Š 他 日 云 わ n た 様  $\mathcal{C}$ 沖 繩 人 を 満 足 5 찬 る 様 な 措

置 を ح つ て 行 つ 7 沖 繩 問 題 を ò ま < 処 理 L 7 行 き た M 0

次 期 玉 連 総 会 K な V て 核 実 験 停 止 K 関 L 7 提 案 す ベ È B 本 侧

Ø 案 が あ る ح 新 聞 紙 上 K 伝 兔 5 n て **(**2) る が ٠, 右 は 大 統 領 0 実 験

停

止

発

表

前

0

B

Ø

で

あ

る

ح

思

う

0

新

L

S

事

態

Ø

な

考

兔

 $\mathcal{C}$ 

つ

S

て

b 連 絡 L て 戴 (A 7 御 協 力 (A た L た (A

総理 良く連絡し協力すべし。

外 務 大 臣 総 会 前  $\mathcal{C}$ 自 分 は ワ シ ン ŀ ン . VC 行 <

ガュ

ß

そ

Ø

時

K

B

忒

話

雪 ベ < 、又 ~ 決 議 案 は 総 会 冒 頭 K 出 す 必 要 Š な V Ø で 恋 分 御 相

談する時間がある。

大 使 東 南 ア ジ ア 経 済 協 力 は 米 玉 政 府 B 共 産 主 義 玉 0 通 商 そ Ø

他

Ø

研

浸 透  $\mathcal{C}$ Š Ż W が み 極 め て 重 要 視 し て \$ り • 先 般 Ø 林 話 Š 良 <

究 し て S る Ø で • ワ シ ン þ ン で は 有 益 な な 話 ぶ な 出 来 K な る غ 思

う

外 声 務 明 大 等 臣 Ø 事 最 Ħ 一近 米 あ 国 つ た Ø 中 0 で 南 米 国 経 済 民 援 B 助 今 度 及 は X 大 岸 統 構 想 領 KC -- Ø 中 つ 近 M 7 東 経 何 办 済 援

具

体

助

化 す る 0 で は な Ŋ か ح Ø 期 待 を 持 5 て 5 る 0 ح 0 点 B な 考 文 な き

願 5 た 5 0

大 使 先 週 B 中 南 米 中 近 東 及 W 欧 州 0 E E C VC対 す る 米 国 Ø

援 な さ 助 KC n る Z)s 事 W K が 対 み ` L 強 東 Va 南 関 ア برار ジ ح ア 要 VC 望 B が 何 あ 5 る 办 ح Ø 5 組 う 織 事 K を 1 報 つ 告 て し て 援 助 お が VA

た

政

治

ح

経

済

を

分

け

て

承

認

は

出

来

な

V

が

通

商

は

進

め

た

5

ح

Va

う

事

か

わ

対

L

総 理 東 南 ァ ジ ア 援 助 を 重 要 ح す る 他 Ø 理 由 あ り 即 5 中 共 KC

し 5 は 岸 て 雪 内 (A 閣 る 中 0 共 Ø 現。 は み 岸 C な 内 自 b 閣 -g<u>\*\*</u> 分 保 0 を 内 守 B 閣 つ 政 て 権 C 中 Ø な つ 共 て を 貫 敵 世 Z) 5 視 る コ す 立 コ る 場 で 厶 B 緩 Ø . あ 和 لح つ た L て 指 K 紋 非 B 難 問 办

決 通 商 代 表 滛 共 承 認 等 幾 量 多 Ø 進 展 妆" あ つ た な KC か . 3 Źγ わ 5 ず 非 難 Zi. 憬

続

VA

て

5

る

中

睝

易

は

Ø

大

小

Ø

問

題

で

<

国

民

般

が

憧

題

解

攻

摼

0

を 持 つ て V る 事 が 問 題 で • ح n が 鎖 さ n て. 5 る 事 は 保 守 党 لح し て

上 易 げ 国 内 5 n 的 る  $\mathcal{C}$ ベ 困 < 難 今 あ の り 玉 際 更 情 VC 次 で 期 は 玉 米 連 玉 総 会 は で ح れ は VC 中 反 共 出 対 席 し 問 題 日 本 が 採 Š ح り

n N 反 対 す る 事 ع な ろ う 日 本 0 反 対 B 保 守 政 権 が 貫 L て ح つ

て 来 た 態 度 で あ つ て 中 共 Þ 社 会 党 Z). ح n を ح 5 文 て 叉 宣 伝

す

5

る Ø は か 李 わ な V が 国 民 水 恰 B 岸 内 閣 が 中 共 貿 易 を 阳 止 L て

る ح VA う 感 ľ を B つ Ø は 困 る 0 で あ る 0 さ 21 ば 国 民 VC 対 し て 東 南

ア ジ ァ ح 0 経 済 関 係 郊 • 伸 ζŠ て 行 < ح b ġ 事 を 示 す 必 要 あ Ó 4.8 叉

大使 よく分つた。

米

国

が

ح

n

VC @

協

力

L

て

M

る

ح

5

う

事

を

示

す

必

要

B

あ

る

Ø

で

ぁ

る

ガ IJ 才 ア 0 問 題 は ļ ろ L < な 願 Va 5 た し た し 0

総 理 L ま Ż ح 外 務 Va 大 ġ Ø 臣 办 K 前 向 Z) 5 5 0 ح 考 12 え は で 自 分 あ り は 払 ワ ゔ シ ベ き B ŀ ン Ø で は 話 早 < を 払 進 め つ た て

ら良いと思う。

外 務 大 臣 総 理 C 向 5 自 分 B 同 感 で あ る 0 池 田 大 臣 Š そ 0 様

考 文 を 述 べ、 て 2 た し 何 Ø 途 ۲\* 1 ッ 方 式 0 問 題 b ぁ り 出 発 前

KC

な

大 蔵 大 臣 ح Š 打 合 世 て 大 筋 Ø 話 を つ け た 5 ح 思 ĝ 0

外 務 大 臣 出 発 前 出 来 る だ け 潍 備 を L て ワ シ シ ŀ ン 7 大 筋

話

雪

ļ

Ġ

VC

L

た

5

0

な

な

ح

n

は

甚

だ

重

要

Z

つ

デ

IJ

ケ

Ì

ŀ

な

間

題

な

り

غے

梦

で あ る 0 で ワ シ ン · | ン で 話 た لح S ġ 事 は 発 表 U な V で 載 き た V3

追 而 自 分 Ø 帰 玉 後 + 月 頃 7 B 何 5 か 必 要 な IJ IJ 1 ス を 行 う 事 ح (A

たしたし。

大 使 自 分 は ガ IJ 才 ァ 問 題 は デ ij ケ - 1 ጉ で あ る なゝ 5 臨 時 玉 会 Ø 後 ま

で は 何 事 B 洩 n な Va 櫘 VC す る 様 早 速 電 報 V た す ベ し 0

本 日 Ø 会 談 Ø 新 聞 C 対 す る 説 明 振 K つ き 打 合 世 0 後 会 談 を 終

った。

杨秋

		(A) - Claric - Congression				
我中与少な、と思子。此の問題には、岸後程は	古電話は現場的は下を安すが以をよく温明して	也ンティンか時に電中であると回る。先了不住時間我の	一般上地的多山不怪下上的人是人人的人生人一个一个一个	岩保電に対けてはよるの 脱る を変う。	九月日中了了一十七次保國上書戶楊石飛竹棒江日來大多	アックアーサーとは内はりはり

在外公

在外公

一、今時にからるは実にきなるとせるころかとまるとい	張はやえんかり、と思子、出了病様をなえ	ればえ食其りにて物書る病様をなくこととならうか	一是用でのではなった。 一般力也来了と受子。、状件的	あり自然了の西北他は国起了西京的村子意大	せのにいめることが必要であるとのころ。かあり手的にはころ	
在外公館	えてアライマルス	一支斯之庙	大地でいるいいいいいな	なないけんせんる	は意味しのあるか	73/50

となるでき、残害に何は生民型のれく程子を成に買しるちかつでとなるいではりながりは得るが後にを降くは事かの表務を質えられ	おり、安地型あり、又其の他の形もあり得いし、か海相上場的とふろでときり、ではるであるが、主路には相互援助作などとるも、お客、半台型	と言うでしている。 と言うがしているないないないないないないないないないないないないないないないないないないな

在外

٤		•	,						
						·		**************************************	
て生えとるる方向なけるからすればよってあるとあるけいたしそれ	の自分は「日本意格」はおせさる相互な代表が行る」とこるそう方	は日本のコモアとしておおねるへはない今回のたれかして今後		日本に世界なるとうととしたであるかではなく、日かは松生を成に	大方面要情景を durable and defendable harris ではいいかい		向となるにおし、七男は、元々升修的を対ける目的は一方行の分花ん		することははいるというというないとのではしてはの見ばけららと

在外へ

	•	.••		•		•			
思艺、了力、同步之世的军事艺事が浅的な、原几历战人之之为		してはいから日本例ではいいまと思るものを、るまって見るいと	之東了ものれる事ではることが、文をからのが放現を引めた。自分と		外では今のそ外には大手の時写ををするか、東京の事が成れては		、先の最合のない内心当で生のサポートを得てもかなけ	せまるととうたわかからできないととうりははましたかとしては、	かなっていたてうなりまちかりまっちいっちいっちっちかい

在 外 公

在外公館	
多中的气光像花的物流上放了は 吃的口管口口等面上	
理论を其事的理明七天、七里は物表することしてはれてと	·
	J
安保上了其一核色を持入的題に付为了のかき了好を必要とする	
	,
こ行かないとするもれ力をしいかいる 男カーなしとすべれったる	
大なはなければならないことは御水を見りてある。 日本りののないか	
なると、張倉的からも松言なかはくし、又分演る方おなるとはよく	
	•
たいせ、大はは、よし終えか、特別上の様子を制度すところことに	

2000							
	松見を申せはコマニケを出すとせば核心を持ら可能に同し	たので、生になり、きは主教をもてきつし、きかあるでかである。	で、七はより今回の写後に関しコシニケを出す御考しかとの使同からり	あうれるで、子保もより、それならは世もに害敗傷るとったいた。	レンジしないとすれば物でするとのうるがしせいようはつまってあるかと	当とすときましたの大はより更に若したの節をははま例かち	解釈の神堂ありは日の悠遠の話となり得るで十年的日本を間

				1					-
在外公館	はは、これの	とこる同には書きれるのは甚らまついとじるとに見りしまったが、七はは	ととうるのはあなか悪く、安門が住るしゃってってきちょうちからん		年春日題を活したかとの値的あるべく、人の事情では人を紹れてかえ	信管的程が同島かの形で言及で小小では日本子会子で少す核	有了コミニケは体を出きない方かいと思ふ、ちしコミニケにある	あためないうううつか入ることか必要であり、たしつかとまるいなら	

	 · .	•	i,				•
一个人情報一下了任、七時的大學學心は、特工七年的	得是多、土屋七大楼的部子であるとまってでして、		もある、といるできてでからしていたりょいとめるとはいなか、米	はその治日本的なはちかするますり又常力して、ここを干す公安	書面はちりは施的接通過をかしてすものとれずも 件電人の福む	人八十万月起日水十九千万日花了的起了分龄仁童宝了了	五、沖縄内包になるは、大大小的、发的和作的办人、冲线内包は冲绳

在 外 公

が大は、コ	本なりあり	七、カラカアには、	邻至安安	しるもとも	世界核势	前きるきら
日本的之一人之间一十四年的元子生	. )	安华了	かれていかはおかってし、とかかられる	しるまとあるとは思はす、た	14	すきるきとありやとのはりかあるので
力下の見り生に	松京方具有好是奉を生すと云文用玄	大陸部立者的は形的行	T. Don.	九十七尾的 公房	するとはまでである かんれードは	on the this
在外公館	気はない大陸男	があたでするな		公房间交付起口付	127時にお聞き	私見を申せば

经经	ŧ.	1	#	九	上上	国
9 2 P	車当马は	4	る井崎		是可能是	るとしてい
不是不不	WIND WEST	12 美圣元	熟しい気は	及然会理的企次、	龙門九上了	生了部首.
かけるれたかとすると	ナーなかろから	サール気をかえなるとれている。	熟い気持を持名長り 孝太程の方の	七付は、ア	大陸の部指示を得た上子をおした事に生とないととろくに	事務をしていたが作れ上でとろることであるか
かくずると	なかりますかい	. 4	产品	アイセンハウアー大きる	いませしょ	そことであ
116 27 July	大孩をはす	かり中定	-	大多元	Na 1365	とか、何か
A THE	すが	医是打了	7 8 3 1 5 (mg	は上午の記し	Sho	アレントンとて

79		AND THE PROPERTY OF THE PARTY O		Shokkar visik gay	•				
在外公館	うないそである。気が自一なは一般方式のお車を男してもなしと		生とてはからびにもまられて本年を生がは成れの事物は平かり	セすし、アメの治しなうこれしてある、後ろなる工屋は空時時	227代が出小は子であまはPOTO REY renegotick toとして	ませかんなではないと思るが遅れな事などはなしいでるし、今	ワンハムンで特力をよったはかんしているであった。母しいれかれない	一一的教育的超过我想让一个新国际外的大流者的是山土屋下	(七はは、)

							•			•		•	•
Ī								,					
		•				•	٠	*		•	•		安
						,	-						100
	  -		,	•			•			.*		•/	播
							decide	W. Market				•	溪
	•		ļ.				:						ع ا
											•	•	长士
		•											重めてはなとまれるもっている。
	•											· !	24.
					•								1 2
1000			•										5
11			٠.			•				. ,			70
, I	·					•					·	•	·
. Particular and an article and an article and article article and article article and article article article and article article article article and article	•										•		-
A STORY STORY			•									•	
					,								
在	•				•						•	-	•
外	•			. •					,	,		·	
公	•												•
館					· e ·								
		•			•								
					i in Cara anna								

及外務工屋的都高問を逐一般告する上海上海中一工居了七岁已	である。而して事事は初ける好偶合後に殺するも、在京来と使は過程	配せる相互関外将的を考了了と云子とか中心得受となるできる	空心官一次は、先被您です的指示了多大面了「日本多ちに批	今回の外務大臣國務长下の今段に於ては、安保降問務内	りるのなるすりよりないないないところかりるとをはない

在 外

公 館

皇		#7 p	好多	三 分元 3		かりる。	完め		判
是以的は明命了多指商を得てたいい	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	りのるいき、表話のなるいなては、	ところ指示かあるのみである	公文,百本的心於は、故門了四方夏枝と野的せき	ARTON CONTRACTOR	<b>8</b> 6.	完める見かり日本的のか精えに付初る追求して来		がかなれるから、
多指满色得	1	からないないない	あるのみで	12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1			本側のい精		人では、ころしては、
	.			7. 日午電技	1		えに付初る		
從中的	() 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	西小心与東勢するますとるよ	祖之場かのお見の下に回ち	とけいかせかる			/!	-	風粉长下は今日の社
我之不務	2	ますとえる	小下江日午	相互移沙			うもかとるうろう		追此方多見

公

餌

. 2				•		·		٠.		
(() 在外公館	するかとするであらる。	事家信管的第上の軍事的事情に我的せまるものであることを	張を満足させる様な相互接ゆの形を接いること、及び四米国の程		るようをを考えてきは当めて、体はいれからシデンバッグ決	はりなちなは	三、半園側の多く方をなするに、竹作的を多うるにちそは、日本自信		少なかある。	北市が復由して来了る人、れはに一思的すべきやえかを信しまく

	و من ماده فوسول و	arriyyan tababili dire		MARIJA PALIFIJA	•		dda ureanii na		
在 4 公 館	生見になしてはなり表彰をするところことにはいうない。) あーてたの		であるで、日本を学る方のに日本に在る先年を場かけるところにとは	ことか多くられる。自然活が日本由で日本をきるとあることは当的		半年に対し 其次を使用されるに協力するとる。最務を買う	であるか、西外沿台は降外でれるであるから、一定からえに日本は	移に対応して、日本は書見に対しからなる表榜を引ぶようその可認	で右かの兵は、日本から撃されないで、告国か日本を援めするとある。展

を成というなると思けれる。
人口追跟電することなるは、例にお孤的の理他で神色場かの体
明了。 高一定的人在日本年上及中提出置至外以事之外无仍
式)の内容があるか、あしとりはなははちゃしてはる法国党と見
般你、我会接かび事子れなるとなるとするか(書は、までナス方
韓、出位方式)、厚記治島のみならず松生は在了ぬこの米国重像
一定のなるを、私事の米国属領海島から事でれて人に限るか (米

1				·				12.1
在外公館	一般となるいる。即方在日子軍は事う日在防衛をうて務とするとあ	去都得了旅利を方するとから、こか半風の松子共同多个保障の	実上日本を守る地位にあるとおに、松な人はの年れとるとの方のに		へることはとまない。現在安保修的に基を日本に監察了等事は、事	集團多人保障作制の一後たるもんないとの事美を没知して考	(車を接勢の下にがとは、からなり二周的の初五場かなっと強し	五、河江三日日的题、即了米围的军事仍在清的失は、现在了世了

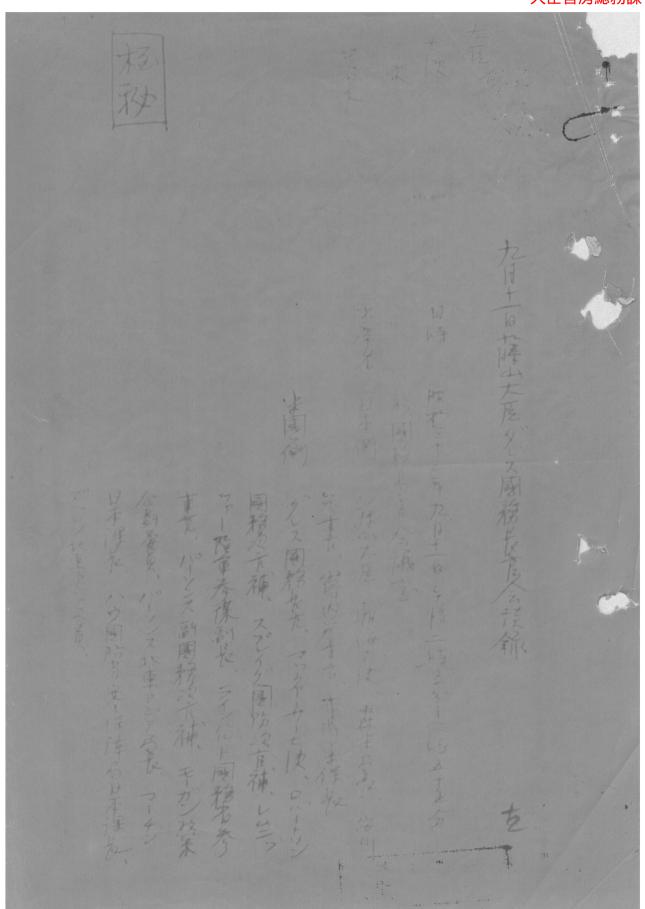
· 200		entral de la constant		14k s. mar 200			
在外公館	我ではみ事な松豆場的会話を考了了以上的行四の報言の表務を	七、以上を日本門から安く了に、川で三の小かり日本の至ふてき春鏡	得いし。	使用に放きは、例でいり一定がは人は別とし、之を協議事後とおし	こととなり、川水屑でよろいまちかはあるのかではちくこともか、い	得できなす。即りの配備でよな半軍は日本防御の義務を方する	おそれの配備、使用かま国の一方的法でにあるられている兵をしてし

いることを見るするかにありと思けれる以上、好信なは、半国の	みをかずると 居で在日本軍の使用かま属了一个幻味をれるゆうれて	ると、即ち米軍からち防門裏を受るととなって、門局旅刊の	ではない、何かとせよみ作的を対る目的はのかられるないないる	れるべき問題である、徳い外属軍院の野路とあることにおんけっち	軍院院の問題は、唐人日本书局首を保降り就兵口立つて對武文	引要并多是传沙野村了个人又三的印刷的门面、六江村八七串

在 外

公 館

	かと思けれる。	なめるとはとけれている、れそ上述のかき活	配とするのであるから、名かとくて	ノ 今間の人のでは、好傷的子の向で進む	まままたい。	7	同意を保管体制を批婚し日本	
在外公館		のかき 治主意が 内容となるであ	名かとくてりはちからるるコルントとうトを	我們的了からて他もやろやの方向をはあることをき			一て日本の防門を支う得了まってなけれ	



名又长花 日来西南のあの今天であまっていれてとと思いれらす。いまたらり

曹差元生行、又倒了了岸路视了事花也想到了。 岸方言八字一会院的常用客用

自然なる方は要を宣程においりはる好ると、歴史的を多だを方すするとあ

Zh.

在一天野鬼遇考儿於七年受は勝利を好め、考的核心思期於核了了 我要是七、好人的日子自信是在的国家的人徒人、考古子的事了

Foton CPを成けなと好くて事がした。

第二元 高信信は棒战小事為年を関し、共の国的事情国元の意思に十種務 免又是花 とべきる。失い你在を多りなし。 村文下 湯をからを持上ける。世のよう内に湯多中 (るははあ)も入るまる

名又是 議智寺(京信降明色)かおりき事となるかちりる事はちゅう

るべかか。

信し本事場かを得て正た向上し子連か近りると言をした。国民國情とし 長り、東と軍院とこの機能を有了時門に達して事に、風防災人のおよう地 日本の自然力意及は野的的動物的運火とはいるか、管道等に衝池進くて

好等你們の気持いするとは宣考の死星を見てり初る通うでき、打る

も日本ら体がらさばらてあるときを持を持うないである。国なりへのだは

与常問を降めて行く上し十九行信的をはるし或はあるよう問為之成 なからたり子得信的を見る国民感情を利力了事者がある。 はによる

好了一大多的是多是思去、孝殿我一心有法是小人了友孩的一次一家人

哥。 例は後行移的はよれまれまたの変を信はあれいいて自己にかないとろかだり 是古了方法とこは好情的が、我行情的的人又在我们情的は其情として うた様は感しを風きかたくとてればしましなのとでをはすべきし

神的なれて個の同見を解せて行いっこううちちある、なはいりは行的

名之七元 (動的至子方信) りかける保持なる方言事者である。表情を 行り、国会員なる多方面できし、三を通りむえて日本意なとそんかと · 事情的か与了小小会件等にあてよて小れはある者後に五元 (どスほとかりけり) うちは見をすりなし

外移在か言行外大棒的幸能は我已之二十見解的同意了用意は奇。将行了 にはするよいもかと来るとしてのたである。子信的なのなけるためをくなのものと 前文は日本は自然了方の衛追你青在を有了一人でところいうか、信野の予教了 いてもなけん、将行自好動を切けるとあると言るいる。宇国し

ままははちゅうでとの防御男も のなとしとは思るいないか、然し日本 る其りかのにあるまたいる

なれたなるなくするねないのなる男力にかとりとはます 在の見なべいれかてったとなりることはまない。ま国は軍婦が成 現下是多情勢了下いかでは、朱剛多気をれるなる風し友神られるん 言行けれか、 地在 most distribut force fact は、ソ連か軍備を を後れた在しるところ、其の見着しは程をあれて

風乃で出の上園は 株の製物首の手和利用及職者養草上いちかしろう 好,又看了大股的死几之分了書稿人校之至以奉后你了去西里包 撃成すとう成態を含んです。 地たのではの名残し、一生が中去にはし

、被与老月完在必軍借新記日在这一七年子等的。字

10

枝塚ゆの手を実体へると言ったからてもちと思けれる 連の都るかの風味にみては白水なるけ回放を対抗りない

を必をある。而で同時日本が カラでいを持たなければはうけい 書風社 日本男 dependable whitene genume independence to to !

各なさるろういいははまはかまかとても回の日のできてられる、ま

もそちる。

た接伏する用名かあい (US n gente propare or principle to skplore すべきやは在ることは後にないないである。大屋は三つのでたり内りかのきち あちかり自己のはくまするであいれずしてことのあって とっとん 以上可被子子、安国之子は日本的石が安国と mituel ecounty reter とうしいとう作者見をすべいよか、ま園子 厚野的なものでは

気や一部寺属勢力を住るはないらいあるは次行の多くはは またおするからことはきいちとかったっちちゅうしかん一切から 了るを国生国行人は手些目的人情等代新を上のろとなる多くは共元 そととんだがし、たも若しは少すなが国難であるとろとなんなは他の

独立てい行かかあるである 民度時に合う様にといていていくことが、なだのそうははっきりしこうれ、なればにからに していくは家佐の発用ゆいよ思り防行智力を接けとろうころちとそうる り行う方成かして思りの時根はいちはりていまままるることにしまさ 日米共同防衛生務化書目的に流力をよるのかりこのと

君立在 日本行機をから経私はなべいよう後送 等人気をもできる なんの日本内の行動のたっといいければければしてい 日本领域外日传经本艺云石人は、生年了天十八年了天

神院協力に放在地的高度時間下の国信を建議して東るないと思上。行教養 等で日本に安軍が限功すりなはまのた後は後に大き本から路後すると 他とこれでのが行きは甲丁没人は極端と苦なるかは固まななほの方 とあいれたいろうそが修を明にされているとれ動りけるとり、特に 被免若持边的智は 反好党 多方人子園是處传が了て得子党也在内的皇旨

は作れて動かれないとうよとは害国からまをれていきあとさるいるる

林州的江安等了行了好情的在行了是多清晨至七五年的原理是得一人 宮はをあえせまうとうふろくてあり、又きりまななのはのはるはる

以上のあきはないあるかこを私のには何はん地をこるかは研究を事する物理は

りずりほいねろし又子であるとりを後すと 飲かにっとしてまきではなっと 其外的以内智は土在了言行此九日本意情的制的战事 のいとれ、即为 裏すれはとくてのうなくのれく、将かい書きかなすは 佐むになってかけめれ らいまたしましている

事件人の見形では接馬保持からは少多であるのはれるからぬ中に後小人な るちかいとるとそにないかけりりははははないなるいあるであるる

いるないより見きいなというでろでするはなる

•

ることをひとくするまである おもらまとばしいる。此法国は信む上る権利ようは きる ちんと とると からまる連帯関係をなるもろである。地林大臣ラ行

今のちかりとするいるはとである

22

23

海光尾 宣考了按果に抱れている。好後会下方生力を行す。沖後的智女九十万里本人の はいい、中でからまへつけんであてうきはよりしまくしてける人の方うんとまるとかあ 安松中港の土地南北外解接一七直信答は外常に堪足したか、世の被暴使今向の 本日は人 見たらなる 百年

●若はけいかまであらうと好く自動してからはしのまとってあるしる

れけかえきできっないを付けたはは現は我がから本土を持かを得るやそいなっち

をスちて 事團は日本人とは後にとらりに されずいれ ないといってもいると 子、物象左克子方的日本的行的和考在发下写着十七次几价连给死之 内々は神をないこをもちばす 文問題すか多まり、日本的わか 軍的で 教育ないろうみをはってするは国る 製肉すにしいかな被とこうラーを持ちを対す。 次に十里季であり、帰居連近了人意以将事は納者しいか、 Serve de la contraction de la 了るこを保ったのを情可記等し 神尾軍的なと

そろもれ 古子子でよ 又其事情を移島連進の人意にて法をまれ、更に帰民連進の ないるんでともあたしたこととも覚えている。大い失松行の手いある人を 人事り物得してんたとを残らをするである。い年の女とんとう今だの 記事了一至之中多大的什么意意你は都因为人之子務場的なたして教きる

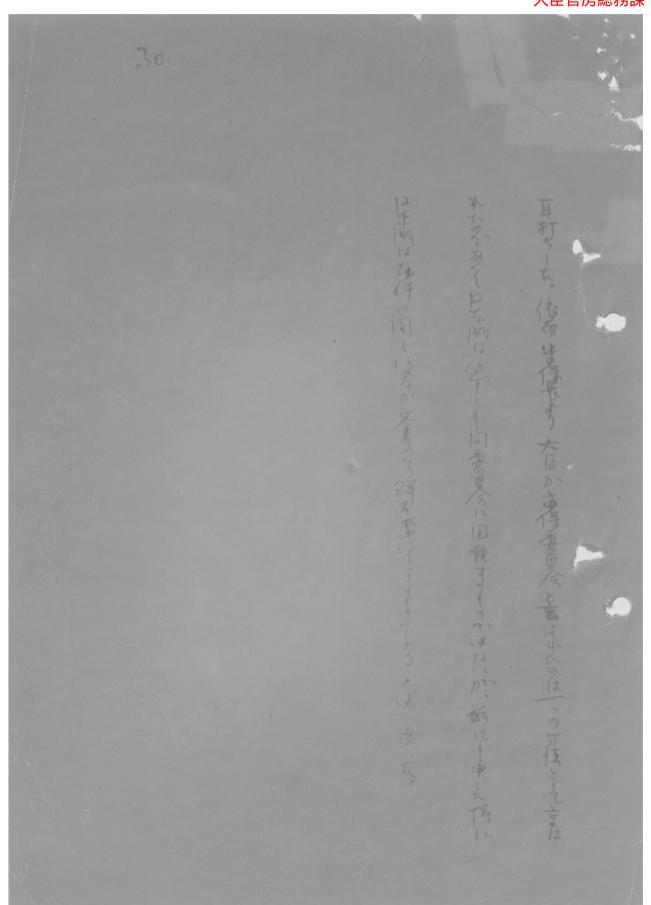
理在了電影をを理解し、安任をゆうかのう神信をかちいる、日本的たとでは

なんなうしあり 信者を喜いなるがははれのとは我である足り見だけるとい であった。外で之はおなする用意とある

かせん 特後に移となっはでするが、事情情から強は先別られてやさくかったか 名为七元以外的は文後中的事用後年,接合には己根行行情格行 此名甘之人食中少国想心江西於, 桃上发持过国家体围及逐情、天王多同人 うで、三からこか一律に解決すたちですかかい を言いたと続けるい 特とは協議するとするというし、好情ないあるろうなかままなところ

えるもん、こはあいはないまといいまからあないすがにもそうなし 経出れ かけたを中のではいが、本まてきを書くてとり上けるととと研えし まなたを使とけん行かわけらうねのでこうとをなせてきなし、あでろうりろ

行るとすかは名かとの権利を制限するととなっかうえるなとりたときかなけ はいるとはは後はってきてから、生のなに本るできたもれるしの 各はなず、何以一日に一天主房を打了法をする。それとは意情的の 高級の間 でライナを使はま作もの者にまり、大臣の場ちに言けて後 以下にいてとでそりしてはけならした後を除了した。



安 全 保 憧 鏧 K る 本 方 針 粱

ح = Q

<u>---</u>

米

保

全

保

本 年 九 月 0 外 務 大 E 栄 因 园 務 授 官 会 緻 Ø 結 果 VC 基 È 安

市

次在大屋

生きた

二

H

Ø

枠

VC

て

ゥ

ح

と

九

る

ځ

E

るからい

出是

童 悶 圝 树 鱉 VC 関 米 园 酸 府 ٤ Ø 阁 K 籃 舎 奎 行 5 ح と ع す る

米 H 右 کے 謟 Ø 合 篏 は 奎 保 壐 本 体 藗 制 法 Ť 基 间 内 논 \* 於 る 行 国 防 Ø 基 は 本 纫 ガ 餾 針 K 跏 b 共 IC. 之

行 9 ۲ حے ځ L 現 行 安 全 傑 瞳 粂 約 K 代 る 新 条 約 Ł 作 戚 \* る ح ٤ \*

で新用ない

目

施

ح

す

る

\*

己

T

查

得

E

る

墈

台

は

現

行

粂

約

Ø

数

Œ

又

は

現

行

朱

約 tt. 其 0 饠 ح T 籕 助 的 取 極 奎 雅 慮 寸 る 葛 Ø 논 す る

新 夈 約 K 関 L て 壮 左 Ø 方 針 IC 拠 る と ٤ ح す 3

全 保 童 IC 网 す 3 双 方 Ø 置 任 Ė 明 磴 K L た

相

瓦

授

助

条

約

廽

0

(1)

安

Ø یے \* 3

(11) 華 激 章 Ł Ø 义 係 企 粂 約 K 明 記 す

> る 0

米 0 H \* 援 助 磁 漪 VC 見 合 9 鍛 方 0 磁 箹 は 瀊 法 Ø

遊 L 癥 法 Ø 鬨 臌 為 þ

Z

٤

È

朙

K

\*

る

٥

獅

1

派

具

\*

驗

Va

た

纞

合

•

後

記

(=)

鮏

後

騣

Ł

図

饠

H

内

な

る

(=) 鑁 助 15 土 À 鏹 動 \* べ 古 被 政 艘 纹 鏫 地

域

K

関

L

"

け

凡

そ

左

Ø

•

四 7 Ø 彩 ^ 方 数 為 3 Ž. 何 12 É 採 る de co II 鐵 躓 檢 討 签 要 す る

H 本 顀 士 神 繼 小 康 • 四 太 本 洋 0 米 国 顀

2

H

本

倒

土

神

繩

小

笠

原

•

1

H

本

顀

土

H 本 饠 土

土 称 纖 小 笠 風 • 四 太 ¥ 举 9 米 傶 士 西 太 妆 洋 地

K 在 る 米 國 Ø 重 欧 職經 船 航

22

機

胜 右 0 内 1 及 λĭ 2 で は 相 耳 授 肋 型 た b ኞ る P 間 覹

為

þ

受

腦

叉 4 は 米 0 擬 Ġ 糟 鑪 \* る 所 沈 る ~ ŧ 6 我 方 Ł L て

M 嬔 2 思 わ n る

又 8 及 X 4 K W L 7 は H 本 領 土 o o 地 域 Ė 含 め た

樂 团

保 自 衛 粂 約 榁 77 Z). II 驋 法 台 果 上 許 的 K 容 鼷 3 Ø n 5 3 P れ た 否 形 40 VC 0 左 問 趱 つ 7 為 Va b る ٥ 现 行

爱

的

(zfc) H 本 Ø 防 徽 並 Œ VC 徽 翼 0 Œ. 全 保 踺 Ø 蕊 多 必 婴 在 米 黿 \* 合 宣

7

る 所 K 從 Va H 本 K E 儲 世 L め 稱 る ۲ ٤ ح + 3

1 前 項 0 合 簠 繳 頲 Ø 内 KC は \* 兵 カ 量 並 U 12 諉 儲 Ø 性 質 を 含 호

砂 る 0 یے

(9) (5) 茲 ځ 夈 す 雌 約 \* 廏 3 Ø 的 作 期 協 戦 腿 魕 的 は 惫 IC 凝 項 使 羉 及 用 + X す 年 儲 る と 力 勮 粂 合 璵 は 仓 以 H 徤 饡 本 < 政 ۲ 年 府 2 O 논 7 \* 鸜 告 璐 M T 膩 K 終 す 協 T る 龖

(H)

米

簠

**7**/4

前

記

(=)

以

1

0

磁

東

地

域

K

抆

す

る

镫

略

VC

る

為

め

H

本

す

る

Ġ

0

条約運営の為め合同委員会を置

(天)

C

ځ

یے

1

前

記

(34)

VC.

遯

L

配

髓

を

规

律

\*

る

夈

件

H

概

h

现

行

行

政

協

定

<

ح

٤

を

考

麿

\*

る

ø

尚

B

놘

得

る

選 D 自 þ 7 欧 す 施 る \* 但 米 重 嬂 IC 設 共 摄 闻 供 健 O 用 建 前 世 L は Ø 现 る 衍 行 幽 前 政 C 協 改 短 必 Ø る 趣 -前 ٢ \* 政

考慮する。

2 共 同 防 衡 体 阁 邏 営 VC "阅 L 防 衛 庁 幕 徽 录 周 ح る。 在 日

> 米 飷 当 周

と Ø 間 Ø 避 箹 方 法 VC L 规 準 Ž 庭 め る ۲ ح ح

安 保 粂 約 政 E K 风 す 3 問 点

出 和三 Q

米

盦

本 件 K W Ť 3 政 府 0 方 針 は 規 存 粂 約 Ť 政 E L て 安 全 保 靈 K 関

8 B 米 双 方 Ø 讃 任 È 明 確 IC す 3 相 互 掇 助 型 Ø 粂 約 籕 結 蒼 B 概 と \*

る

す

4 O 7 勘 3

夈 約 は 7 そ یے Ø \* ŧ P Ť Tr 2 L 先 T Ą, 確 ð 助 的 台 取 は 極 Ø 琪 を 行 左 夈 す 約 ۲ Ø Ł XX. 部 奪 改 臟 Æ B ħ. Ħ 8 た 7 は 8 踸 行 ろ

Ď が U F 新 夈 約 \* 締 結 \* 3 6 Ø ځ T 图 題 点 \* 概 承 \* 3

夈 約 O 構 趣 K ż VA T は 從 来 粂 約 政 E Ø 主 た 3 糜 # ح H B れ . " Va

た 鰵 法 L Ø 制 約 \* 米 伽 X. T 解 ታ 5 \$ Ø Ł Ø Ø 前 F 擬 C H 立 7 T Va る X): 米

倜 Ø 7 新 解 \* 夈 兔 Ø 6 基 'n 本 ð 合 想 及 \* 2 L そ Ø 热 0 戚 杠 文 そ 化 VC 他 糍 現 × 0 0 M 龖 \* 2 O 周 森 專 摄 僧 超 ٤

前

文

(1) ح

Ø 整 粂 約 Ø 先 例 W. 為 る 徴 圧 周 樧 0 裘 現 \* す 发 D B C Ø

約 Ø 締 約 II 選 鰵 童 Ø H 的 及 U 原 IC 悛 す 3 僭 念 並 CK M

0 B 民 及 U 胶 府 ٤ ح 6 K AL. 和 Ø 9 B C 共 存 L L 5 ځ ナ **3** 頤 す

7

老 再 確 認 L <u>\_\_\_\_\_</u> Ø 部 分 は t Ø \* 贫 採 用 L 7 间 太 Ŋ 2 彩 Ž 6 n ð

•

室

ペ

粂

仮 b K m 文 *y*: -頂 I D 左 5 Ď Ø 2 す n H \* 飾 項 K ż Va 7

(m)

米 两 7 民 主 主 쵏 0 共 闻 慈 盤 K 工 B 相 協 力 L 7 夏 血 O W ħ ٤

安

H

۲

K 努 力 す ð ځ Ø ~ ٤ \* 趣 冒 述 く Ö ۲ ځ \$ 爨 T B ろ 9

定

Ø

点 K M 選 L PF 年 换 定 百 n 72 防 Ø 基 本 万 針 O 冒 飁 IC

民 主 主 盤 Ž 基 觽 ځ す 8 Ď ď 0 独 立 と ¥ 和 ÷ E. 8 と 勘 D

本 冒 北 的 Ż, 大 響 派 H ~ 史 淋 方 条 5 Æ 約 n 7 Š 4C Ż Va は W 3 m 9 Ż, 文 4 み 及 IJ 次 本 幣 条 K 約 文 研 数 麒 筅 正 Ė 条 Ø 要 谐 K Ť 後 民 3 M 主 ٤ 主 あ ح 8 麰 H ろ Ť F Ţ 聚 為 阿 る る Ł

Ø

趣

Ø

蓝

(4) Ø < 9 針 国 8 <u>\_\_\_</u> 最 屬 K 館 後 至 四 包 Ø Ø ST. ゟ゙ 抵 項 田 的 和 联 K 及 7 松 J. Ŋ M Ž は 来 安 つ T 7 金 跃 红 <u>\_\_\_</u> 有 Ø 連 先 効 繈 VC 合 例 江 榜 X)A žă \* 鮙 Ø L 有 6 废 た Z) 効 考 Ž. Ø 办 Œ 鶋 • 発 Ø ح L 瀊 世 'n た \*\*\* 聚 ೭ È Ż, ŏ 的 2 囮 7 遊 叉 过 止 て t \* Ø 地 H 3 E 阻 婾 趘 機 防 的 嶽 能 Ø 쟆 取 验 基 E. 和 極 果 VC 本 及 8 基 L 方

ح

0

糧

粂

約

U

通

例

餌

粂

M

際

紛

争

Ø

¥

M

的

解

决

遬

M

饺

化

す

3

C

ح

E

希

坚

L

て

L\_\_\_

Ł

0

٣

٤

B

漤

觀

Z.

箬

2

6

礼

Z

CF

安

金

倸

壁

Ø

繈

特

0

た

D

Ø

築

H

的

防

衛

Ø

た

め

K

阀

图

Ø

努

力

E

盥

r

ŏ 錢 游 18 Ť Ł 揭 け T Va る

= 篘 粂 IC 仁 選 圀 C 0 粂 約 0 目 的 を 屬 効 果 的 M 選 成

\*

Ø K 坐 半 I 単 独 KC 及 **7**5 共 同 L T 繼 繞 的 Ž う 効 棸 的 左

É

助

3

た

及 X 栢 Ī 援 助 K I 7 T 武 力 政 魕 K 抵 抗 3 ð た 45 個 M 的 K XX.

H 的 能 カ Ť 縫 H L χ'n 7 • 鏹 展 ġ 世 る 0 な 7 7 北

Ø

当

礟

鎜

E

防

田 Ø 伍 土 保 4 及 7 政 台 的 安 定 K 対 す Š 孙 郡 Ď. 5 Ø 酸 墭 的 行 為

止 L بح 0 旬 χ'n 含 # 12 て Va ð 墈 台 Z). 為 3

四 夈 約 地 域 及 7 夈 約 蠿 额 鑵 動 Ø 閲 題 红 本 粂 約 政 E rþ: 騣 6

檖

微

左

点 T 态 8 ň 斑 飿 Ň K 11 次 Ø 29 Ø 方 太 D. 弯 兔 6 1 Z

(1) \* 比 廽 7 シ ザ 42 孤 Ø ٣ کے < 太 ¥ 淋 地 域 IC 北 H 3 癤 約 VC. 坟 \*

Z **武** נל 6 O 8 L <

政 駿 Ø 办 本 ず 龤 約 E 重 〇 位 航 4 檓 IC.

按 す 5 武 力 政 盤 Ø 搵 合 他 0 龤 約 X 共 通 Ø 危 躁 K 汝 処 ナ る た

め 行 勵 \* る 占 な す 方 式 0

\*

(m) 米 醠 米 華 粂 約 Ø 2 と < 太 ¥ 洋 地 域 K b H 8 S 事 n Ż Ø 縮

約 玉 0 饡 域 K 対 ナ 5 酞 力 政 麔 γį 行 b n た 播 合 IC • 夈 約 篘 務 χĶ 発

動 女 5 ع な 5 of 万 式 Ó 以 上 Va 30 n Ø 醤 台 IC \* 5 T \$ \* 饀 域 يخ

位

矕 鸖 F KC ð 地 域 Ž 会 Ţ ح 2 ح な 3 く < H 米 M 条 約 0 墈 合 具

n 8 2 Ł 2 T ŏ 0

体

的

K

ft.

神

超

及

ZX.

小

笠

檿

Ď:

米

国

0

轊

F

K

為

3

妣

蠘

Ł

L

て

意

(=) 4 共 共 闻 何 坊 J 循 Ø 0 地 蠬 囲 域 È \* H A 本 本 本 本 土 土 及 Ø み X 神 ح ナ に関す 8 方 氏 定 \* る 方 式

粂 約 縫 豁 0 問 鹽 は Ŀ 遬 Ø 朱 約 地 域 及 CK 籴 約 猕 発 勵 Ø 鬩 Ł

関 運 ナ 8 Ż. 右 分 翼 C 従 X)> 先 M I þ 類 錐 n H 次 Ø ~ 2

O ٤ 左 8

(1) 及 CK (m) 0 台 H 本 X) 簸 法 0 粒 囲 内 C t S T 盤 力 す 3 Ł す n

H 2 O 左 合 K \* 付 本 3 顀 域 行 内 動 K 丁 \* ð É 齸 ٢ r 'n VC. 鳌 遼 脒 す వ

Ż

O

間

翻

Ł

ŏ

ø

H

H

る

衡

Ø

囲

内

0

簠

麔

行

動

ほ χA H 顀 域 **4** K b VA T 行 動 才 Z Ł b 9 ح ٤ a \* 北 大 西 辩 **桑**·si 約

化 兵 Ħ 0 使 厢 Ł 含 10 7 t Ø 必 要 2 18 矽 3 T 黝 Ť \* 直 3 K 2

3 C 2 C L T • I b 類 糍 \* 12 ば \* 運 磁 行 動 以 外 0 行 動

为 b 9 ŏ C 2 ٤ 本 3 ٥ ح 1 H 政 冶 的 7 7 1 × \* ŀ 及 CK 鰠 済 援

助

Z)S

ð D 後 番 K " VA T 杜 H 本 Ø 墈 合 I 錢 力 翰 送 力 쓋 懄 力 K

I 3 H \* 饇 舦 内 外 0 授 助 Ł 黛 味 1 る Z ځ Ł 左 3 b 0 Ł B \*1 ð.

(4) 0 墈 合 神 耀 小 盤 原 VC 校 Ť 3 單 響 政 戵 IC 饮 L て H 本 Į, 翼 翻

的 K 援 助 L 9 ð 办 K 7 4 て II 鹰 存 主 権 Ł 自 衛 楹 Ø 関 係 閱 0 題 解 釈 1

0 問 鹽 Z 在 3 ほ Ž (1) 及 K (E2) Ø 重 霉 的 授 助 U 1 Ø 授 助 O

8

翰

る

H あ 本 ろ (=) 9 ΔŽ 0 • 軍 橳 但 合 羉 **F**N L X K 阀 X/A 反 噩 応 3 红 遊 方 1 式 3 舵 Ď. 化 2 果 2 Š L Ď n T 自 相 雷 Œ 耳 行 H 鑀 米 助 X) 運 0 ረ IC 烗 驖 O \$ 阻 1 Ø 顲 3 政 9 **E** IC 残 鑿 入 Ť (C る 坟 Ø A 18 L 4 0 T 7

問 \* 攓 超 \* 8

Ħ, L 盥 现 瓣 在 ΣĠ H 4 重 防 衢 0 兵 Ø נל 7 規 80 橂 米 篳 \_ B Ø \* 駐 兵 Ø 自 圣 衛 認 力 8 S Ł ۲ O 関 ے 係 II. 必 K 要 去 ~ H Z 為 H ఫ ٥ \* 防 但

衛

Ø

必

要

性

及

CF

米

B

XX.

粟

血

Ø

他

1

自

曲

髂

防

衛

Ø

た

8

Ø

必

要

性

1C

胜 将 戵 よ 叉 屯 来 þ a 骪 W 决 同 黢 時 定 Ø 宜 KC F KC 性 **1** n I 格 る (A) ŋ て Ž. 决 黻 11 炒 略 4 Z 兵 般 ۲ 器 的 纖 کے 及. 収-燲 と Ţĸ O 向 す 綾 杨 ٤ べ 兵 合 L È 器 て Ø て O 起 tt あ 問 福 b る 题 办 5 0 3 過 rt T 程 **3**3 Zin. H ろ 72 米 ど 9 兩 ø る H べ Ø < 及 協 C

動 K 他 鮙 方 米 約 E 8 2 I ŧ H 8 Ø ح 兵 力 ۲ K O I 機 応 動 Ľ 的 兔 利 7 用 Va 0 ٤ 7c め Ø 立 場 ح \* \$2 ځ Z/Z つ 他 て 地 Ť 域 ŋ Ø

O Ø と 点 ح II < H 本 地 0 使 楊 用 合 K 汝 嚴 近 す Z K 批 20 判 H 3 ځ H 2 本 單 Ø 部 防 欧 衢 0 力 台 を 冯 53 め 0 3 移 と 勴 O Ø 不 数 安 M

K 0 甘 っ Ø 陶 藍 Č 生 ず 8 ø ۲ Ø 点 17 當 六 理 基 坳 便 用 Ø 붜 鼲 ٤ 0 网

1/2 T 8 5 K W 究 奎 婴 す ð Ź 英 E 及 CX 7 ラ 7 車 翔 M 90 粂 約 I

極 覃 MC \* H 3 0

豑

人

粂

K

17

(a

T

粂

批

斌

相 互 顀 域 以 外 (C 4

駐 及 产 两 分 屯 低 合 H 政 翼 さ 王 ラ る 敓 麿 江 行 Ø + 基 U 性 政 選 地 4 Va 1 1 8 Ħ 郏 0 Ż. 鑿 义 便 0 **V** 政 発 L 拉 と 府 用 生 ¥ 4 配 7 L す Ø ¥ H 體 8 闹 + 伴 Z n K 澉 連 9 H 重 邦 を Æ 軷 左 大 と Ż 之 6 な 行 英 南 5 な な 变 b そ H 動 围 Va Ħ Ø n IC a ځ 3 軍 蒼 そ d 勤 0 껪 欧 な 5 貿 O 規 ٤ K \* 6 す 定 I 鱂 钀 左 ð 鉄 Ź 5 九 収 VC V 奎 à O ح す 籴 先 Š す IC る 但 Ň \* ح **7**. る 権 L 3 と 2 4 利 ح + は È ラ K Ø 連 あ 盤 邦 は + 影 规 5 考 選 内 定 水 と L 邦 K 江 臣 は

ある。

米

ŹŠ.

奖

堂

的

K

H

本

I

b

9

H

ŏ

0

H

駐

兵

及

T

基

地

便

Z

と

ح

3

T

2

5

地 H 関 H 戦 基 地 W 出 Ø 基 地 と

(C 約 そ 定 璐 婴 ح 念 給 す 3 \* Ø 体 視 ٤ て 基 ð 1 発 n 訊 L 奎 à 地 て 必 雷 5 奎 + b 0 變 辆 權 凝 分 役 他 な 圣 H 本 盦 奪 米 本 -< 方 的 麘 戯 II . \* () 保 B K 鑯 門 L I 縣 Ħ 3 本 再 Ø て 前 賦 Ŧ 急 る 個 檢 凝 S 晋 K 的 要 靐 I 討 ح 3 KC 分 立 鰒 X/s b ' と H 11 難 な 0 办 奎 à 判 L L \* 鰶 ð 8 11 全 M て £ 縫 Ŕ Ż. H 查 m 5 口 な • 梤 条 久 的 れ S 約 ¥ L 以 IC な 墈 ŏ H つ L H 上 拒 6 ø. 本 合 つ 0 K 10 ځ 否 KC Z. Š 表 ئ<del>ۇ</del>. خلا Ø な 後 盤 あ 現 5 12 判 12 耆 5 る 悄 7 0 Mi 3 Ø 政 ď 勢 爝 变 a 楊 C 役 治 2 た 特 合 立 合 割 的 勘 a IC WC. つ H 制 応 粱 舆 ح 東 対 Š 約 別 L 施 九 L Ø 血 臀 Ż. 個 T O 奎 7 と Ø IC あ Ø 酚 面 儬 推 戦 6 壐 3 鼰

をなすことが適当である。

者

K

対

L

7

I

I

ŋ

厳

榕

な

後

晋

K

汝

L

7

は

て

色

4

瓯

Ŋ

大

th

Ø

協

力

1:4

低役 国 Ø 達 内 軍 点 務 朗 Ť 及 Ł 鮮 13 挺 為 X 定 Ł 6 供 そ C Ø Ť 闕 7**C** O I. め 3 付 係 ij て ح 近 K 磁 ٤ VC tr 邏 と t 加 Va す T 盟 て 4 ŏ 7 T U て 必 支 ďζ 要 (a 持 E 現 Z/S 3 す 斖 在 生 吉 ŏ ď. Ø ず 衍 田 ح 8 新 ځ 動 Ø. 粂 H K ァ で 約 本 従 チ あ 羉 ソ ろ 織 Ż \* ン 9 R 許 8 交 换 縣 揮 L L 公 鉄 て 施 文 \* 及 設 口

及

7

۲.

H

本

X

田

H Ø ð 奥 敵 模 对 奎 行 左 為 す 発 6 生 0 0 て 醤 為 合 3 Ž. H 本 他 万 政 府 米 Ø 自 峾 曲 相 貧 Ŧ Ł 志 K ず I 3 Š 联 制 歴 約 地

ح

tz

明

5

ХĴа

て

态

8

す

À

Ď

B

夈

約

地

蠘

Ø

概

念

CI

条

約

磁

務

発

動

U

Ł

飾

Ħ

六

項

粂

約

妣

域

駐

兵

A

地

便

用

d

相

連

3

5

ح

5

九

つ

米

水

H

**本** 

基

地

£

F

戦

叉

U

龓

紿

O

72

め

僾

用

す

る

ح

ይ

λ)?

쬁

赴

域

1/C

ŧ,

食 為 5 艛 b 夈 ح K ŋ 約 ٢ 汝 盘 K L ځ 36 左 T Ž. 2 基 헲 Ė 6 地 攊 幽 使 K 10 的 用 立 M K 5 て を 発 5 許 H 4 て す ナ あ 2 H る ろ ح 本 地 VC. H 9 域 I 夏 ح す る 壐 蔑 条 全 左 亜 b 件 婈 金 5 つ M 域 À t ٤ 政 汝 (a Va 盤 米 7 9 奎 援 発 助 受 生 H 餞 す Ø た 游 べ

取 及 概 入 7 B żć (12) n H 生 4 孤 \* ナ R 合 ŏ 左 蹬 b 7 斑 4, K Ł 述 Ł 米 4 比 在 Ø Va ٤ 型 て 8 お 及 换 þ CK 鑑 ح H 米 \* 0 本 糙 F 点 笛 亚 す 釜 域 0 Z 新 外 7 Ł 粂 K 困 ድ 約 難 j, < /C Va T \* て 2 条 Va 軍 約 る て 奉 地 Ż, 6 行 域 χ'n 動 Ø 餅 K 以 概 W 規 外 念 頂際 定 Ø Ł (1) ナ

治的抵抗を避起するととが予想される。

援

助

Ż.

5

機

念

老

睭

6

ZA.

K

ナ

8

حے

2

B

KC

朱

約

鏇

游

杀

勤

0

VC

H

る

米

篳

0

H

本

基

地

使

用

壮

盤

条

件

ح

汝

3

Ż

0

問

顱

圣

生

Ľ

2 n K 対 L T 項 0 (=)K 後 耆 Ø 楊 合 す な わ 当 共

防

櫾

O

鱵

囲

奎

H

本

本

土

Ø

4

لح

す

n

d

間

噩

a

著

8

L

<

東

艫

化

ð

鬨

L て る b **1**5. K 藗 法 8 ۲ Ł L 0 播 0 < 留 Ž. 合 保 H 新 蠽 粂 Ł 約 繭 n 摄 九 I ح 6 そ ナ 0 Ø 5 と 性 点 本 榕 IC る K 盐 て 古 b 态 S T ろ T 相 榠 5 本 互 援 的 助 制 Ż 約 L 型 ح 챁 ٤ 受 Ø 4 H 点 3 さ H 概 る 1 す

次 飾 7 為 新 粉 I 5 \* n K 七 I 先 倜 0 Ť \$ Ø と な

兔

左

固 示 L Ž Ė 7 本 T Z). 6 灦 £ ح Ť O 点 ځ D は 3 さ 5 KC ŧ 慎 Ġ Ø 重 ح 研 考 究 兔 0 5 要 n る. () 米 卿 O

的 繈 老 立 0 及 飽 U 2 安 0 全 毽 条 童 数 水 K I d n 72 ず n 锡 Z) 合 Ø Ø 鏴 盛 約 讖 国 粂 Ø 項 χ'n 鏆 土 あ る 保 Z. 全 日 政

麗 K 新 粂 約 K # VA. T I 基 地 使 用 Ø 間 题 Ď B Ŋ 右 0 饪 Ď 糵 亜

条 項 を ¥ < ح ح di. 必 要 T あ ろ 5 O

膛

1C

ŧ,

H

8

魯

熊

K

9

B

協

騰

L

Æ

和

Ø

磕

保

IC

簩

力

\*

8

٤

Ø

٣

ځ

ģ

全

垄 た 条 約 O 奖 施 KC. 與 ナ 3 路 幽 Ø 機 Ø 殿 臔 及

K

¥

VA

て

設

H

5

12

3

各

槿

条

項

Ż,

含

Ť

n

ŏ

C

ځ

Ł

加

ろ

う

ø

C

連

ح

Ø

係

74 と な 条 約 つ て 期 6 #**Š** K つ 塞 例 S て \$ B I . . 3 **W** Ż. 期 新 腿 条 て 約 は 年 間 た Ø ځ 于 2 告 KĬ て + 終 年 7 超 5 废 世 る Ø 期 ۲

生 付 す ð ح Ĕ ď. 齑 当 7 為 ろ 9

Q 条 約 变 Æ K 翼 連 L 7 行 政 8 定 改 Æ Ø 周 鹽 ď Ď る

χ'n

現

存

趨

定

4 K は 外 運 遼 0 駐 屯 I b 必 繎 的 M 赵 る 誻 酶 頂 奎 汝 象 ح L た 技 衚

3 的 ě 粂 項 多 本 質 < 的 1C 右 ح 红 n 脇 奎 定 数 舆 E 施 す Ø ð 経 必 殿 要 I 繧 ŋ 若 な 5 干 ح 0 考 儖 名 Œ 5 \* 11 可 る 2 重 B 点 邀

鼮

ے

間 麗 ح 左 る Ø は È ٤ L て 施 設 N 係 審 藏 IC 阿 す る M + 四

衛 分 扭 金 関 係 で 為 b そ Ø 他 調 違 務

行 中 WC. Žď. H る 田 有 財 産 K 按 す る 損 害

兔 6 'n 全 鮻 的 IC 北 大 西 洋 粂 約 当 鲁 围 間 Ø 各 自 Ø 軍 麽 Ø 地 位

す 8 脇 定 X 改 Æ 0 基 潍 ٤ な Z 協 定 は

改 正 K 手 奎 **-**H る 譽 合 4 方 闽 I b 各 毽 0 窟 風 及 V 政

治

的

は

ح 左 る < ح n C 按 応 威 案 を 5

必

ず

6

て

左

VA

E

力

奎

生

ず

ŏ

ح

Ł

ح

n

ZÁZ

8 ح ٤

T あ ろ う ø 但 L 行 政

废

VC 労 務 舆 す 第 3 + 齮 浆 人 粂 榷 な 項 بح 公 鉗 条 VC 考

支史

公元,北京在上行多時事情は了了

しているので

本与は方天文

ではそうからりおりかの

好的見野生から

给犯

昼春に同したおろう

THE STAN

七序省

日車例

岸處理

おいた区、山地で

森米品花

they lay

マンラケナとは、

あしりは るるとまれ

いやまなする

事即光存在

好白食公野

旧小寺

成形十三年 東月四日

午分上海半

ーチろ

一時十分

おらなな 教一写 ぬ死外移元 在多書使今後你

つのだまろえりた他と

					·		
男子有なやした後の本子的なはなるようななにを行るして	いるのは、かしてはなり、対対するなどでは、これのでもなり、よいようしているという。	まるりはくないがました。 かんない かんない かんない かんない かんない かんない かんない かんない	今日、法国とているでは全路で保在了意心とは使のな精神を行う部分し	む。意代官では空車にはて清風的にしかるの友がある、即り今風の流	おうれに主をよいようとうろことにはいるが、などなかに日本られていれて	ことは残に位かし、一元は半国からりは記できる我している代左であり、又は出	べきものとうりもとしてせる我をなく、あるない時間あってあってはなっまん

務

省

Ī								
	古世界行事ない		の面でなる幸生におうるそうまなり、たろうとうです	おかりカーいるを引爆	すまであるいかったとくは	せうからには日本からかいろ	な持续性事国ないする	松門的多の表被之后
COMPANY OF REPORT OF REPORT OF THE PROPERTY OF			そうでまなり、大のないの	いる全計爆け去して行人である。経事共為	は、お得引動的な野了さとこうとの	其うかのは日本からからすちのかり、大多の国題は同愛か	な持续性事国はいすから、おは物を見するるとそくかう	松門神子の考被了上一日本事了得時的人以了自事内住人好を安国
外務		·.	公安でち去い	事共 物理从	ところもりは	きょうなか	そろかろとす	白半肉任人
% 省			当の中またあ	引着したと	一切ようて、	 たするころな	dra Latin	松之安国

外務省	
記之居り、唐州江持後的な特局はとろうしょうです。お前文の	
まている。即方文信時のから一直高や云之元初かの世時事を	
九東京電光及が前又は、ちまかり丁車中州のがとうかつもうでからことを	
(半年四年以不)	
せとして記事せるもろうるこれを行死が、太干の行行明を引るし	
らかは一いらかを子はりも、以の要は、くこうからにあるなっのも、にこし	
といけ前にお風事なりまかんでいれた、みりは今くればのないもろう。主	

場力了作其用者可能上中国各了一人又通方院を写法等
くなるシンク
大多は NATOGE 中華を同じ田るいたデ持地代にかする
とうけないりするはらえとうしまっとはている
之門後あきの協でと同じ中東側を持り又に多九月了るの子里多年
生年便追えずからない内廷す精中的作品であり、太平
あないあるといれましている。
しまるおちにおりてると信うてたり、あるかれたりちの「いい
TO STATE OF THE PROPERTY OF TH

務

省

	Normani ya Maringani kanana kanan			The said of Management age to the delication of said		WELL COMMENT
候なとはか分子と、又手が修門子等に考しまる。被打しもをおいい	お地域となる。 まい時事院は、おとるが通色されななやみらかは得けてして	的特色地域之对了,朱石区之气日流冲,由至京、太手护地域与法领游与分级	「ている」との表だによりは、日本にとっては事がでかったが、大ある。 ない変色を	方の言が一ではかつうなかいしてある。米は後なりはよりたにはかできのかをと	方三年、方田等は何此中のBATO、ANNAS、安以寺である時は何でである。	日本更高度了中内建了了了多

務

省

		يين بعد العالم								
	好でいます。		を少ちまである、 表張今張神し	意传与自然は解状まれるとろう。 いっちいは立事立文作日子的		すの排除してっているったられていいは日はかいされたとう		おる「多だとの手たんなっとしてあるから、あればとかきたとす	とまる我でおりたいまれてあ。他のお豆括炒低品にかとり	きたいなるいるのはかすれるあをしたたけでありとこるもれは
			一子好している。	以ったいは立ま	•	47年41日月年		そから、あれば上	妈村里摆炒	 となるであしと
外務			七倍者にゆは	文作日子的了		2		阵	ないなってもあっ	三小東では モンロ
省			程子は	をする		いろまれて	î aç	かまりは	老投で	四一元素

子至年,党等了童医视(2)了。(以下等天文记》作者的方,)	とながある。	の身件ででいこともできを手むしている、少まなろまをかってなませる	房室の見から上でまするでで、歌音的の問題である。行為場で方言人名	以至から行的時間とかを引き事る。行的時間とは了時間は行政	うまったででいるかないかはおも一方はころとう非然はなったいと思る。	方面等、米国かは事防治の教務を生すために其心をは用する事かあることか

答

	次のけん一つの内をかある。 みり枝やを持心内をななにはますつらち	de la	七次の行人が起下の後ろがは、ないに持之たっからと	ちたりからし、	なるし	のを感がよいことも動物している。 活しなからかなければなり	学男は多到は移けしなまっまであり、日本の事活、其の他の犯行は面で	
外務省	ななななはますつらちや		ってもないけるか			はかから続けませる	 学師、其の他の記行江南で	

おめ、双百事なをえずもっとくてなりをり成してのろうとう	とうこう問題うなが会けにとかけれたやかがあった。) ピダーつう問題う	とるるなをすれる(こはオスサレスードでは上げるが、きょうとうなは	までまい、西外でちは国か神底のなから方の長地の使用をであてなかす。	日本日神に協力は行ふか、日本考心を行見ないは中す込みはは様人	軍以回する基地を使用されるとは多点です、日本外の法軍には客がある	我的原了一下事。在公下任、日本的号传在至午九八日本的排出

济

	Constitution of the second					
のうなはははない内してははまりはまときはすりますがないとちろ	からうりなは かきすきにがちまたのれ我はは用いてするです。此	はする時ははか通りとするる時でちまはせまている。	さるなは使っていかい。おきは枝ををませれて了るである。枝をないかん	一年紀十十年子子子を持ちるりを抽りてわなることは生まれいで枝色芸を	かって大は我与ないりするかかる。よみではるややなと我やなとを打し	もできんかり

サイト しまない リンコー・アンス	•
はつく ついと かん ここんこ ゴンチント ある。	
形でかけりるかようのでいてある。 とうかはりはかろ 会はちまと	
ゆうどうそううらは事後上うかゆくて得るなるいは書きとろう 北京	
んなない	
いりなりまるは今をははなならえるがいすることをなくている	
あり、古国住とり神殿路力と出帝にをあるしている。	
はないまするうであるとろることはなりまたりかしてもないかられているいり	
了解心中ま了了。安尼图的佛师了了方部的对方信的由于自身的	

. . 務

外

株今に一件お発了るもことあり、一九世年十世十分刑事我教徒に何す	何到中山十多三个时上了行了了。 高福水的重要的经过少	まコンマームするをあるすると、どの持ついかはまだったかです。	おとははからかまではないはでかしているがあのは上ろに対して	的の好像とは直接関係が、然を労働的のはなりまれたまするで	女はられるはられていく、千年後なとだびって、ナナカである、おは彼	日はしますつ、一九三しみたりしの古にアチン豆ろらその同なかある。と

省

務

		Otoriani Con		TO REPORT STORE CONTRACT			
ことでする時です。気がよりはを見るかなすがなけなり、若し中ま	である。又清華你也其不是公表することというにははいりにする		は、若したるどいして見まないなう地がかなってあるで、又かれず水外	軍路已经以倒事上再次部合的成分方面及日下出去中的法比特的意情了	なうちゃのことで見送うれるを持ちり、米かくては上記はけずあがは在	る更多が代体でよう。いずのはなるようははらっちにあれれからる	い科書をある合意属すけるといり事的は我なな、我把花之行便を後

務...

				100-200-State-18-21 <sub>00</sub>		
部村的一部(	るすなりとはつまり言っている。ちゅう気にひは、半季の内教しあり、	妻がの時間がでしてもでいる。風彩なてしばそうおいらくをすいるけ	子なりみの外人のおりでとあり、又多辞者にかてしりは	きはなけらりはを保持の可愛なり、よりはちななりしかいました	本日の公法、我南与松山如何的的智可是 以明音中之中上一大	りはせなが到いてある。

務

					T. A. T.						<b>1</b> .
外 務 省	夏今時の連ら方としては、我工程を活の追していて事務当るに研える	ころうとしまるでは、することである。	地言と男力を治了。大は日本的、初日時力、理的と信根、持续也多	の地 年季のは人ろコメントするとは美校えなし、ちけいもずちゆう		我をりなしてとのあるを外もいたあすることとして。)	(V)	教会で今後の追与力を行ない、又的からな会議が接供しれる	つゆきノ	(別なれに付ける大学、学等がは一般かとしたりを今日は1回の	一出所動の重要する

はなくないがからないのではないますないのであるにいるがあるないのでのとうないののとうないのとはできなっているであるはないままないのであるないというないまないますのとうないとうないというないまないますのというないままないというないますないますのというないまますのというないというないというないというないというないというないというないというな	程又以下心水水度して世子子方花色子、高、高子院等多点

務

務

Commence of the Commence of th											
STREET, STREET											٤
TO THE OWNER OF THE OWNER.											とりからを活
WAS SERVICED AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE						art .	Carl States and	: .			Sulf
- DOMESTICAL											を
STREET, AS											
	ŧ									•	おちれた。
											yh.
The state of the s											12
Sales Services										. ,	
- Contraction	,										
at the factor of the last						·:					
THE REAL PROPERTY.		-									
Service Contract			·.	_							
A STATE OF THE PARTY OF THE PAR							-				
							b.				
Name of Party and Party an	٠						4		.,		
										٠.	

Prime Minister Kishi and Foreign Minister Fujiyama met with Ambassador MacArthur today. The meeting was pursuant to the agreement reached in Washington between Foreign Minister Fujiyama and Secretary Dulles that following Foreign Minister Fujiyama's return to Tokyo, the present security arrangements between Japan and the United States would be re-examined through diplomatic channels with a view to adjusting them on a basis entirely consistent with the new era in relations between the two countries affirmed between Prime Minister Kishi and President Eisenhower in the Joint Communique of July 22, 1957.

The discussions today involved a preliminary exchange of views on premit preclaim, including with regard to the possibility of replacing the present security treaty with a new security treaty. Consideration was also given to arrangements for continuing the discussions on this subject. It was agreed that there would be further meetings in the coming weeks to discuss these matter in greater detail.

This included a never of discussions on with the the total of the Dolle in Washington

# SECRET

## Formula

United States has the use of certain bases in Japan. The deployment of United States forces and their equipment into bases in Japan and the operational use of these bases in an emergency would be a matter for joint consultation by the Japanese Government and the United States Government in the light of circumstances prevailing at the time.

学年了一天对一个女子的一个女子。 路子 拉来了。

> 対信息に 163Mに脱BM いきつテナゴイ 化ら主管局 でしている型 まが = 放ぶをLik-7imので※ i制毛へ及ハスこ

(主山下江十二十一支村

# SÉCRET

DRAFT TREATY OF MUTUAL COOPERATION AND SECURITY BETWEEN JAPAN AND THE UNITED STATES OF AMERICA

# PREAMBLE

Japan and the United States of America

Desiring to strengthen the bonds of peace and friendship traditionally existing between them, and to uphold the principles of democracy, individual liberty, and the rule of law,

Desiring further to encourage closer economic cooperation between them and to promote conditions of stability and economic well being in their countries and in the Pacific area,

Reaffirming their faith in the purposes and principles of the Charter of the United Nations, and their desire to live in peace with all peoples and all governments,

Recognizing their inherent right of individual or collective self defense as affirmed in the Charter of the United Nations,

Having resolved to conclude a treaty of mutual cooperation and security,

Therefore agree as follows:

#### ARTICLE I

The Parties undertake, as set forth in the Charter of the
United Nations, to settle any international disputes in which they
may be involved by peaceful means in such a manner that international
peace and security and justice are not endangered and to refrain in

# SECRET -2-

their international relations from the threat or use of force against the territorial integrity or political independence of any state, or in any other manner inconsistent with the purposes of the United Nations.

## ARTICLE II

The Parties will contribute toward the further development of peaceful and friendly international relations by strengthening their free institutions, by bringing about a better understanding of the principles upon which these institutions are founded, and by promoting conditions of stability and well being. They will seek to eliminate conflict in their international economic policies and will encourage economic collaboration between them, including economic cooperation with other friendly and like-minded countries in the Pacific area.

#### ARTICLE III

In order more effectively to achieve the objectives of this Treaty, the Parties, separately and jointly, by means of continuous and effective self-help and mutual aid will maintain and develop their individual and collective capacity to resist armed attack and to prevent and counter subversive activities directed from without against their territorial integrity and political stability.

SECRET -3-

#### ARTICLE IV

The Parties will consult together regarding the implementation of this Treaty and whenever in the opinion of either of them the territorial integrity, political independence, or security of either of them is threatened in the Pacific

#### ARTICLE V

Each Party recognizes that an armed attack in the Pacific directed against the territories or areas under the administrative control of the other Party would be dangerous to its own peace and safety and declares that it would act to meet the common danger in accordance with its constitutional processes.

Any such armed attack and all measures taken as a result thereof shall be immediately reported to the Security Council of the United Nations. Such measures shall be terminated when the Security Council has taken the measures necessary to restore and maintain international peace and security.

#### ARTICLE VI

In furtherance of the objectives of this Treaty, the United States has the use of certain bases in Japan. With respect to the use of these bases and the status of United States Forces in Japan, the Administrative Agreement signed at Tokyo on February 28, 1952 as amended, shall continue in force.

# SECRET -4-

## ARTICLE VII

This Treaty does not affect and shall not be interpreted as affecting in any way the rights and obligations of the Parties under the Charter of the United Nations or the responsibility of the United Nations for the maintenance of international peace and security.

#### ARTICLE VIII

This Treaty shall be ratified by the United States of America and Japan in accordance with their respective constitutional processes and will enter into force when the instruments of ratification thereof have been exchanged by them in Tokyo.

# ARTICLE IX

The Security Treaty between Japan and the United States shall expire upon the entering into force of this Treaty.

#### ARTICLE X

This Treaty shall remaininforce indefinitely. However, after the Treaty has been in force for 10 years either party may terminate it one year after notice has been given to the other party.

٤

共

VC

羖

方

بح

τ

\$

自

5

贙

任

Ě

負

う

べ

È

ح

لح

は

連

W

~

果

す

B

Ø

る

自

È

灦

翼

SHOUL よりをまた 子がん

奎

改

め

て

我

方

0

İ

主

性

٤

H

米

Ø

双

杨

性

M

文

閥

世

る

粂

約

劉

係

VC.

李

る

圍

阅

係

を

Œ

定

性

٤

侰

類

性

为

る

蘊

遊

IC

置

<

見

地

1

b

现

行

安

保

夈

約

4

Ø

安

全

保

避

割

聚

交

键

K

恢

る

我

方

Ø

考

方

は

H

米

炭

全

保

安 全 保 蹲 整 VC 网 す る

擾

主 取 前 す と 性 云 る 付 VC لح け 窗. 灩 ゥ 双 ح る 龤 務 騎 ک 世 湰 ٤ 性 ځ し 食 7 0 め は あ 見 る L Ŋ 孌 地 Z)i ح 矽 1 ٤ 具 主 ٤ b た 体 (m) る L 在 的 H 総 W K 理 心 44 米 は は 器 核 鱼 て 兵 0 (1) 器 粂 H. あ 在 約 存 本 H つ た 込 上 地 米 米 չ IC 域 簠 画 圆 外 思 VC 0 わ 健 L 対 罿 1 何 用 L 任 る 缀 VC H ٥ Ż X)> 付 本 明 Ø 我 防 丽 7 記 方 L 篽 す て 解 یے VC

= Q 木 米 保

Z کے 阴 IC 3 Ø I 然 次 þ K 我 方 0 慈 本 的

K 按 H 本 法 iC. 蜓 触 中 は る 相 互 援 助 粂 約

٤

現 4 n

米 饠 仗 H 本 法 MC 世 触 世 T る 相 耳 授 跋 粂 約 K 於 T

H 本 儩 0 證 \* 光 盧 K 入 16 ð 7 共 遻 K 極 東 金 般 Ø 安 金

於 T 隅 躩 2 左 る 0 4) 豑 H 夈 K 於 T 摄 助 繈 務 笳 勵 Ø 恢 錬 九 る

脚

靅

K

応

C

る

6

0

٤

圣

示

越

L

7

ZÓZ

右

苽

雠 墟 畿 0 粂 约 域 查 H 本 本 土 神 小 甡 厭 \* 及 X 太

用 \* Ø 米 W 質 ± る ٤ 1 共 ٣, C M 3 颱 风 D 櫁 及 U C 於 (m) T 第 大 狭 夈 0 C 於 夈 ~ 米 批 域 簠 0 Ħ K 本

地 0 之 \* 作 IC 用 \*

黑

前

協

翻

奎

規

定

L

7

Va

る

点

O

点

~

B

る

狭 縫 Ø 粂 約 地 域 Ø

問 題

(1) 米 革 粱 K 於 T 太 椞 洋 地 域 Ø

米

餌

土

\_\_

ŽŽ.

含

変

n

て

Va

る

点。

は

倒

は

•

H

本

糭

助

0

粂

点

૮

思

わ

n

務

相 互 綬 助 Ø 窟 前 1 b す n ば 当 然 で あ

b 米

約 L Ø 繈 務 を 儉 9 ح ځ K 見 合 9 P Ø ٤ L て 鸖 り 鏠 Š

る 0 此 Ø 閥 變 は 相 Ħ 變 助 0 形 奎 鐅 る 闥 題 C 為 つ 7 掇 肋 轛

Ø 内 容 如 何 K 拘 6 左 M

(m) 此 0 点 K 関 L 米 ď. 寒 置 HÝ K H 本 VC 期 符 す る \$ Ø は 槛 地

供

与 T 8 る 办 狭 鑙 Ø 夈 約 坳 域 L b 太 ¥ 绺 地 域 0 米 饡 土 · \* 除 ŧ

0 H 本 鑁 助 磁 務 ٢ H 本 0 燕 地 供 与 坳 衡 \* 3 کے 0 灣 方 粋

3 1

比 1 2 0 Ø 的 瀚 要 使 翻 用 粂 方 K 地 W 約 0 ~ 反 戲 Ł K 米 は T 於 個 酷 H H Ø は T 被 る 慈 成 米 かさ H 本 立 翻 本 的 た Æ 跟 蕸 Ø 太 4 ĤĴ 基 慶 M æ 妣 口 ٢ 供 右 為 思 与 7 H) わ T Ø 7

٤

云

٤

C

は

Ħ

主

姓

考

方

は

尠

<

ځ

作

戦

均

籋

L

得

る

P

問

盟

T

B

為

b

(20) 云 • 從 1 7 由 叉 本 灶 伽 新 K 於 夈 約 7 K 藗 1 法 Ŀ 7 ~ 樂 H 团 本 的 à n 水 新 る Ť 檶

H

本

Y/A

W

挖

込

#

8

H

能

性

水

増

九

٢

云

Ì

囙

H

鏹

け

\*

纞

粉

Ż

台

7

た

赭

果

XX

認

炒

5

n

72

Va

٤

n

H

文

M

논

太

247

地

城

**(**)

米

饠

+

(=)

7 得 左 M ځ す n ば 米 0 搵 助 磁 為 \* 遗 常 Ø 相 耳 攪 助

粂

約

镊 合 Y ħ Ŗ 嬰 Va ቆ Ø £ 世 T る Ž 得 本 VA ዾ 思 わ れ る

神 纖 小 쑢 原 Ť 含 B る ~ 含 \* 否 P ŽΪ 内

て

趱

龤

ä

22

て

W.

る

Ž,

之 奎 含 め る ۲ ٤ は 黑 然 7 必 る ٤ 考 る

広 蘳 Ø 粂 約 抽 域 Ø 問 圝

(1) 米 趇 寂 館 六 夈 T 頭 0 蔱 珥 红 明 确 老

欠

<

ŽŽ.

+

A

六

H

0

先

方

Ø

现

駾 阴 VC I \*1 H 右 は 米 H Ži: 駐 翻 Ø 橀 利 查 Ŀ. ^ 6 n る ح 云 ð 殺

奎 避 け つ 7 • H 本 C 蘣 图 寸 る 米 重 过 • H 本 Ø 访 衡 K 褣 ij \* る 0

3 な 5 3 極 東 0 平 和 ح 安 全 K W 与 子 る 為 B 便 厢 3 n る ઢ Ø な る

窊 缺 登 含 め る 鼤 量 7 岛 る ک ح χs 明 6 Ż K 江 7 た ٥ 此 Ø 热 付 H

間 0 安 金 保 鹽 XX. 癥 取 0 般 的 安 全 保 避 0 骤 九 Z 酄 寒 I b 米

米

12

C ٢ I b て 何 Z) Ø 形 ~ 粂 約 Ŀ 朔 6 χ'n K L T 盤

过

Z

全

必

選

0

件

2

义

我

方

爽

螱

的

K

Ż

を

拒

F

理

由

Z)S

<

~

È

B る

3 ð ٤ ٢ YA. H 条 約 0 彩 Ŀ 相 其 ~ I K 方 於 Ø 撄 Ł . \$ 助 T 斯 8 0 蔨 3 8 脇 整 di. 駐 館 H \* 本 既 駐 \* U 觀 留 K 徽 亡 柏 D Ø る 認 利 為 必 7 台 め る ځ 務 Ħ ~ 91 江 関 بخ 均 係 Ø K 衡 0 米 依 ż 坳 重 b 失 衡 盘 殺 \* W. 方 3 为 奎 0  $\boldsymbol{\mathcal{Z}}$ 3 認 将 ځ 数 0 く ٤ る 2 4 ŧ 為

Z,

别 利 ع 盆 は 我 極 東 O Ė 集 御 团 力 爱 0 金 现 保 状 鱍 IC 0 避 み 璬 直 と 袋 H L T 本 妨 0 京 饠 图 K 米 審 簠 与 0 ナ 抑 る 儬 点

カ

H

K 為 ح 批 + 使 ~ B 7 B 尚 헲 22 H IC Ł 面 ¥ 整 戦 櫑 K 澉 奎 器 及 壮 PF. L \* À 危 険 3 Ø \* B

þ

双 方 0 関 IC. 均 御 XX 存 す ð 去 疆 ~ る 7 為 ろ

前 肥 == (m) K 汯 ~ 72 猫 b 米 Ø H 本 防 徽 齺 務 ح H 本 Ø 基 地

与 T は 誑 は 成 VZ. 75 九 Va ٤ 恩 b H ð X). 何 れ K 步 ょ 現 行 条。 約

め 他 T 方 米 方 K IC H 於 本 T 防 푠 H 衡 米 0 幽 翼 Ø 游 \* 域 負 外 d 使 4 用 1 K 9 癥 ٢ 前 す 協 ð だ Ø け 夈 て 件 は \*

所 翻 自 === 性 0 Ą IC 渽 7 7 双 務 性 全 欠 含 舆 綴 冏 驑 ع L T 变 涨

Ø

뙗

\*

供

成 立 は 团 離 ~ 為 3 ø

U L 0 豁 点 K 鹼 Ą 先 7 헶 記 === 0 H) 及 U (12) K 付 米 個 Ø 鄜 废 奎

笶

B る Ł る

Ŀ D 共 C H 0 44 及 K (=) N 関 羖 方 O 腿 界 を 决 N 必 婴 Y.

Ø 0 九 Ø

右 -(1) 及 C 4 Ż. n 勴 Z) 此

六 恢 K 夈 巍 何 は ځ 簭 剧 L X) 疵 て Ø 懋 实 M 鰫 碘 紙 六 怒 幣 夈 簱 þ Ø H Ł 袋 如 塔 å Ø 费 如 沈 飄 古 H يخ B n L ば Ø T は 左 如 11 5 如 何 な Ž. 何 Va JA. 上 Ż, 考 ح 考 其 Ø 6 场 6 n

n

る

る

0

叉

鹒

合

我

方

Ø

め 夈 IC 其 H Ø 本 L 楊 7 爱 法 合 は 太 米 IC W 銋 饠 郑 提 触 奎 粱 \* 四 8 0 太 る 如 ZIT < 桕 淋 米 I 撥 IC 数 鰕 助 め 土 粂 3 \* 約 狭 Z ځ ٢ \* Ø Ø 考 粂 繖 麙 緪 す 土 方 る 1 域 K þ 含

後

0

交

涨

0

基

碰

Ł

\*

3

2

7

**%** 

巓

当

7

為

3

ح

風

b

n

S

他

面

刑

絍

以

T

其

鹪

Ħ

分 Ø 睭 汝 7 雏 7 H 決 Va X L T 湖 現 存 足 す \* る ~ 豁 È 8 飿 約 0 Ø 7 F 文 < K 放 \* T 又 T 米 蠒 倒 **Y** K 逝 応 \* \* た 3 现 \$ 方 否 当 P 4 面

策たり得るものと思われる。

心

癥

項

\*

応

取

义

れ

T

VA

3

Ø

٤

7

覭

段

馏

VC

於

H

る

解

決

紙

쇯 五 樂 Ħ 本 Ø 蟹 士 叉 过 XV. Ħ 籴 絢 館 -条 IC 规 定 at a n た 地

域

K

H

妏 L T 1 密 do. 1 武 力 IC I ð 政 鑑 N. 行 炷 n 1 朅 4 K I 两 当 礟

は 相 H K 協 力 す 3 7 یے 奎 約 L X 7 劝 果 的 K 攤 麒 K 按 処 ナ る た

논 \* 頂 略

D

廚

H

搬

法

0

戰

盟

内

Æ

於

T

必

婴

ځ

認

め

る

奎

執

る

簱 六 粂 餔 籴 Ø H 的 登 鑑 成 ナ 3 た め 並 TK IC 極 ||

東

Ø

24

和

ح

Œ

金

ح

Æ 裿 る た 必 合 衆 は 两 政 府 周 Ø 湓 KC I þ 淀 为 3 ٢

IC 従 緞 H Ø 鹽 N 4 鬉 及 XX 滋 軍 0 軍 歐 \* H 本 内 及 X

Ø 近 IC 配 \* 3 2 논 X)× T \* 3 \* 0 ٤ 4 3

前 選 歐 0 H X. 内 及 V t 0 附 近 C tr 3

離 Ħ 本 X 域 4 0 府 覹 闔 闖 行 0 政 0 定 X Ø H 央 本 定 \* 坳 Ø

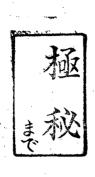
作

的

用

び核兵器持込に関する米伽フォーミニニ

ブる



安保条約改正試案の問題点

此

和

 $\bigcirc$ 

七

米

多 传统 条 型 正 服 等 Q 用 具 人

、新条約の名称及び前文

本 件 検 討 Ø 72 Ø Ø 資 料 ٤ L て 当 面 Ø 所 見 左 0 ح \* り

治 Š 否 新 条 Ŕ 経 H 済 約 极 関 ぞ 本 係 軍 方 圣 江 \$ ð 針 安 Ø 包 閩 含 全 韻 妆 保 て 腏 8 広 あ Ø 8 况 K ХÌХ 係 本 面 Ø 新 K 办 条 盐 K 斑 約 H I る 定 S 紿 せ す 合 XŽ, 찯 T る 明 H 形 6 米 式 叫 Ż 田 を **VC** ح ナ Ø 488 る る 政

る Ø て 試 案 Ø ح ح Ż \* え 方 は 娶 当 て あ る と 思 ゎ n る

粉

合

IC.

步

Va

て

Ŕ

今

後

K

¥

H

5

阿

H

Ø

基

本

関

係

奎

象

徼

す

ð

ح

ح

と

ን<u>ተ</u>

前 文 鄉 典 冒 頭 H H 米 間 友 好 道 商 航 薻 粂 約 前 文 8 頭 ح 同

趣

旨

後 段 民 主 主 錈 Ø 原 則 以 F Ø 点 IC つ VA 7. I 3 北 大 西 洋 条 約 前 文 鄭

項 չ 同 文 て あ 3 XX. 四 欧 的 覾 念 Ż. 強 < 出 す È て S 3 ځ 0 H 纔 を

第 同 あ 様 第 ح 条 Ø Ø

種 粂 約 VC 共 通 0 Ġ Ø で 為 Ŋ 間 題 は な S

る 条 Ż. - **%** ح Ø 殿 癥 法 解 釈 を 明 確 化 す る 必 要 di. ð る

第 項 集 団 的 自 衛 0 個 有 Ø 檶 利 ż 製 め Ø 点 I 癥 法

上

Ø

閱

題

χķ

H

る

洋 条 約 錦 樂 第

項

ح

间

文

て

あ

り

内

容

が地に

は

差

支

久

な

L

と

認

Ø

垭

由

M

I

Ŋ

考

圣

要

す

ð

0

第

項

な

末

尾

奎

除

Š

北

大

西

項

KI.

北

大

西

洋

条

約

館

粂

第

項

ح

同

文

て

8

る

Ŋ,

前

文

૮

74

5

n

ð

第 Ξ 条

前 閔 红 北 大 29 洋 条 約 第 <u>=</u> 粂 ح 同 文 そ Ø 他 条 約 VC P 同 趣 旨

あ

Ŋ 後 段 を 含 Ø 全 体 と L て 罺 南 7 ジ 7 築 团 防 衢 粂 約 第 条 ح 同 文

但 L 後 践 江 共 童 主 鉄 0 夏 透 工 作 Ø 坟 抗 撒 置 K 関 L て Ø 協 力 を 約

す る ح ځ ح 左 る 点 40 岩 S て 現 行 粂 約 Ø 内 乱 条 塢 以 上 Ø 広

Ħ

な

虃

趺 を Ŗ つ ح ٤ ح 太 Ŋ 讖 Ø 岛 る と ح ろ ح 考 允 5 n る

五第四条

餔 段 I . \* 朱 約 実 施 K N す る 豳 て ð Ŋ ح Ø 毽 規 定 は 必 要 て

Š

් ර

畿 段 は \* ۲ Ø 槿 条 約 VC 共 通 Ø \$ Ø て あ る

米 軍 Ø H 本 基 地 Ø 便 用 Ø 闊 ð Ŋ (a ず 12 Ž). Ø 絀 約 Ø

安 全 XX. 裔 Z)A さ n て 5 る ح 認 め る ٤ ä ti 5 て Ø 点 は

3

H

Ż

敵

汝

行

\*

K

Ī

à

Z

ŧ

11

)

8

ح

٤

あ

る

切

Ø

朅

合

IC

豳

用

為

る

ľ

n

**&** 

第 五 夈

7 解 3 る B で 杏 b. 與 彩 Ť 要 す る Ø と 觐 Ø 5

本 条 第 H 邈 六 条 及 K 付 I 新 粂 約 0 梭 心 を 太

て d る

第 項 K つ Va て 红 (1) 前 文 K つ 5 て 述 べ た H 本 χį. ଚ 法 上 集 团 \*\*\* 的

自 衛 橀 圣 有 \* ð Ż Ø 間 顯 あ Ŋ (H) 自 围 Ø 癥 法 上 0 手 絖 K 從 VA

Ø 点 II ح 0 齟 籴 約 K M 例 用 S 6 n て Va る 字 旬 て あ る Z); • Ħ 本

嶽

\_\_

法 Ø 制 約 峑 留 保 す る B Ø ٤ L て は 不 + 分 て II. あ る と 認 め 5 n (4)

共 Ť 通 1 て 0 H 危 本 鮻 饀 KC 域 校 91 処 0 す 軍 8 蚕 た 授 Ø 助 行 X)\( \( \) 動 不 す 可 る 能 ٤ ٤ ナ 北 は 日 本 そ 癥 n 法 以 Ø 外 制 Ø 約 方 F 法 1C

K L ð 援 助 验 子 想 \* る Ż, な ع Ø 問 題 圣 生 ず る

な 5 VC. 以 Ŀ Ø 諧 点 Ø 旺 Ŋ, 本 質 的 K 本 武 I 条

لح 危 ٤ 約 0 Á は 險 鱁 L 0 M フ K 齑 懲 務 S 佽 KC 4 用 六 は ٠, Ė D Ŀ 粂 7 y 拘 基 基 3 批 っ 5 地 \* 3 た 健 ン Ø 健 で 用 势 地 用 行 为 以 本 竣 Ż. 趣 3 外 粂 O 罺 す żż 約 概 仮 亜 る Ø 9. 念 全 試 ٤ 才 IC 奎 城 案 麦 べ £ 生 を 瑰 液 I ず る ラ ح 冬 テ ځ る 象 含 n 1 L ٤ <u> </u> tr ザ て L (EZ) 鎺 バ Ż 8 夈 て 案 À 9 1 実 約 Va 8 3 質 地 る ŀ Ø 条 ځ 的 城 点 (1) 項 Ż. L IC K K 鄉 を て I 古 約 址 六 戳 酱 け 5 地 粂 H 共 無 る て 域

**(2)** 遻 予 助 趣 鏺 L 務 て V 基 る 地 Ž, 健 WC. 用 Ġ 解 X); 2 発 n 動 る 0 す る (4) と 本 す 鯔 n źŻ は 政 繼 東 3 亜 'n WC た 勮 お 5 合 て 日 米 本

る

չ

0

考

允

方

IC

立

つ

ď

0

ح

思

か

n

. 0

ŧ

た

松

来

鰵

法

数

正

**(**)

可

能

性

쾿

あ

る

ک

齑

KC

日

本

夈

Ø

H

本 を a 相 自 手 働. ح 的 7 K ð 敞 敵 争 恢 K 行 蓝 為 办 Š 直 ۲ Ŧ 挼 的 12 る KC 神 ح Ø 糲 批 基 判 坳 を K 生 つ ず な る XX. る 但 関 L 係 ۲ 上 Ø

題 di. あ 3 ٤ 思 わ \*1 3 0 は

他

Ø

方

式

を

ح

8

墈

合

ĕ

多

Ŋ,

n

Ď

12

间

様

て

à

る

0

0

な

ど

Ø

問

点

日

**少**一

本 試 粱 ځ 異 る 万 太 Ø 例 II 左 Ø と ح ð B Ø ځ 考 兔 5 n る

た 別 米 Ø 個 み Ø 考 な Ź 5 **۳** 方 1/C I 極 n 東 ば • Ø 安 H 全 本 \_\_\_ IC Ø 駐 屯 75 Ø す な 3 る 米 鲴 ح ح は は 単 明 VC 5 H ゕ 本 で 防 あ 衛 る 0

定 從 Ø 7 て 条 H 件 本 下 飷 VC 域 日 ۳ ځ 本 在 質 H 米 域 外 單 Ø ح 行 Ø 勤 相 Ħ. 基 防 地 衛 使 を 用 規 定 L Ť 認 Ø 在 H る O 米 箪 ۲ Ø IC 揭

合 相 耳 援 助 Ø 概 念 IJ. 著 る L < 歪 曲 な n る ح ح ح な る ΧŅŽ 癥 法 上 0

約 下 K \* 1 て H 本 Ø な L Ĵ る ۲ ح な 顀 域 内 K 本 け ð 自 衛 行

制

C

否 定 ろ ŧ Ø + 计 Y. 米 涯 る 軍 は る Ż H ح Ø H ri T 本 ځ H 米 ď. 本 黛 Ø 0 لح 防 客 考 IC. ح 与 兔 衡 基 ろ Ż. 5 截 地 明 基 n 務 餕 地 6 3 KC 用 見 使 Ż 圣 て 合 用 但 許 以 L 左 5 す Ż, 外 Va ح 実 Ž Ø と る ح 質 で 考 L 的 あ 2 7 童 b 方 珠 基 Ł 地 左 本 米 使 L 弒 倁 用 案 ٤ XX. を す 第 n 五 ば 括 条 す L 館 る T 段 t 規 K

考 K を 生 す つ ۲ 兔 7 6 2 Ø (0 n T ٤ る 举 Ö O \$ a Ż. 巢 万 礟 万 文 別 鼬 K 峑 Ž. 安 ح Ø ح L 角 華 全 8 て 废 純 保 器 I 化 圙 X)A 合 6 す Ø 見 神 Ø る 帲 纖 批 坳 纖 水 判 及 L Ø 攻 奎 Ż み XX 盤 生 L I 小 ず \* な b 笠 9 ď. 原 ŏ 5 时 て 5 兔 奎 た 态 冲 d 1 墈 ろ \* 飌 ᄷ 合 奎 ح 9 K 切 Ø す H 従 Ŋ 地 る 本 魕 つ 城 Ž. H て す 奎 Ø そ 切 2 間

Ħ

H

志

IC

1

b

X

癥

法

Ø

範

囲

内

K

士

Va

7

ح

れ

Ż.

防

衡

IC

Ø

応

と

b

圝

本 る 粂 ぱ ح 約 案 ځ 中 雞 Ż. K 五 考 跩 条 土 Z 後 5 n 段 n る は ð 上 ح ح 述 Ø

ø: 適 点 当 D. T **13** Ż, à る な る 形 式 な る χ'n K 掏

٤

5

世 第 六 粂

B 嬮 域 主 7 K 冒 b n 盐 皷 K ð H 本 b ح 8 桩 ځ 相 粂 銀 ح 互 約 援 的 在~ Ø 麦 る 助 B 現 奎 的 て 意 ح 奎 あ Š 妹 助 Ŋ 解 す 長 さ 3 す ٤ 춫 n る た ŏ す 72 ۲ Ż, n 8 Ø ば 、点 ح は K 0 基 つ I 地 第 便 Ĵ 5 五 7 VC 用 楽 Ø 腿 H ·Ø 基 局 明 前 地 す 5 段 使 る 条 **A** 用 K K 約

舆

す

る

口

醧

訛

明

II

Á

Ż

る

制

腿

Ť

意

凶

3

ð

ষ্ঠ

0

٤

解

5

\*L

な

X)

つ

た

K

I

樃

地

Va

\*

n

WC.

世

I

۲

Ø

点

は

付

属

文

鬱

と

舆

連

す

ð

0

付

風

文

灎

KC

I

n

は

な 授 助 ž 71 す ح と Ż) あ 3 ૮ Ø 趣 旨 **(**) な ん 6 χ'n Ø. 肜 式 Ø 項 を 設 H

0

基 地 偰 用 は 殩 急 魯 魖 K 生 H る 作 躞 篼 用 Ø 場 合 **(2)** 头 協 羉 す る と な

て お Ŋ 4 5 K 末 尾 Ø 字 句 歪 5 À VC 解 す く 8 Ŋ, 0 問 題 があ 3 0

吏

つ

た 基 地 Ø 呼 称 は 行 政 觞 定 KC **\*** 3 て 特 VC ح n を 避 け 。施 設

と L た ح ۲ 及 V 本 文 中 K 盘 兵 Ø 規 定 な Š ح ح H る 5 K ₩. 究 を 燛

す

る 0 施 設 Ø 性 格 II 行 政 脇 定 改 Œ Ø 鍛 殿 Ġ H 要 な 問 題 Ł な る 0

ح **(**) 쯿 確 N す る 方 法 を ح 8 ح ٤ Z)S 壑 吏 L N

右

KC

関

連

L

吉

田

7

チ

**y**.

ン

交

換

公

文

は

そ

0

内

容

及

٦X

効

力

æ

さ 5 IC 米 翼 Ø 配 -備 K 以 L 7 I 明 5 χ'n. K H 本 I ŋ H 外 ~

Ø

授

助

奎 除 外 L て 3 る が ح n I 従 来 Ø 経 霉 I . b み て 米 僶 ځ L て は 鑩 Ŋ

えないところであろう。

装 備 K 関 す ð 盛 誸 I 核 兵 Ø 办 KC 嬮 定 す べ Š χ'n **(**) 間 瓥 Ż. あ る

ح 閧 は 効 力 た 点 Z). 注 目 ਰ n ð

第

定 錢. Ø 間 圖 あ 8

七 条 第 八 粂 第 九 条

本

ŧ.

Ø

٤

考

£

n

ち 核 兵 器 W 為 5 さ 戦 略 兵 器 Ø 問 魕 Ż. 梭

兵

1

つでくん 等争长 出る大次官 半天了

る

ح

ટ

Ł

T

0

爩

^

万

IC

る

٤

۲

ታ

Z

本

件

新

藥

約

忧

於

Va

T

H

¥

金

採

臟

K

\*

3

H

煍

双

方

O

爱

Œ

阴

礦

VC

日報

本米

的安

考全

へ保

方障

K

囟

す

Æ

約

K

7

Va

T

0

\* 連 0) 灩 A 黛 \* 2 鑁 0 助 関 櫾 艬 勘 盐 K 袋 規 約 K 9 撊 睽 Z Ħ \* 8 0 鑑 题 位 뾇 # O 燗

囲

M

な Z

2

2 意 峢 VC. +

爲 7 0 攒 彩 肠 ^ 方 勘 7). 1)5 桶 1 3 動 \* × ~ à 儞 11 被 政 \* 耀 校 ð P I 地 億 域 黧 U. 鐱 M 對 L \* -虁 \* Ñ, ð t E

O

H 神 超小 12 赋 西 太 ¥ 泮 O 衆 截 1 \* 西 太 Ą

二 Q

ħ. 米

櫾

優

的 震灰人族

化在る米間の軍隊、最給、航空

松

2、日本領土、沖縄小笠原、四太平洋の米

個

\*\*

4、日本領土

B

本

假

土

小

姓

躟

H \* Ø 防 循 並 T K 楹 双 0 Œ 採 蹬 的 變

在

欢

蠶

è

B

漱

M

糊

領せしめ得ることとする。

ð 米 五 X H 及 X 本 梭 地 兵 敓 以 粹 # 込 0 龖 に 殿 TT 2 B 為 \* D K 腁 H 上 本 糠 前 Mi. VC 惫 作 黝 的 3 K 餕

とする。

樂 約 鮫 Ø Ħ 獅 誃 醚 社 粂 慶 珥 躈 及 + U 华 協 Ł カ 缣 頲 U \* 後 置 < 年 ۲ 0 ٢ Ţ 告 灩 -C 鹰 鮗 -\$-T 8 10 4

る

ととする。

約 世 0 為 B 合 鬨 粪 Щ 会 \* 盤 < 2 ٢ -蠸 臌 \* 3 ø

尚

헯 R K 脳 迷 E 饠 \* 规 鍃 \* 7 粲 件 は h 现 行 行 胶 協 定 骶

7 但 L 撤 酸 鉄 0 M H . 現 17 T 政 協 定 O 雄 韵 \* 改 D

Ħ

D 衆 篮 IC. 葜 阗 键 周 老 必 る 産 齣 K 改 D る 2 ٤ \* 魔

20

0 门 共 **(2)** 鬪 100 Uf 微 終 体 Ħ 住 餰 選 1 世 L 1 飙 湖 雌 度 di D 徽 庁 3 2 整 2 馁 2 丝 す 臅 8 2 在 H 米 M 誉 刷

前記で写真を現に関する説明は別紙の通りである。

別 紙

H 米 間 O 安 全 保 瞳 取 爧 I 醢 鑾 H 本 0 G 獅 K 関 寸 る 部 分 ځ

全 鮫 Ø 安 狭 金 保 錢 0 朣 Ø 粂 部 約 分 地 Ø 域 闸 容 圈 舟 奎 含 後 t 看 6 Ø 広 ٤ 錢 な 0 6 A. 籴 約 る 地 仑 域 得 Ø な 間 Va

ø

U

極

東

る

前

\*

Ø

\*

狭 輚 O 条 的 妣 域 0 閱 趲 It 米 χX H 本 防 衢 0 き 慈 È 31 受 H 3

K b 傚 磁 我 務 方 光 動 は 之 0 籴 W. 件 見 ٤ 合 5 酸 猗 如 内 41 熔 沈 Ø る 題 磁 臘 蒶 **XX** 奎 瑟[ 3 る Ė 受 付 3 ゕ Ø 岡

题

0

(1) 鸋 務 発 動 0 夈 件

1 Ø 相 I £ 鑀 2 助 す 夈 3 約 Ø T Ž. 付 逍 61 授 C 助 為 뾾 る 務 Ż XX 発 本 動 丈 \* = 3 VC. 被 於 政 T 盤 対 H 級 本 を 相 XX 手 攻

膻

٤

鐅 Z 71 た 場 台 米 围 Ø 鑀 助 艫 蒶 ž(X 発 動 \* る K 対 羖 方 Ø 授 助

觞 発 勯 K W す る 24 つ 0 君 方 奎 溢 げ た ٥

홿 仕 被 政 盤 犮 2 を 西 太 平 猫 Ø 米 領 土 及 V 重 歐 艦 船

航

空

機

IC

拡

计

共

同

防

循

Ø

举

^

方

IC

鰴

L

TE

B

Ø

て

あ

つ

T

米 比 米 ァ ン ザ ス 条 約 K 見 6 n る Š Ø て ð る

B 第 は 神 織 小 笠 原 及 V. 四 太 來 净 K 於 H る 米 顀 土 ž 含 め

6

Ø

C

あ

b

米

-

と

L

7

は

H

本

防

衢

ح

云

う

祭

約

L

Ø

磁

鹨

る

\* 31 受 时 8 為 8 VC. は 仮 合 形 Ø F 0 办 7 4 米 鰕 1 Ø 部 全

含 B る ح ٤ 奎 샖 女 C 必 要 یے 寸 る 논 捌 簡 4 n 3

O. 簱 H 狭 盤 Ø 枀 約 地 揻 を H 本 及 XX 沖 鑩 小 笠 鳳 M 嬮 る 8

Ø

8 Y. \* 個 は 此 Ø 瀊 龖 C H 米 阅 0) 粨 互 授 助 答 受 入 れ 3

(m)

九

\$

0

7

は

L

得

3

3

ح

٤

ح

7

3

纖 蒶 内 容

我 方 0 磁 終

1

Z

Ł

は

米

儮

B

既

K

澉

知

L

T

#

D

從

M

我

方

Ø

쬻

務

内

熔

は

(A)

と

す

る

过 麼 法 的 飿 約 1 b T 凝 外 派 兵 It 含 Ċ \*

開 在 る Ø 冬 Zc. 5 Ť 我 方 Ø 楹 在 垂 楹 Ø 主 礰 色 颹 邀

う

観

£ 兔 n 左 1 0

Ż

疑

D 第 Щ は 狭 \* Ø 粂 約 地 域 奎 日 本 R 腏 る B Ø C • ح

12

7

は

桕

て

I 援 助 は 成 忆 た ず 义 我 方 Ø 自 连 性 0 婴 馩 K 8 反 す る 所

B る

以 Ŀ ίC 鑑 办 米 國 Ø H 本 防 衞 職 酚 を 熀 定 世 N ٤ す n KI

鄉

的

2

Ť 採 3 Ø 他 九 之 \* 採 b 得 4 る 楊 合 H 米 3 O 務 Ż 殱 捌

本 土 防 鰴 C I b 間 接 K 米 0 立 朅 E 有 利 VC す る ح と (H) 鹏

な粉 3 崖 DF 徽 (O) 基 地 供 与 (D) 橣 給 盛 力 鑏 XX 其 Ø 丰 た る B Ø

ti は 前 記 (1) 1 O Ö 攵 H D Ø 櫞 会 は 間 腳 左 ŧ P Ø ዾ

叡

P

بح

20

礼 る 又 ・は Á 0 朅 合 は 避 决 Ŀ 築 d 自 個 榴 ď. 認

6

B

6 n 3 P 否 \* Ø 題 題 K 1 L • 直 接 我 E 0 自 籋 Ø 益 岁 以 外 K

此 쑐 0 措 置 查 繳 b 得 3 P 4 \* \* 明 5 X)^ K L 置 < 盔 à b

尚 右 1 (0)0 繿 堆 供 ij. K 阅 L 7 H M 記 4) 1 0 B È 採 7 ~ 米

儭 土 \* 狭 鑫 0 条 約 嫩 城 K 含 的 る 橳 合 4 米 W は H 本 热 地 奎 米

ځ

館

觞

鼵

す

る

衡 土 防 衝 Ø 為 8 作 遯 的 VC 便 厢 \* 3 協 合 は 殺 方 靐

督 を 約 す る 用 Ħ あ Z ğ 0 0 如 L ø

広 丧 Ø 粂 約 地 域 Ø 間 麣 位 米 Ø 癒 廙 0 全 艐 的 Ŧ 全 保 證 活 動

0

方 が 如 何 K 協 נל す る Ż O 阀 爞 C あ 米 Ø O H 本 IC 於

け

配 (日 使 用 12 ガ 0 燕 地 供 身 補 脸 協 力 孌 Ø 闡 Щ Zď. à る

(1) 現 行 安 保 条 約 KC I 11 d 术 H は H 本 及 N 其 Ø 附 近 VC. 米 三 Ħ

戂 L 之 È 極 東 MC 授 H 3 B 巖 Ø ¥ 和 ٤ 安 金 0 繈 持 VC 睿 与. Ť ኤ

Ø K 使 用 L 得 る ح ٢ بے 壮 7 ~ 士 b 又 FF 年 大 月 Ø H 米 共 同

Ž -4 VC. r b 米 仗 米 缸 Ø H 本 KC 於 る け ٤ る 配 戂 **7** 及 τ X 使 M 用 る

(12) 新 粂 約 K 於 7 壮 右 老 承 継 す る ٢ 共 K

謑

行

可

館

九

ح

t

は

M

つ

7

\$

協

鸖

す

ح

C

な

1

1 H 本 地 城 以 4 Ø 職 行 為 0 益 Ø H 本 燕 地 老 1/2 쮏

Ú

K

使

用

る 曫 は H 本 D 府 2 酄 헮 IC 協 魕 叉

櫢 兵 持 込 K 7 Va ~ 仗 H \* 政 府 ٤ 羉 萷 VC 協

H

る

部

分

あ

b

表

現

KC

研

究

\*

要

す

る

0

安 保 条 約 改 正 試 案 Ø 問 題 点

(昭和三三 Q 四、 米叁)

新 条 約 Ø 名 称 及 Ŋ 前 文

新 条 約 を 崽 な る 安 全 保 障 Ø 関 係 Ø み KC 찙 定 せ ず 日 米 呵 国 Ø

治 経 済 関 係 を B 包 含 世 る 広 汎 な 面 K # け る 結 合 を 明 5 አ<u>ን</u> M す

Ż, 否 办 IT 根 本 方 針 Ø 問 題 で あ る ZŽŽ 新 条 約 I 5 **1**0 な る 形

大

を

と

る

る

政

ک ح

な

場 合 K 钛 V て 彭 今 後 KC \* H る 両 因 Ø 基 本 関 係 を 象 徵 す る ح

る Ø で 弒 案 Ø と ح Ž 考 兔 方 は 妥 当 て あ る ٤ 思 わ n る

前 文 第 項 冒 齀 H 日 米 間 友 好 通 商 航 海 夈 約 前 文 冒 飯 と 同 趣 旨

項 後 ح 段 同 民 文 主 て 主 あ 錢 る Ø Ş. 原 則 西 U H 欧 下 的 Ø 観 点 念 KC Ŋ. つ 強 Va < て 出 は す ğ 北 て 大 Va 西 る 洋 ح 条 0 約 印 前 象 文 第二 を 9

ح Ø 種

> 夈 約

K

共

通

Ø

Ø-

T

闆

顧

I

な

5

項 北 大 西 洋 条 約 第 条

頂

ح

同

文

T

杏

る

V.

前

文

٢

È

北

※大□

西

ح

矽

Ø 理 曲 K I b 考 圣 要 す 頂 H 末 尾 奎 除

檖

約 第 条 簈 頂 と 闻 文 て Æ ŋ 内 容 的 KC は 差 支 充 な L

5 12 る

 $\equiv$ 条

觤 睽 は 北 大 西 洋 条 約 第  $\equiv$ 籴 と 同 文 そ Ø 他 条 約 M ቆ 同 趣

旨

あ

後 段 ~ 含 D 全 体 ٤ L T 東 南 7 ~ **?** 7 集 団 防 衛 条 約 第 条 ዾ 闻

但 L 段 I 共 齑 主 錢 Ø 授 透 工 作 Ø 対 抗 措 置 K 関 て

Æ, 第

鯩

Ø

あ

る

と

ح

ろ

ځ

考

之

5

n

る

直

四 条

る

前

段

は

条

約

実

施

M

関

す

る

協

鑑

て

あ

り

ح

Ø

毽

規

定

は

必

後 段 II, ح Ø 種 条 約 K 共 通 Ø Ŕ Ø

て

あ

3

安 全 米 軍 źŻ 脅 Ø Ż H 本 さ 基 n τ 地 Va Ø 使 る ٤ 用 認 Ø 問 め 題 る ٤ あ ŧ ŋ I 5 1 つ 7 て Ŕ n χ'n 0 締 約 Ø 点 玉

国 9 7 Ż 敵 3 対 3 行 益 K 支 ŧ. 2 ŧ n る ŧ そ n あ る 切 Ø 合 K 齑 用 あ る r

B. T B Ŋ 表 現 考 を 要 す 3 Š Ø ح 認 め 5 n

力 を 約 す る ح ح と な る 点 C 本 b て 現 好 条 約 Ø 内 乱 条 項 Ø ح

接. 的 7 は な Va ż¢ そ n Ü 上 Ø 広 R な 意 味 を 8 つ ح ح ح な b ح

Ż

あ

て

要

は

米

Ø

# 第 五 夈

本 条 第 項 第 六 夈 及 K 付 属 文 鸖 は 新 条 約 Ø 該 心 圣 な す

て あ b 特 K 重 要 太 政 治 决 定 Ø 対 象 と な る 部 分 て あ

第 項 K つ 5 て I

(1)

現

在

0

鰵

法

解

釈

K

I

n

ば

日

本

は

集

团

的

Ł

有

L

な

Ł ح 左 ゔ て V る ø

(m) 自 国 Ø 緀 法 上 Ø 手 続 K 従 Va Ø 点 は ح Ø 種 条 約 KC

通

例

用

5 5 n て 3 る 字 句 て あ る Ż. 日 本 惫 法 Ø M を 留 保 す る B Ø

ح L T 口 不 + 分 で あ る ح 認 め 5 n る 0 但 L 米 側 は ح Ø 麦 現 K

て 不 + 分 太 朅 合 公 式 蠽 審 録 な E K て 補 足 す べ È で あ る ح Ø 考 乞

方 を 示 L る

て V

る Š

共 通 Ø 危 険 K 姣 処 す る た B 行 動 す ð と Ø 点 K 関 L て は

I 米 個 と L T は H 本 Ø 瘷 法 上 Ø 鯏 約 I b 実 質 的 授 助 I 期 待

T (A M ZÓZ. 新 粂 粒 相 互提 助约 型系 上於 る 龙等 め K は ۲ Ø 毽

条

項

L

弒

必 要 と À つ H 米 两 H **%** 少 < ح ¥ 糟 神 的 K 岡 盟 関 係 K 為 5 ح

ح K Ī 圣 九 米 徽 ナ は 3 Ł H Ø. 本 ٤ L Ø 瘷 T 法 重 改 要 視 正 Ø L 可 て 能 Va 性 る 及 ح V ح 神 を 繩 示 小 て 笠 Va 原 る 返

選

水

な

行 ゎ る. 萬 7 ځ ż 慮 L 条 約 Ž. 4 後 变 E È 要 世 J. L て 畏 期 K

た b H 舆 係 0 ۲ な る ğ ک と 圣 希 窐 L て 5 る \$ Ø と さ

城 \* 飽 対 方 象 ح H L 本 て 倁 VA I る þ Ø み ~ n H 広 斌 案 ૮ は 狭 盤 基 妣 Ø 粂 使 用 約 地 0 域 点 Ø K 概 お 念 M 圣 T 生 東 亜 全

5 かる

ح ح と ጵ b Ż 共 通 Ø 危 險 IC 対 処 す る た め 行 動 す る

٤

Ø 裘 現 H 通 常 交 戦 状 繐 K 入 る B Ø ح さ n 办 b K 丧 現 は 僿

正 冰 可 能 ۲ L て B 癥 法 上 Ø 制 約 KC ľ ) b 日 本 0 対 米 援 助 は

め T 展 5 12 72 8 Ø と な る 条 約 Ø

発 動 XX 米 顀 及 T 妕 繩 ૮ 直 袋 的 K 結 U 7 < 点 K ぉ 5 T 自 的

K 7 # n 5 危 険 為 b と T 国 内 K 強 b 批 判 £ 生

亦 于 想 B Ħ 3

後かれる大路を一十八日日

ح Ø 点 K 関 連 L て 安 全 保 瞳 K 関 す る H 米 関 係 圣 寒 質 的 K み

n ば H \* は 米 田 K 盘 兵 及 K 基 地 使 用 圣 許 米 E は H 本 Ł 妨

3 Ł Ø K 岛 る Ø 第 H 条 及 CK 第 六 条 K 関 す る 他 0 方

Ø 2 ح

は 别 额

米 根 ろ H 側 9 本 な た 本 Z 的 3 7 d ŽŽ Ž. Ø 文 方 Ø 自 盆 囯 毽 噩 相 動 太 真 ٤ 条 互 Ł K 的 对 剣 約 援 K ح K L 中 助 戦 3 χ'n T 嚴 Ø 争 朣 Ż I 概 KC 合 3 ナ 難 重 念 Ť 考 る 色 要 1 È 狭 て 允 \* 錢 \* b. と 方 あ 部 離 Ī 示 Ø ろ K 分 す 条 12 n 基 ۲ る 約 KC 基 ح < 関 地 ٤ 地 最 夈 χį 盛 Ø 域 L 終 定 約 7 危 を 变 削 的 < る は Ħ KC E 性 除 と 过 ح Ť 伝 米 格 緩 す 提 和 n 之 Ż. る 案 5 ح IC 会 5 鍂 応 す H < ح n n る る 先 汝 る K 例 て ľ る Ż ٤ Þ

は確定的でない。

ž V 4 国 な ず 民 盐 る 慼 Ż. ح 憧 ľ Ø 米 b. 国 み 顀 て 本 土 7 £ n 駼 圣 小 Š 切 笠 原 D 神 雕 K 繩 す 関 ح L 小 ح T 笠 VC. H 原 H Ø 别 同 办 Ø 角 を 域 含 废 0 め r る þ 殊 問 ۲ 性 及

還 太 Ø 立 b L 騤 Ž て る 条 口 I \* 笠 条 ٤. 原 実 合 段 約 ず K 質 る KC 関 的 Ø 礼 お 部 K Ø Ø L 5 L 分 て て 蓌 T 述 的 あ は 異 改 な る 日 点 正 本 查 奎 Ø ď 争 要 自 Ø K 合 す 由 ک Ť る K 裁 認 Š ح ح 45 量 80 ح 5 K 5 Ī ح て I n n な ŋ る る 援 M 危 祌 助 添 険 Ø 性 を ح な 方 L た 小 (2

5

点

K

う

る

I

帲

大 条

本

条

約

#

7

n

る

ک

ح

\*

齑

当

حے

る

第

五

袋

ti

Ø

χį

5

Z)^

左

3

肜

式

と

な

る

**1** 

KC.

拘

5

原

返

(1) 麦 現 弒 \* 案 避 II H T 意 1/2 3 的 K χ); H 本 ح 0 ŽŽ. 考 米 久 田 方 K 駐 I 妥 兵 当 Ø Ł 思 利 わ n る 奎 0 与 但 兔 3

٤

規 別 定 添 案 す る Ø. 必 7 要 ٤ 圣 < 生 太 ず る る 揚 <del>合</del> ~ 駐 兵 及 U 基 地 使 用

L

た

条

約

地

城

Ø

闊

題

KC

翼

連

L

て

新

粂

約

χζ

相

互

援

助

的

性

格

Ż.

Ø

点

は

I

Ŋ

明

確

K

(<del>12</del>) 基 地 Ø 呼 称 は 行

譭 کے L Æ 経 糠 あ b 考 政 協 を 定 要 す K る な 0 5 5 て 特 ず ľC n N ح L n て を 嘭 避 本 け 条 は 付 施

属 文 鸖 ٤ 関 連 す る

付 属 文 靃

八

(1) 基 地 使 用 K 図 す る 協 蠽 を 作 数 使 用 ځ 補 給 z(X KC 区 対 別 内 L 的 て 説 去 明 b VC:

5 T は + 分 Ø 研 究 圣 要 す る

兌

方

ح

L

て

は

P

t

を

夂

左

V

B

Ø

と

思

わ

n

る

つ

考

な 本 末 尾 Ø 字 旬 は 例 外 Ø あ る ح ح Ť 意 味 す る B Ø で な b

٤ Ø 口 鮵 明 Ž. あ

た

(m) 配 備 K 関 L 7 H 本 Ö 基 地 Ø 配 備 Ø 丧 現 は

PF

年

Ø H

る

b

ح

共 闻 声 明 Ø 丧 現 K 比 L 狭 銭 KC 解 ह n る 点 K お M て 問 題 Z)Z あ

伹 L 米 軍 礟 隊 Ø H 本 Ì Ŋ 国 外 Ø 移 動 I 盛 麓 Ø 汝 象 ح 左 5

(4) Ø 漤 点 懂 VC お 関 V す T は 灩 米 側 は は 核 籬 Ŋ 器 夂 Ø 左 み 5 ح ح す Ø べ 態 废 ַלע 奎 ح Ø 問 つ 題 て

る

Š

\$

**志** 

る

0

5

る

ح

Ø

際

核

す な わ \*VČ 5 I R В M な بح 戦 兵 略 兵 器 Ø 間 題 て あ る 0 杢 た

兵 器 Ø 定 촳 奎 明 5 ኢ IC す る 必 要 ź あ る 0

九 第 七 条 第 八 条 第 九 条

問 題 な ŧ B Ø ૮ 考 兔 5 n る

第 + 粂

となる。

駐

兵

た

2

を中心とす

る

約の性

格

S

か

ん

によ

b

影

ŧ

りけ

る

ح

٤

は 効 力 を 0 ح 永 続 的 る あ ZÁZ る ح ح 述 を 希 L た 室 髂 点 特 1/C ح 条 B 約 十 年 地 域 間

極

秘

安 保 夈 約 政 E IC 籨 L て 政 治 决 定 ž 阳要 和す 三る 三、 賭 問 Q 題

四

米

ح

本

安 保 条 約 改 E K 殿 L 7 基 本 方 솱 砤 立 奎 要 す る 重 要 冏 題 H 左 **ത** 

りと思考される。

条約の名称及び性格

新 条 約 歪 華 KC 安 全 保 쯀 Ø 舆 係 Ø 办 VC. 腿 定 世 ず 政 欱 経 済 条 項

を \* 含 办 名 称 \* 72 Ł 先 ば ----H 本 国 ዾ 7 × ij 力 合 衆 H ځ Ø 围 Ø 相

互 協 力 及 U 安 全 保 童 MC 関 す ð 朱 約 ۲ す べ Ė Z. Ø 闁 顧 及 77 繈 約

K 対 す ŏ 外 部 Z) 5 Ø 破 嬓 行 為 잘 防 止 す ð た N) Ø 個 劂 的 及 **7**5 樂 团

的 能 力 奎 東 独 て 及 V 共 同 L て 雄 铁 Ż 発 展 3 봔 太 け れ ば 本

5 な Va との ے ' ح B 粂 項 東 폠 7 Ÿ 7 集 防 衛 条 約 及 K 米 鑵 条 約

ことりりゅう トピナることの可否。

前 者 WC X L T は 事 務 当 局 ۲ L て II 妥 半 ح 認 め

る

\*1

後 者 KC 凶 L 7 I 特 K 内 政 的 考 盛 查 要 す る 点 で あ る Ł 思 考 ಕ

る 。

、条約地域

条 約 地 域 ہے L て 次 Ø === 0 杨 合 zķ: 考 允 5 Ħ

る

ľC

あ

る地

域

(1) 互 授 H 助 本 及 型 条 V 約 西 Ø 太 揚 平 洋 合 Ø Ø 顒 米 H 遊 的 顀 肜 土 定 及 U そ Ø 管 轁 F

回 日本及び沖縄、小笠原

7 日本

以 £ 0 各 朅 合 K 汝 す る 鬨 顯 点 は 安 保 粂 約 变 正 試 案 0 問 胆 点

K 述 べ 75 ٤ お b T あ ŏ が b 3 n Ø 方 式 を 邂 \$ ~ å X VC っ V て Ø

. 经总量

務 当 局 Ø 考 兌 方 I 分 n て 5 3 0 多 数 説 II 共 同 防 蘅 Ø 範 囲 T 日 本 K

跟 定 L 神 虪 及 X 小 笠 原 VC X L て は H 本 Ø 自 由 裁 擨 K I b 授 助

左 L 9 る ¥ Ø ح す Ö ٤ **(7)** 方 式 VC. **E** 傾 3 て お Ŋ 少 数 說 は 上 述 ----方

0

Ø

9

3

(1)

Ħ

72

は

(17)

ž

採

用

L

相

授

助

Ø

建

前

F

明

5

Ŋ,

K

す

べ

Ė

て

式

奎

為 る ح Ø 考 兔 万 て 為 ð

ح

Ø

点

I

新

条

約

Ø

襻

想

中

般

\$

重

要

江

部

分

で

為

b

殿

髙

方

針

决

定

< 要 Ö ح で 3 0

Ž 仰 あ ح ろ あ

江 毒 鷝 衯 当 局 多 数 誕 K W L て II 日 本 偑 I り 提 粱 為 \*1 H 米 卿

Ø と ح ろ 定 的 て な M 0

は

勿

盆

真

剣

M

ح

n

~

考

巚

す

ð

て

à

ろ

5

χį

嚴

終

的

1/C

ح

Ø

方

太

£

受

豁 す る Ž, は 現 在 確

\* 条 約 Ø 期 閩 a ح Ø 問 題 ځ Ø 関 連 VC to. (A T 決 定 Z る べ Ė

Ø Ł 思 考 \* 及菜

\* 軍 Ø E. 儲 乙備 使 用 K 舆 す る

協 識

米 軍 Ø 日 本 駐 屯 I 日 本 防 衛 Ø 头 江 6 ず 極 粟 Ø 安

全

圣

繈

持

**\*** 

8

協

齫

ح と 奎 H 的 ح す る \$ Ø T あ 8 z(X 配 傰 装 儱 及 Œ 使, 用 1/C 図 す る

範 囲 K M L て 米 餾 Ø 窊 向 红 次 0 て と 色 Š Ø で あ る D. 右 K て 蓌 支 兔

<u>ት</u> È \$ 0

(1)

纝

怠

獋

鎮

VC

¥

H

8

H

本

基

地

Ø

作

戦

使

用

付

窈

誸

平

項

と

す

ð

O

補

給 関 係 KC つ 5 7 II 制 服 な L 0

(m) 瘅 務 H 当 本 局 基 ح 地 L ~ て Ø は 米 觝 (1) Ø K 配 义 伽 及 L て Œ 1/F そ 戦 Ø 使 装 用 傰 ٤ 藿 蓹 肠 給 繿 事項 W 係 圣 士 V **አ** る KC

区

舠 Ė Z) (m) 4C 义 L て II 配 爛 W 関 L て 日 米 共 同 声 明 Ø 亵 現 ځ Ø

難であると思考する。

器 係 冰 0 為 3 み が 工 Ø : 原 通 則 避 的 **ት** K 略 b 1 兵 X. ر کے 器 W. n 袏 **才**。 以 る K 葉 協 Ø た 装 Ø 必 傰 雗 囲 要 IC 网 奎 Ż. 拡 為 る H 3 る χ'n 龖 ح な と E IC H H Ø 困 周 檖

5 8

# SECRET

DRAFT TREATY OF MUTUAL COOPERATION FOR SECURITY BETWEEN JAPAN AND THE UNITED STATES OF AMERICA

### RREAMBLE

Japan and the United States of America

- Desiring to strengthen the bonds of peace and friendship Itionally existing between them, and to uphold the ciples of democracy, individual liberty, and the rule of the ciples of democracy, individual liberty, and the rule of the Reaffirming their faith in the purposes and principles he Charter of the United Nations, and their desire to in peace with all peoples and all governments, Recognizing their inherent right of individual or ective self defense as affirmed in the Charter of the ed Nations,

  Recognizing that they have common interest in the mainnee of peace and security in the Far East,

  Having resolved to conclude a treaty of mutual cooperation, security,

  Therefore agreed as follows: traditionally existing between them, and to uphold the principles of democracy, individual liberty, and the rule of law,
- of the Charter of the United Nations, and their desire to live in peace with all peoples and all governments,
- collective self defense as affirmed in the Charter of the United Nations,
- tenance of peace and security in the Far East,
- for security,

### ARTICLE I

The Parties undertake, as set forth in the Charter of the United Nations, to settle any international disputes in which they may be involved by peaceful means in such a manner that international peace and security and justice are not endangered and to refrain in their international relations from the threat or une of force against the territorial integrity or political independence of any state, or in any other manner inconsistent with the purposes of the United Nations.

## ARTICLE II

The Parties will consult together whenever in the opinion of either of them international peace and security in the Far East is threatened.

### ARTICLE III

Japan grants to the United States of America, subject to such conditions as may be agreed upon, the use of certain facilities and areas in Japan by the United States land, air and sea forces.

### ARTICIE IV

1. If an armed attack occurs against Japan, the United States of America shall take such joint measures with Japan as are necessary for the defense of the latter.

- 2. If an armed attack occurs against those islands specified in Article 3 of the Treaty of Peace with Japan signed at the city of San Francisco on September 8, 1951 which have not been restored to Japan, Japan may, upon consultation with the United States of America, take such measures for the defense of these islands as Japan deems practicable.
- 3. Any such armed attack and all measures taken as a result thereof shall be immediately reported to the Security Council of the United Nations. Such measures shall be terminated when the Security Council has taken the measures necessary to restore and maintain international peace and security.

# ARTICLE V

This Treaty does not affect and shall not be interpreted as affecting in any may the rights and obligations of the Parties under the Charter of the United Nations or the responsibility of the United Nations for the maintenance of international peace and security.

### ARTICLE VI

The Parties will consult together from time to time regarding the implementation of this Treaty.

ARTICLE VII

### ARTICLE VII

This Treaty shall be ratified by the Japan and the United States of America in accordance with their respective constitutional procedures and will enter into force on the date on which the instruments of ratification thereof have been exchanged by them in Washington.

# ARTICLE VIII

The Security Treaty between Japan and the United States of America signed at the city of San Francisco on September 8, 1951 shall expire upon the entering into force of this Treaty.

### ARTICLE IX

- 1. This Treaty shall remain in force for a period of five years, and shall continue in force thereafter until terminated as provided in paragraph 2 below.
- 2. Either Party may, by giving energear's written notice to the other Party, terminate this Treaty at the end of the period mentioned in paragraph I above or at any time thereafter.
- 3. Notwithstanding the provisions of the two preceding paragraphs, this Treaty shall expire whenever in the opinion of the Government of Japan and the United States of America

there

there shall have come into force such United Nations arrangements as will satisfactorily provide for the maintenance of international peace and security in the Japan Area.

IN WITNESS WHEFEOF the undersigned Plenipotentiaires have signed this Treaty.

DONE in duplicate at Tokyo in the Japanese and English languages, both equally authentic, this day of

FOR JAPAN:

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:

## -6-Protecol

At the time of signing the Treaty of Mutual Cooperation for Security between Japan and the United States of America, the undersigned Plenipotentiaires, duly authorized by their respective Governments, have further agreed on the following provisions concerning the implementation of Article III, which shall be considered integral parts of the aforesaid Treaty:

The deployment of United States forces and their equipment into Japan and the use of favilities and areas within Japan as the bases of military operations for purposes other than the defense of Japan shall be effected upon consultation with the Government of Japan.

IN WITNESS WHEREOF the respective Plenipotentialijes have signed this Protocol.

DONE in duplicate at Tokyo in the Japanese and English languages, both equally authentic, this day of

FOR JAPAS:

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:

関安 す 全 る保 脱障 明化 関 す る B 米 新 籴 約 案  $\widehat{\Xi}$ 四

K

米

保

長

名 称 及 前 文

41 Ø 新 相 夈 互 約 協 粱 力 仕 及 内 容 V ŧ 安 全 安 保 全 颹 保 疃 VC を 腿 安 周 全 す 保 る 颹 建 Ø 削 為 办 5 め Ø 相 名 互 称

脇

カ

查

米

八多一七大多

ユステイル 四年马龙

一米ろた 次定

K 变 め た 後 述 # 蠡 腏

贫

十香石南花部 九子少季下

子月一日及一日本分本·元子一长四 半保花熟物はぞびがきはめ、 経 済 相共 協 力 K 関 す る 米 螇 前 文 第 項 を 削 D 又 極 東 Ø 0 平 和 یے

安 後 全 述 Ť \_\_\_\_ 通 六 Ø 及 利 C 益 七 と 盩 腳 照 め る 趣 旨 Ø 削 文 第 五 項 \* nt

た

李好らいかと 七月四日一年年と 李色度力在电影野

夈

H 連 鰵 窜 第 粂 0 趣 目 Ž 謳 7 た 6 Ø C • 米 案 邇 þ

米 簗 第 ---粂 経 済 協 力 粂 項

(1) 安 全 保 疃 関 係 は 政 治 経 済 蒼 含 ţ 広 V 日 米 製 係 Ø 環 ~~

录 C あ る ~E B 丰 5 n る Øs.

米

個

\$

其

Ø

趣

冒

Ź,

5

入

#1

T

来

た

Ø

て

あ

る

ያ

5

存

置

梦

る

ح

٤

χįς

適

あ

ŋ

(11) 他 方

Z. 斯 る 規 定 \* 置 Va て ğ 具 体 的 内 容 žš な < 他 K 邇 商 航 海 条 約

及 相 Ħ 防 衞 授 助 協 定 Ŕ 存 <del>ځ</del>. る 見 世 办 H Ø 規 定 ~ B る

٤ Ø 鲱 鱹 XX. 超 þ 得 ~ <

2 饵 久 Ń K 広 < 協 力 関 係 奎 規 庭 \* る 粂 約 7 な 13 \* ば そ < わ な

Va 粂 約 地 域 Ø 決 Ø 方 ٢ W 連 す る 出 N À T 0 及 K. S E Á T

NC は 斯 る 規 定 郊 あ る ŹŚ 米 韓 • 米 台 米 比 粂 約 IC 付 存 L な

(A

0

٤ 若 ^ 5 n る 0 7 本 築 で

は

間

7

7

あ

る

ZĄ. 米 (1) 案 第 粂 相 耳 協 力 夈 頂

L た 相 互 I 接 助 自 10 助 関 及 す Ŋ る 相 ヴ 互 授 ナ ン 助 デ IC 基 ン 避 パ 1 を 4 懂 决 < 識 鎭 Ø 団 糈 的 椰 取 \* 極 源 つ K

た

B

雷

及

Ø ~ 米 伽 I 極 B τ 重 視 す る 所 ح 認 め 5 n 特 IC H 米 臅 Ø 撥 合

E VC. 内 は 殿 我 得 方 忆 0 見 於 地 T L 斑 þ 外 は 派 其 兵 Ø 芒 比 行 重 は ŽŽ ず 等 段 0 ځ 制 大 約 7 Z)Ž あ あ る る ح 23 ٤ B B 米 쬻 政 괃 府 6 Ø

n る

他 方 我 Ø 癥 法 解 颁 Ł H 本 Ě 身 Ø 直 接 防 獮 火鐵 外 Ø B 的 Ø 蕊 め

(m)

問 K 蘊 磁 Ø 0 齑 瓥 為 務 あ 防 兴 b 촫 衡 は め ٤ 相 鱼 Ø カ \* 依 耳 ゥ み H る て 防 と な 認 0 E 衡 云 5 め ゥ 内 掇 3 6 的 助 風 12 VC 協 IC 米 な 付 定 解 田 Va 本 ځ" Ø ð Ø H す 粂 n U 会 差 る 衛 n 削 審 と Ø ば 本 侩 查 為 **於** す 0 は 矽 る 鮾 騤 **V**C VC ح 非 法 防 ょ þ ع 常 遾 衡 答 反 な 力 我 粂 問 方 ح 雹 約 驑 な 繈 XIX. 全 ٤ る 持 H ø 体 本 ケ 育 Ø つ 同 成 Ø

為

め

た

経

欁

0

す

3

自

衢

(4) 世 1 1 る 斯 方 B < *b*: る T ح t 本 ٤ Va 夈 I 2 は ፈ 本 米 粱 は で 明 偑 特 6 は IC Ď 削 1 で つ 防 あ て 省 る あ 方 為 ٤ 面 L λγ, 及 て XX Ġ (1) 团 米 内 繼 (2) 会 米 ĦĴ Ø 僴 C 関 IC は Z Z 係 で を 查 幽 撒 削

4

險

5

4

る

团

離

8

る

べ

B

Ø

芩

- な

6

7

H

本

は

柖

Ħ

援

助

Ø

糊

神

登

容

九

4

る

叉

H

米

共

闻

防

衛

Ø

灾

特

办

あ

b

否

4

奎

疑

IJ.

L

Ø

3

K

至

る

14

第二条

坂

崩 文 新 鄉 Ħ 項 を 承 H 米 霙 簱 四 粂 Ø 後 段 即 5 極 賱 O 鲁 钀 K

関

\*

惧 左 L ح 世 ず (8) 尚 本 条 H 安 保 条 約 前 文 KC 代 つ T M S A 恊 定 Ø

基

醚 ح な る ~ È \$ Ø 7 あ b 我 方 防 衛 庁 方 面 M 於 て 斯 Ø 稒 規 定 Ø

削 除 が M 5 Á K ₩**Ş** < ح れ る ۲ یے 3 る べ È

は

留

钀

Ø

臤

あ

þ

ø

何 n IC 世 I 本 朱 0 取 扱 は 滇 重 C 考 ^ る 必 要 v. あ る

(二) 尚 本 条 \*\* 存 置 す る 場 合 ğ 破 蠰 活 動 IC 関 す る 後 毆 は •

M 無 用 0 加 戦 を 与 る 惧 B b (2)武 力 败攻 鑾 は 間 接

優

略

を

含

P

٤

如

(1)

国

内

< 孵 閥 L 接 得 優 ~ ¢ 略 K 更 坟 \* IC る (8) 校 米 抗 側 措 0 置 解 Ť 釈 意 で 疎 は 寸 本 段 る B は 安 Ø 保 7 な 条 Va 約 と 第 Ø ۲ 条 2 Ø

で

為 る Ø で Z 瓷 阗 る ح یے D. 齑 当 논 思 は n る

る 寒 蠒 的 協 繼 ŧ H 揭 世 る Š 0 7 岛 る

## 第 $\equiv$ 夈

41

前 文 鮷 四 項 H 本 防 衛 及 第 五 琪 極 康 Ø 平 和 ٤ 安 全)

け 米 瓜 0 駐 留 越 地 使 用 查 規 定 す る ğ Ø で あ る

繁 } 2 ラ を 指 す

(m)

M

K

合

斌

す

る

条

件

۲

は

\*

行

政

協

庭

及

U

趤

靐

狻

述

米

0

を

第 29 条

(1) Ā 条 H 条 約 地 域 援 助 錢 務 0 発 動 \* る 被 政 響 対 鑗 K 關

\*

る 耰 \$ 重 要 才 条 頂 C あ る 0

/. 米 案 飾 Ħ 条 K 依 n は \* 梱 互 燢 助 Ø 建 前 Ť 質 Š 夈 約 地 城

付 Ħ 本 神 纙 小 姓 原 及 太 쟆 洋 Ø 米 鳳 頠 豁 岛 ٤ L 掇 助 内

.2. 容 其 は 後 療 Ø 法 豁 Ø 合 儬 VC 約 於 1/C て 従 **"** 🥱 米 ح չ は 条 یے L 約 地 7 域 Va 圣 る H が

本

及

神

饠

小

笠

原

٤

す る Z لح Š 考 麿 L 得 ベ L ح Ø 蕸 度 查 示 L て V る

(u) 本 粱 は 憲 法 F 及 X 现 笶 Ø 癬 懵 VC 鑑 み ゼ 6 專 舆 VC 則 L て 赉

現

せるものであって、即ち

1. 第 項 IC 於 7 米 H 0 H 本 援 助 孌 務 \* 規

定

L

但

L

亵

現

は 行 D 協 定 第 -+ <u>Du</u> 条 亡 採 つ T 為 る 水 • 米 個 は 米 粱 0 如 Ż

避常の表現を好むでゐるう。)

2. 鹪 \_\_ 項 I 神 繩 小 笠 原 IC 関 L 防 衛 贒 任 M 粤 5 米 国 K あ る

B 2 墈 あ 合 3 VC \* 応 ľ B 旨 殺 奁 方 讍 B 米 ~ Va 논 3 協 龖 Ø 紿 果 K 基 B 廬 嫠 防

本 条 0 取 扱 は 極 D T 懴 重 在 ð 荃 要 す る 娅

Z. 条 約 地 域 K 太 本 举 蚁 は 西 太 ZE. 洋 Ø 米 壓 饀 奎 含 め る ۲

ع

的 I 0 米 問 棚 麗 B は 形 定 生 F. L 7 相 互 叉 授 粂 助 約 ~ 質 Ø < 存 為 銃 を D で 茶 綳 あ 小 7 笠 7 原 我 0 方 C 地 位 չ 如 Ŋ 何 寒 質 2

無 関 係 1 6 L 8 得 ~ < 安 定 性 あ る 椢 互 授 助 刑 Ø 夈 約 ځ

L

T

米 倁 ZÓZ. 使 然: ٢ T 殿 \$ 播 盤 す る 所 7 あ る

2 瑰 在 答 米 偑 XX. 阴 6 Αþ IC L た 所 で I 条 約 尴 螆 Ż 5 米 颾 價 は

外 す 敪 2 現 L K て 就 T 冲 H 齫 小 共 笠 邇 原 溘 Ø 危 圣 険 含 VI Ø 坟 る 処 ح す ح 3 H 為 強 8 Va 藗 要 法 件 Ø と 垂 L て 続 盐

徤 3 生 政 < 撫 L 7 Va 3 水 神 麵 办 笠 厭 IC 鮵 T は

在

0

坳

位

前

提

2

L

-

M

ð

H

本

Ø

#

る

助

癥 法 Ø 粒 囲 内 左 る ح ٤ **خ** ـ 明 K す る 為 め . 癥 法 Ø 規、 定、 と、 手 統

袮 纙 小 笙 原 ٤ す る ೭ Ż I

IC

從

S

<u>\_\_\_</u>

٤

す

3

ح

ح

1C

は

闰

窻

し

て

Va

る

0

染

約

地

域

を

H

本

及

XX

米

腐

領

\*

含

め

る

孙

理

的

困

難

左

回

避

L

7

つ

米

伽

٤

妥

喆

K

瀊

す る 見 込 為 る b

B 授 助一 内 容 KC 舆 \* Z 癥 法 Ł Ø 儬 約 Ø 热 Ł 除 ė • B 本 本 土 ٤

C は 米 饅 土 を 含 Ø る 場 合 ځ 全 < 团 橑 7 8 る 0

神

繩

小

笠

原

は

全

<

同

列

VC

懂

**Ž**-

礼

る

ح

ح

노

な

Ŋ

此

0

潦

睞

0 雞 前 F 沖 櫷 小 笠 厭 は 米 領 土 と は其の基礎を失ふこととです L て 入 3 訊 で 8 る 办

此 鑩 Ø 小 点 迚 位 原 期 0 限 地 Ø 位 閥 XX 廽 变 کے 3 赫 戀 K 合は条 付 約 て 来 る

本 粱 IC 依 る یے È は

篓

圣

最

6

F

確

K 写

L

た

Ġ

0

左

る

冰

故

IC

内

VC

栨

¥

る

説

明 位 髮 \* 容 易 ~ Š 8 ψż

本 案 C 位 相 H 援 助 0 形 位 極 4 て 穪

蓉

7

B

7

7

之

查

基

礎

ح

+

八日

7 米 佃 上 妥 給 K 瀊 す る 見 込 Z L <-既 VC

Ø Ш 田 次 官 米 大 健 会 畿 Ø 数 先 方 は 条 約 堆 域 ż + H 本 月

Ø

み

vc

腏

大

定 ナ る ح ح Ø 不 可 太 る 所 U 圣 明 K L 7 Va る 0 C • 政 め T

臣 Zh 6 再 (I 提 粱 7 る C 上 自 体 慎 重 奎 要 寸 L

防 神 櫷 小 勘 笠 饮 原 H 0 本 地 位 0 基 **%** 地 変 供 3 与 朅 Ø 合 均 は W 粂 定なりて其 約 は 半側から見れば 実 共 VC 米 图 Ø

构 地 卢 \* H 本 及 神 小 原 Ł

場合と同 連安保 理 事 会と Ø 図

第三項 は 国 係で あ

る。

(=)

八 第 五 条

米案第七条

Ø

齑

Ŋ

九第六条

米案第四条

削

段

Ø

条

約

実

旘

IC

図

す

る

協

臟

を

条と

分

け

て

規定

せるものである。

O第七条、第八条

夫 尽 米 築 第 八 粂 • 第 九 条 Ø 通 b 0 但 L 批 准

書

交

换

は

邇

例化

拠

Ŋ

一、第九条

ワ

シ

シ

**}** 

>

ځ

L

た

0

(1) 本 粱 IC 依 九 ば 第 四 条 郊 神 繩 小 笠 原 0 現 在 Ø 地 位 奎 前 提 と 世 る 丧

現 7 あ る 為 め 期 嬮 を 長-**?** L て は 其 Ø 間 返 選 郊 寒 現 L な S ح Ø

印 龛 及 龖 論 を 招 < 惧 あ る KC 因 ŋ 期 匨 Ž Ħ. 年 ح L 爾 後

年

Ø

予 告 で 失 効 世 L め 得 る 形 ዾ፟ L た Q 但 L 米 個 は 原 案 Ø 如 < + 年 奎

盤 < 要 簺 す る \$ Ø Ł 剕 断 5 n る

(m)

第

=

項

は

安

保

条

約

Ø

失

効

夈

項

Ø

字

句

Ø

部

李

活

χħ.

L

た

Š

Ø

て

あ

0

な

Þ

æ

補

充

す

る 0 但 L 此 Ø 点 は 本 粂 約 が 函 連 Ø 播 置 K 代 る 易

鑑 定 書

る

ğ

Ø

な

**#D** 

¢,

0

問

題

を

包

蔵

す

る

米 案 フ \* 1 3 ラ を 龖 定 審 Ø 形 と 관 る Š Ø で あ る O 尚 米 案 で は

共 同 協 讖 毒 項 と す る ح あ る 0 を 協 龤 Ø 上 寒 施 す る ځ 改 め

て ょ Ŋ 明 確 な 裘 現 を 弒 み て 10 る 0

睪 行 政 脇 定

(1) 現 行 行 政 鏴 定 は 安 保 条 約 ٢ 共 K 失 効 す る 炼 新 粂 約 下 VC 於 7

同 様 な 脇 定 ŽŠ. 必 要 T 為 Ð 此 Ø 問 躓 M 付 衆 側 は 新 夈 約 K **た** 7

た ŽŽ. 為 め IC 必 然 的 K 僿 IE ż 要 \* る 点 を 僿 E \* L た 上 現 行 協

趤

È 其 0 儬 活 Á, • ح 2 圣 期 符 L て 5 る

新 行 政 協 定 H 従 来 Ø 経 緯 K 鑑 み 国 会 Ø 承 認

È

求

め

る

必

Ŋ と 考 6 n る Ø 而 L T 其 Ø 方 法 չ L て H

1 此 Ø 際 变 X る ~ à 点 は 变 め て 永 続 的 交 新 協 定 ٤ L て 围

提出する。

必 然 的 左 鮗 E 前 文 第 十 四 条 削 除 等 及 CF 瞹 办 限 Ø 儖

E 分 担 金 廃 止 施 設 Ø 共 同 使 用 等 を 検 討 重 る を 行 つ て 当

分之によるとして国会に 提出する。

潼 方 Ł 法 が 定 所 要 K. Ø 5 改 舆 n 割 3 的 1 Ł IC 加 は E 1 2 る ٤ ٤ 聯 相 云 闇 奎 \$ 似 的 加 た 2 K 不 Ł ज ~ Ø 左 館 展 会 る な べ る K 定 < 攊 0 出 的 本 な \* K 3 は

選 政 窮 行 地 C 陥 n る 惧 Ŋ 出 来 过 N. 遊

M

的

II

X

は

n

3

논

0

Ħ

查

骶

X

た

期

符

圣

生

F.

め

て

近

	AND THE RESIDENCE OF THE PARTY	13		AND STATE OF THE PARTY OF THE PARTY OF THE PARTY OF THE PARTY OF THE PARTY OF THE PARTY OF THE PARTY OF THE PA	S#1 (84.734m/SS29)		and the second s	28	3737		\$\frac{2}{2}	大屋里		76
WINTER OF THE ACTION OF THE PROPERTY OF THE P	作出風とては日米方を保障国体、延いては日米国体人般を		りアクラントけりと下ンでは心でしかめている。ちけを持上するころうち		引造できるると思るを上る。ちけに見ず日本わらいろう		大文本的古子保保的国家江南し二三思るつく信は、させて教文、お代		マンアナナセンーン書でん	当唇者 猪生区 小下冷心 半件包	日待十十十日午梅四日一日時年的亭平大下山三年之		十月七日好生尼在京事七使会院報	来马克德
		4 4 (7 <b>27 (6 7 18 18)</b> (18 (8 7 )		en a pass divina	A RIVE AND THE CONTRACT	# ####################################		NK.	回	第一相	7	Madrimissibili i		m2

米 保 1060

はおいてはないましているとはなるかられましているとはないではないましていることをからなっているというというというというというというというできまっているというできまっているというできまっているというではい
7. 五
であって町
なるとかうか、そのから、由子民、核やなには合を待り得ったら、
制限しけれない義務を望ふるある、書きから見かば不打なこ
思ふとなりころを言が出見としては現になずをひとう様する
強化るきというをにあるであり、世のとははちゆり同なであ

外 務

Ty.	+ 5	1			103	۲
おなまれ	of Brain	松儿事	7	了话课小公	3	とろも甚れなす
大ではいる	TWE GOOD	なれ事はこういろは	まってはるとあるとあるか	れるころと	我去	
おひそればですいち意思を手まりれ	白老黄石和花	大件多年	なてありか	设式~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	智を女子とか	少年からるる
40. PS		下或数多处	一方一一方月	\$ 3. X	かけけ	J. J. Bra
20 / 0 %	Was a break	やけしても	今年一季月	对 15 上日本	342.732	10000000000000000000000000000000000000
見では一段	をまたれ	いいいけ	7 75	方国多で	石件上包	は目です

- I

Market and the second	<b>金野山地</b> 野田町町	SALES CONTRACTOR	CONTRACTOR ESSENTIAL	ESTE PERKY	alethernostra soma	W Wilder Owner Transport	1960 E 1870 E 19	ORITISE ORIGINAL	A LEGIS MAN	nu es inmedie
今でスすもろはないととはつきりなりおろうるい	をよりるになるにおしてかなうまかは世しちける	XX ASSESSMENT	でなけいはやう気はからく、在けい国り国内なるものにが張る		出了之心ある。 やま時花件日本国信の公子将化了檀香の		身しいれてしいか上まなみ時と 待る方が優別ではないかと	なること一ろくう、特心學概括的智力片付き、黄白いたでな什么に		住のは努り建てかけまちをあまっ、進やはしまきないる」が果と

		NAMES OF STREET	M36247267903	THE RESIDENCE	WEST STATES		SAME SETTING	ZNEJEWN ST.	STERRORETER MANNEY YES
あるい色が生となるとるることであるなら、立はかなを飲めてます	るらか日本できなられるではをおまし日本をマンパシーにし日本		その理るのが教はあるにしとめよからである。 かしつを言め		皆在主族を挂殺し、日心残を記意に生死しかっとするであ	中尾か至るを発院之とするであり、出居は方地域の日本の	を多ると残しくなているか、そりは、そしてよびいちば岩町中と		冷に年は此残の自然人意的少ない。 米園の年、方では中後十五季

省

務

				Education Construction of the proper construction
直腹下少屋の公共、得りは強しはないかってある。	はるはかないないいとの子をしかはなるとはまい	海の中島であり、一里で中港十里のそからり了になる。 電は洗を 理化は 日本文字になるかであり、 豊中国日本内には張ったる	かっている	のであるが、からととは五色なられいこととす様ち風的なり

流。 5. 五分		持てからを見るるい。		ゆううちょインおうなするではなが、御子るをよりでスなん		假を中安公司法備です、一あるらうをかあめかせるでるい。		るはなるとそのなるなとうよっともしまる、すが、みかの御をを		はれの見のからているといけいるトトの人里向放送したかでいたる		これない、又はめてこのちかにくてくかってくれをでえするなはない。よう	1	「あかいまりまゆのかろかまなからないるとうかには「のとりはし
----------	--	------------	--	-----------------------------	--	-----------------------------	--	-------------------------------	--	--------------------------------	--	------------------------------------	---	--------------------------------

務

· Year		en anteres de composito	demonstrate	waxan kuda	ENTSKIP SKIETE:	recorder and	- Contraction of the Contraction		The supervision of	4
	例が研究していとるよべけい、後ろうあいはまれを見の対るは	下るかに好きよります。 地に生命は間からおして幸には日子	しつにおいれる。何里も今かっていってもあえのままな一好が		了的了了了了了事我的信果在得了了了这样,我也可看了了了!	であいちかかと思か、きちのでしては日でかのけみたやかとを持	•	は例やくうなどとを生むから、人ろめしきあるに見むには人気合は		・今後の重め方である、秋々の今合かプレスルといるとかり持ての

務

THE SHEET AND ADDRESS.	OF REAL PROPERTY.		en en commune	<b>TELESCOPI</b>	STATE OF THE PARTY	Panel at an an an			SEED SCIP OLY
		夏なともかっててるかなイトの今後で使のするからましか		これなるは了了好程了とある。 紀、日本時間は日本的の	があるで、アンインかんなをわらるとのろうをなりせんちかしい		アンインが日下のハフトクランとはしないないなってときまち	七いかいかっははみられるはないとろよのが事をつかとろうない	生じて、了とうよことはないってある。安松りはなんかはなれていく、

		anna ann	and the same of th	A STATE OF THE STA			4-1-10-10-1	
放一半圈生如下的第一人了。我都是人们主路由	らいかとは米国かれとしていてからないの子でのおれずし		世界一里るではない、おかましまは「科は中とは別の同		· 村口の多年を日本八日移動大七二下日本州の祖子旅を記す	其地を日本計の作務の使用のなるには様すときのでと、申井	2付後を中上なり、不一一ラいかと当的な機様をおするは日本	次に生華通用は国すは展の自然のは見なのろうしてうの好教

14

大屋 本件之程中是不是不了在日本的公教	言物で日本国信を始うけやうとは至くているい	うりんせよき見をうなは日本はいし	7	2027以下开了了今中上午冷井である。	日本的心情解心心之思去,因此不是了了道	をとな様様はするあらるが 玉
すかいからり 七はったいう	2 14 0	られを記すたらはで、又を付	いなせん就とちたみである。	3.	12ラの電好ででも 町	が拒否族は記められない。此かとは

	なるいる。	以多是古は一般的七年全元百分的方情	あり、又ろうとにおとのなるのであるとちてなー	. 優勢子は国をむるまなとは云ひろい、即りな	意味之間間 るのなって了をは事重である	かに己な、日本の外間活例はことだらしたと	れないとをくりじとかいというとうのろってい
外 務 省		ないう情せーをる国をし	うなーも三は国事している	即分野殿在の内部へ	ひある ある者化は安保	一たとあつ、地在いるくな	小我名品任何好少为!

	Maryana and San Day (Maryana)	NATIONAL CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE PRO			Parameter and American American	condensation.
路上的外层的形态了一般在了一块的治安全通气和	後かるアラシしている。当初の見めでは我はなりなとするあ	横町たられるからあか、右唇な事情と迎しち付き物は	男女子まで長名 はなるかにかまが党幹がとり物後を考す	党员长的野公及子子之子。好事情的发月三十四台8年	七的野となってまている、たしろる西党を受法が立まないと不会軍	学院在安禄、たとうに対するけり状だけそからりゆうといれまない

好し、又多な子上の今見は行る 喜を介了好情とと意見の
めて、とるよりにはなってい、二十日色い十年教好は研究はの落ち
行いれいけれてはなる。かしてれるよれてけったる
(成は一三日子う物名は
公のもき世紀ですから美多了二十日地区は禮花ない依を見き
ちけいかしまりかけれたとまないまなとううまゆない
学生に言う発展的ないのならのはそのに持るにれかなら、建了
路神多を竟に代し堂内を一弘十七ると考で事なが、今日了住民

務

大下の方でかれる大様生に大下をかりているというできるというできる大きなないかられる大様生にかられる大様生にからないからないというできる	なうるよは事主ではない、本の	ようなきとはあしてよう	人は公元ですからかか	NHK ME CONTAINS	一日かまはらいの内で	THE RESERVE OF THE PERSON OF T	るなとし 最後は出るとはあるんもろうない	る時を行よるはなっている。
- II (07     "No     19/9/     18/6/     (       1 × /     1 9/2/	本がしておくとなみとの事る		て事あれ	日というるはあれたにいちってテストも知るとこ見	易好の問題り人言名 研究を接生いる		とはあるれむろうないか、中電か至るうはい	了。分称形的ある等的心因の

7.000	EPOT DECUMENT			enterna voice	THE BREAK				SECTION INC.	*1234***		A PARTIE NA	- The second sec
	かる		更		+12		?"		灾.	•	停碗		72
	かる、おからしては		格器		3		3	age grown as	19		1		りは、関行を沿け
	100		gr.				764		(0)		5		19, 20 11-
			9	•	V		5		地位"	•			艺艺
	レスナ		南部?				ない		好件		,		PR
	でスする時はなく	•	スロー	•			流干		の状枝でち付い 国す	•			とる行けかの しろん
	15		スローション	•		•	方方きると大		1	•			1 ents
		,		•	•		つま		加強於		•		- ندلدا
The second secon	る時		けかけ		•		なと		事金				3
.外	そのはかまった		なけれていうね				唐		重行				2.
務	三大		事				ては		72)				発験
省	怪理		1 1 L				4		のはや		•		拉打
Carethan Action	. 2		2		M.C. PROGET VICTORIO	MALESTYN TOWNS	13		悠悠	M-1000 POR 1982 THE	DE NOOR SHOOL WEEKS	MARK MARK THE CONTRACT	33.

		mand strop reserv	The forest teams	30.25.380.20.8000	escusares [	 (FORTOR TO ANTON	
はらかかるかうは此がは生地のかみなるみはひい	まているで 日をゆかうないいはあるりを見かあるかななり	少すしの人はいても、しかとしては米風的のみりは人を引は上いてし	でしろいなうな人ななのあいをおかうろうとてよのなったもかりない。又でう		「子らと言はれれ「子らて一上し又生の格に待之一竟まない、又	害を受けとうななう経験なり、被接色待つできるある。 七尾は	他をはいらないと思ふ 又七什么起機在江橋もひずれて其の影

The state of the s	POSE BORROWS AND LINE	BONG PROBERT CONSUMERON				
長しかちの知得於打了、特心回来で多及なるかを用	可格以是体化的心器子、今间的作品要完全限等力量多之的基础	こ我とういきはひかと思ふ、彼は世帯にき依なんでけかあい	は別個の国家でろう一般持ちろうちと見めてはきること、考を行い	いかとなったアンドのあるとなりすること、発機お手もあの内かん	ある、国議員がだしてけしまれなから、日ちゃくとは劣的のいしたし	いろはワンドンで上院は被とよってまなが、アンラアト、張らりその人で

狢

(以下経験在を提るな	七限号分女女	A THE PARTY OF THE	一家含すりで使す	勿傷にちいりろれ	3		だっりけ向する	場かの宝玉地を理と就とい
夏云の見きしいはオスヤン	らくうかなるをとはよいりあり ちとの		する人のとあると思す。	からいるです。 (す	るからればらるれて と、これですっ	?	お何まで研えていてあらるか、	理之就长う方をこち
としてはまのなりの	Saft. (alata			何此七年重七几月晚日	7 2 12 4 7 7 7 1 1	するうちかたをナロ	なっしいないはる	方をであるるるよいなのま

	i .			• • •			··•			•	•		•	٠ <u>.</u>			•	•		$\cdot$		. : :	· · ·	
				1			79.34	Service .		A SECTION		ZUE	SECRETAL STATE			and the same	egross:	SAZAK!	M. W. CO.	ar ar seu	COLUMN TO SERVICE	anna sala	eraleur (San	
			•				•••	,				.,	•				٠	•						4
	The state of the s					•	•			•	٠.	ľ						•	•		•			TI
										,	•		,		and the same of th	•			•	•				3
	WAS TAXABLE IN		•	•					. •	•	•• ,	*	•			•			••					0
•					,4				•				•		•			•	٠ ،					2
•									:		•		••		•						•		F	7 te
			 <u></u>				•	•	•		·• ,		٠٠,		. ·.					,				J.
· .		. }					•		•		٠			•	•				. , •		•	٠		2
			•.	*	•				, :			•	•		•		•			'.				13
•	ersiles.		•		-	•	;				٠.		•	•		ļ			•					万年
					•				•		•		٠.		٠.		٠		•	•	٠.			老给
.(, )	Market ac																				,			给
,			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				•			•					. ,			•			•			
	Character Section			;			•	.*		·	•	•	٠.,						•		٠.			720
	Beet transcrive	•			•										•			•			•	· ~ .		
外											ē	٠	•		•						٠. 4		,	
•	Account of the control of the contro				. !		*		•		٠		•		٠.				•					
務									•						.•					:	•	.:	. }	
省									:	. ·	.· •	:					•	:			•			
н			•		•		•							•							•	:		
		na na na na na na na na na na na na na n	e and a margin of		270000			n.come	DIEGNAM		3863,3540		-	-	e de la constante de la consta	S BATTURES	1344 A 3	-	reason N	N MOSTA	THO EN	· ·	al a la diago	CONTRACTOR (NO. 20 Terror

十部の内五号

(12)

至天了 よそ 米のた マアイル 年马北

十月十日本まは西日本 更是 马港长 校计是不

(1)

全国外名二二十米安东

新 夈 約 糖 緒

H 米 安 全 保 陸 新 粂 約 IC M す る 件

米

保

長

Ø Ħ ŔÌ

戦 0 U 衡 IÌ 米 H と Ø 安 全 保 幽 体 制 \* 基 鯛 ع す る 国 防 Ø 基

本

方 保 蹬 針 VC M K 則 す Ź o b B 現 米 與. T 籐 安 保 处 粂 約 Va 7 体 鮙 は H 苍 政 米 X 1 係 強 化 全 す 般 奎 る 捋 ٤ 続 ٢ 性 B ح VC 侰 麒 安全

性

あ 3 慈 磁 C 戲 ₹ ۲ ٤ を B H ٤ す る ø 别 紙 Ø

新 粂 約 Ø 内 容

新 夈 約 0 内 容 KC 欴 T II E Ø 裳 ^ 方 K 拠 る ح ح ځ す

る

0

H 連 尊 盤 Ø 趣 目 答 明 6 Z)A IC L 選 鰵 軰 ٢ Ø W 係 を 明 記 す る

H 米 两 XX. 磁 東 0 W 和 と 安 金 Ø 縺 持 ż 共 邇 O 利 益 یے \* る ۲ ٤

認

崩 贋 0 見 地 IC V 脚 L 極 東 0 段 簊 懵 並 N K 戡 

自

衛 力

C

Ø 现 況 1C 鑑 4 米 簠 **1**/2 H 本 H Ø 所 要 0 鼢 X 垅 奎 使 用 \* る

腳 di 3 ۲ Ł Ł

尚 米 囊 - 1X H 本 地 埃 4 0 翼 行 贫 O 益 10 H 本 基 嫩 奎 4F 蹴 的 IC

用 及 23 梭 兵 器 榜 込 K 蝴 米 H H 本 田 ٢ 数 前 K

ঠ ۲ Ł يخ

H \* 米 0 0 H H 本 H 寰 SF 癱 法 0 粒 務 H 内 规 本 定 3 2 ح \* 明 K \* る 糊 Z

企

\*

る

7

٢

٢

岡

IC

ዾ

見

H \* 如 何 左 侖 此 発 勵 \* 3 4 IC 関 夈 約 地

(1) 西 價 垒 膜 H 太 價 1 (12) 神 盤

Ø 何 12 る 閲 顯 あ るり 処 (1)

燈 助 Ø R. 則 H 神 題 1 笠 順 0 地 位 K 麗 係 女 發 \$ 安 定

あ \* \* 日 H (2) \* U す 3 相 I 授 助 Ø 纖 یے

ベレとの見解を減らして居り、神方切を採る場合

H

基

本

ŔŶ

へ方を改るる必要ありと認められる。(別紙の二

・ 極東の基態に関する協議条項を置くこととする

自 助 及 相 I 助 K 依 þ 防 徽 力 \* 繈 镑 成 す 3 瀊 Ø 力

C 2 並 U K 被 潘 助 囮 此 K 翼 \* る 規 庭 0 趿 K 付 檢 甘

纹 K 股 惫 法 Ł 0 闥 題 8 3 要 米 伽 認 は 汹 所 7 7 > 別

O E

米 経 約 済 Ø 協 蓰 力 H 歴 粂 此 頂 II 橙 老 萬 置 址 位 年 C 用 Ł 2 1C 0 得 笠 失 **lya** 原 間 现 芒 0 後 行 掇 檢 方 行 年 討 政 2 0 16 W る 燵 趣 H C 失 M 般 少 檢 効 紙 Щ 討 4 Ø 必 L W

B

に決定する更多り

正

\*

3

為

3

其

Ø

H

内

的

扱

方

老

別紙

本文一(新条約の

本文一(新条約の目的)について

現 行 安 保 条 約 は 4 H 鳌 銼 H Ø 安 金 保 IC 質 鯯 L T 来 た A)S 元

定 的 江 粂 約 C \* 其 0 罐 紿 当 時 2 現 Æ O 事 뙓 佐 比 \* n II.

0 騤 的 地 W. 闻 Ŀ 経 済 力 0 灰 復 Ė 衛 世 Ø Ħ 成 辔 Ø 翻 点

於

大

\*

化

ŽŽ.

た

俠

7

T

现

存

¥

3

安

保

粂

約

関

儑

を

再

檢

厥 等 7 Z)A 方 的 Ł 办 0 骅 盤 \* 招 ₹ 极 幾 驗 去 \*

H 金 保 題 N 係 \* 变 錐 化 \* 3 ~ 논 XX. 齏 当 2 B 6 n 3

It (1) 米 Ø H \* 访 胨 無 約 Ŀ K 阴 6 Ż IC (12)

滋 进 O 静 2 展 4 磁 夢 \* 負 9 0 女

H 1 H 常 歐 1 O 協 נל O 蘊 \* 砸 ¥

米 Ħ 0 在 H 施 殿 X 域 0 作 100 E 健 用 P 核 英 器 闊 盟 IC 付 極 נל 思 0

I 逾 4 3 -2

\*

\*

斯

<

7

H

本

癥

法

ځ

铄

触

L

左

Va

相

互

援

助

孤

0

籴

約

本 文 Ø (=) 条 約 地 域 C 9 VA T は . \* -----

N

於

け

Z

神

纖

小

쑢

阗

0

取

鈒

IC

7

VA

T

E

=

 $\bigcirc$ 

盎

腦

H

米

安

全

保

躍

新

条

約

K

本 文 Ø 相 E 協 力 奂 項 K 7 Va T

(1) 此 0 粂 頂 位 Ė 助 及 U 相 A 攪 助 VC. 越 礎 を 置 ₹ 纂 团 的 政 礷 K

\* 营 及 0 ځ L L た 粗 T 米 I 儘 授 H 助 磁 VC. D 鰗 ナ T Ħ る V 視 す 7 B ン 所 デ Ł > x 1 B 6 1 11 决 龤 軡 Ø 糟 VC 神 H 米 答 齫 間 Ø

機 W. II **11** 方 1 授 T 条 約 趣 域 0 决 Ø 方 4 瓣 1 派 兵 奎 行 11 3 孌 0

阳 XX 為 3 為 D 米 政 廚 0 内 得 Ø 見 地 1 þ I 其 **(**) 比 蠶 が 躞

と大であることも数せられる

様 0 Ø 防 闘 力 為 力 型 B 8 殺 H \* 0 I 負 相 E Ø I 9 b 灪 太 Di ٤ 独 × 儹 n 9 攪 本 釈 Ŀ 助 風 \* Va 協 IC. ځ H 艀 涏 Ø 李 本 0 自 3 防 12 71 쵑 身 H d ă 会 0 0 攀 ٤ À 斯 直 撥 趱 à O 3 0 防. は K 条 癥 衞 防 項 群 法 衞 凶 H 常 瀊 外 力 我 查 反 万 验 Ø 閥 ٢ 繈 B 水 驑 ŔĬ 九 檬 H

2 東〜下本衆原は、山田内田

蘕

旗

D

依

\*

内

M

IC

は

妍

3

夈

瓆

XX.

九

VA

力

A.

夈

約

金

体

Ø

٤

左

る

Ħ

豉

本

の自

Ø

U 省 3 方 2 面 及 T K (2) 会 \* 0 幽 K K H 之 係 Z C \* を 懋 鐵 6 回 办 3 世 九 る L Va 方 M 1 鍵 Z X. 1 办 \_ Z ځ VA ~ 位 こ 8 2

< 条 2 頂 8 左 Ø ۲ H b 贯 奎 安 符 住。由 保 銀 D. 方 1 粂 H 8 る 防 約 本 b Z 黴 前 \* は 2 Ħ 文 否 相 為 方 C P 耳 代 Z 团 挺 \* IC 鋌 3 勘 於 à T I Ø T I M L 精 留 神 斯 器 S 斌 0 A る È 0 濫 恊 IC 容 要 规 庭 歪 n 短 Ø \* 3 T b 基 惧 0 3 削 礎 な Þ 何 2 除 L n 太 ٤ 又 X/2 C る 世 H M 赴 \* べ 8 米 よ È (8) 共 A 本 8 K 尚 同 0 \* 防

(=) 珥 尚 \* 取 条 扱 頂 \* 憱 存 黧 置 K ナ 零 る 糊 Z 必 製 **%** 米 B 倒 る 0

関

3

規

垣

\*

置

<

P

否

\*

0

間

題

ð

b

•

此

Ø

点

は

覭

行

땊

保

条

約

0

原

鎎

Æ

遇

る

如

<

破

躞

活

動

K

H 閥 撥 勶 H 便 鹏 C 条 繧 K Ø 用 関 如 ナ 0 < S 岡 轍 锐 撥 短 \* 其 0 略 H 2 豳 K 対 惧 ٤ \* \* 老 Ŧ 3 b 饺 Ø. 抗 個 関 播 0 係 屋 解 χX 釈 \* 為 ~ る 珠 Z). は \* -本 3 段 斯 \$ It る Ø 安 规 保 定

M ٢ Ø ~ ٢ C 8 3 Z ż 削 3 C ٤ XX

> 瀘 坐

> > یے

風

位

礼

文 -0 (H) 経 泽 協 力 粂 頂 IC っ

(1) 安 4 覹 係 I 政 治 経 済 広 VA て M 米

る 2 Z)X 遊 当 C 為 3 2 6 n る ZX.

米

儬

其

0

越

ÁX

5

入

12

8

2

٢

\*

挺

粱

L

T

V

る

0

C

あ

る

办

6

存

翼

圣

含

Yr

H

係

Ø

環

~

8

b

(m) 他 方。

1. 及 相 斯 H 3 防 規 衡 定 授 \* 助 協 Va 定 T \$ 6 存 A. 体 3 Ě 内 容 1 見 江 < X)a H 健 0 W. 瀸 规 B 燵 航 て 湽 粂 B 約 3

Ø 群 艞 16 魁 þ 得 ~ <

恒 Ø K 広 1 13 力 関 係 \* 規 定 3 夈 約 7 在 H 71 I Z \* A D

約 量 0 狭 炒 方 Ł W 運 尚 N Ţ Ó 及 75 8 #

い。)と云う問題もある。

は 斯 る 規 定 \*\*\* あ る **3**0% 比 条 約 IC は 存 十部の内 五号

そうた 华京花大臣

方

針

K

剛

Ŋ

現

行

安

保

条

約

体

鯯

圣

政

曫

盤

化

す

S

と

٤

ğ

K

安

全

0

基

本

ح

佴

類

性

新 粂 約 締 結 Ø 目 的

日

米

安

全

保

單

新

粂

約

VC

网

す

る

件

我 Ø 防 衢 は 米 田 չ 0 安 全 保 輝 体 鮙 Ż 基 嗣 بح 李 る 国 防

保 疃 K M す る H 米 舆 係 延 Va T H 日 米 姒 係 金 般 奎 将 艞 性

あ る 基 礎 K 置 < C ٢ 奎 Ħ 的 Ł す る

新 粂 約 Ø 内 容

十月十二日本華及二十六年

=

張さなけちり おるまにけたにえる 新 桑 約 d H 米 两 ží 極 東 Ø 杰 和 ح 安 全 Ø 縋 榜 奎 共 邇 Ø 利 益 と

す

る ځ Ø 立 楊 K 立 3 概 ね 左 Ø 如 à 内 容 Ø P Ø ح す る 0

(1) 固 連 攀 蠶 Ø 趣 H \* 明 6 À IC L 园 連 藗 童 Ł Ø M 係 老 明 記

0

= \*\*\*\*\*

米

桑

(w) 魕 用 日 寸 す 本 尚 磁 る る 米 内 粟 童 2 椒 0 Ø ٤ 合 XX. 所 یے 及 B 學 般 す X 本 Ø 簠 る 梭 脑 嫩 羉 ø 兵 域 懵 設 器 1 X 變 捺 Ø 域 並 込 鑁 奎 X K 健 K W 用 行 我 為 L 国 す Ø る Ė 米 À ۲ 獨 と 写 カ H I 奎 0 本 H 認 斑 本 24 況 Ø る 政 IC 地 府 奎 ح と 作 と み

数

前

K

協

踙

ŔÍ

IC

使

と

す

る

0

米

軍

¥7.5

(=) 4 H 米 本 XX Ø H 負 ð 本 饑 防 徽 務 巍 I 鰵 務 法 Ż 規 Ø 定 範 团 予 内 る Ø C と B لح 0

B

H

本

ď

如

何

左

る

磁

務

Ť

負

ĝ

Ż

又

B

本

0

錢

漪

zčx

如

何

な

る

勮

2

雪

S

ح

2

It

勿

驗

江

る

す

る

小 合 笠 M 原 Š 動 す H 本 3 倒 4 土 K 関 (%) L 神 鑩 粂 小 約 쑆 地 原 域 1 Ť H (1) 本 四 領 太 土 챞 洋 (3) 0 B 梁 本 衡 顀 土 土 • 神 Ø 繝

何

n

ے

+

8

4

0

周

題

為

る

魁

(1)

世

相

I

缀

助

0

型

KC

刡

L

た

\$

Ø

7

あ る di. 米 個 は (2) を U て す る Ġ 相 耳 授 助 0 基 礎 と し 容

٤

Ø 見 懈 \* 滩 6 L 7 居 þ 極他 方 (8) \* 採 \$ 緆 は H 本 Ø 纖 粉 は 施

区 嫩 挺 供 Ø 办 ٤ 在 る XX. 從 来 0 艋 緯 K 鑑 米 倒 XX 此 Ø

方

M 同 \* 3 办 否 ል 灯 断 趤 出 来 九 Va

(Atc) 礷 菓 0 簭 麒 K H ታ る 鰠 鯔 粂 瓆 を 置 ₹ 2 ٤ 2 子 る

趣 曾 自 0 助 協 及 相 力 夈 耳 項 授 0 助 数 C K 傚 付 鮻 H 쉞 米 ナ 呵 8 H ٥ XX 右 其 Ø Ø 粂 防 項 衞 力 は 我 方 繈 K 辩 於 育 7 威 す 其 0

b

る

文 耆 デ 如 \* 個 H C I \* þ 决 癥 法 Ŀ 0 糟 Ø 糐 諡 \* 蠿 ¥ ゥ 生 -Ø 3 ج 惧 L - X T S 必 \$ 要 米 ۲ 認 倁 多 H T 所 嬲 M る ザ 0

111 (1) 鰠 现 資 行 協 安 保 力 粂 夈 瓆 約 \* Ø 置 閥 < 撥 2 優 2 略 K 得 関 失 \* \* る 规 緻 鲥 淀 \* は 3 置 Z) な VA 2 ح ع

に止めるものとする。

(X)

())

行 粂 政 約 協 Ø 定 期 Ø 限 取 H 級 神 超 IC 小 就 7 笠 厭 は Ø 證 扱 当 方 と þ は Ŗ 必 関 要 連 殿 L 少 て 腿 檢 Ø 討 闢 Ø 要 鐅 を 為 為 b . 0 す

#### SECRET



DRAFT TREATY OF MUTUAL COOPERATION AND SECURITY BETWEEN JAPAN AND THE UNITED STATES OF AMERICA

# PREAMBLE

Japan and the United States of America

Desiring to strengthen the bonds of peace and friendship traditionally existing between them, and to uphold the principles of democracy, individual liberty, and the rule of law,

Desiring further to encourage closer economic cooperation between them and to promote conditions of stability and economic well being in their countries,

Reaffirming their faith in the purposes and principles of the Charter of the United Nations, and their desire to live in peace with all peoples and all governments.

Recognizing their inherent right of individual or collective self defense as affirmed in the Charter of the United Nations,

Recognizing that they have common interest in the maintenance of international peace and security in the Far East,

Having resolved to conclude a treaty of mutual cooperation and security,

Therefore agree as follows:

ANTICLE I

#### ARTICLE I

The Parties undertake, as set forth in the Charter of the United Nations, to settle any international disputes in which they may be involved by peaceful means in such a manner that international peace and security and justice are not endangered and to refrain in their international relations from the threat or use of force against the territorial integrity or political independence of any state, or in any other manner inconsistent with the purposes of the United Nations.

#### ARTICLE II

The Parties will contribute toward the further development of peaceful and friendly international relations by strengthening their free institutions, by bringing about a better understanding of the principles upon which these institutions are founded, and by promoting conditions of stability and well being. They will seek to eliminate conflict in their international economic policies and will encourage economic collaboration between them.

#### ARTICLE III

The Parties will consult together whenever in the opinion of either of them international peace and security in the Far East is threatened.

ARTICLE IV

#### Article IV

Japan grants to the United States of America, subject to such conditions as may be agreed upon, the use of certain facilities and areas in Japan by the United States land, air and sea forces.

## ARTICLE V

- 1. If an armed attack occurs against Japan, the United States of America shall take such joint measures with Japan as are necessary for the defense of the latter.
- 2. Any such armed attack and all measures taken as a result thereof shall be immediately reported to the Security Council of the United Nations in accordance with the provisions of Article 51 of the Charter. Such measures shall be terminated when the Security Council has taken the measures necessary to restore and maintain international peace and security.

## ARTICLE VI

In order that the joint measures mentioned in paragraph 1 of the preceding Article be taken effectively, the Parties, separately and jointly, by means of continuous and effective self-help and mutual aid will maintain and develop their individual and collective capacity to resist armed attack.

#### ARTICLE VII

- 1. This Treaty does not affect and shall not be interpreted as affecting in any way the rights and obligations of the Parties under the Charter of the United Nations or the responsibility of the United Nations for the maintenance of international peace and security.
- 2. This Treaty will be implemented by each Party in accordance with the constitutional provisions of the respective countries.

## ARTICLE VIII

The Parties will consult together from time to time regarding the implementation of this Treaty.

#### ARTICLE IX

This Treaty shall be ratified by Japan and the United States of America in accordance with their respective constitutional procedures and will enter into force on the date on which the instruments of ratification thereof have been exchanged by them in Washington.

#### ARTICLE X

The Security Treaty between Japan and the United States of America signed at the city of San Francisco on September 8, 1951 and the Administrative Agreement, as amended, under

Article III thereof shall expire upon the entering into force of this Treaty.

#### ARTICLE XI

- 1. This Treaty shall remain in force for a period of
- ( ) years, and shall continue in force thereafter until terminated as provided in paragraph 2 below.
- 2. Either Party may, by giving one year's written notice to the other Party, terminate this Treaty at the end of the period mentioned in paragraph 1 above or at any time thereafter.
- 3. Notwithstanding the provisions of the two preceding paragraphs, this Treaty shall expire whenever in the opinion of the Governments of Japan and the United States of America there shall have come into force such United Nations arrangements as will satisfactorily provide for the maintenance of international peace and security in the Japan Area.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned Plenipotentiaries have signed this Treaty.

DONE in duplicate at Tokyo in the Japanese and English languages, both equally authentic, this day of

FOR JAPAN:

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:

#### PROTOCOL

At the time of signing the Treaty of Mutual Cooperation and Security between Japan and the United States of America, the undersigned Plenipotentiaries, duly authorized by their respective Covernments, have further agreed on the following provisions concerning the implementation of Article III, which shall be considered integral parts of the aforesaid Treaty:

The deployment of United States forces and their equipment into Japan and the use of facilities and areas within Japan as the bases of military operations for purposes other than the defense of Japan shall be effected upon consultation with the Government of Japan.

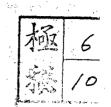
IN WITNESS WHEREOF the respective Plenipotentiaries have signed this Protocol.

DONE in duplicate at Tokyo in the Japanese and English languages, both equally authentic, this day of

FOR JAPAN:

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:

33-11-19



#### Article II

- 1. The Parties undertake to take joint and separate action in cooperation with the United Nations for the achievement of the purposes set forth in Article 55 of the Charter.
- 2. The Parties will cooperate with each other in the economic field and encourage economic cooperation between their respective peoples, and will seek to eliminate conflicts in their economic relations.

極 6 秒 / 0



# (Article 2)

The Parties, with a view to strengthening their ties of friendship and cooperation, will take every possible measure to develop closer cultural relations, to deeper mutual understanding of their peoples, to facilitate free trade and to encourage economic cooperations between their peoples.

# (Article 3)

The Parties will, in order to safeguard and uphold the principles of democracy, strengthen their free institutions based on the respect for human rights, promote social progress and better standards of life of their peoples, and maintain and develop, by means of continuous and effective self-help and mutual aid, their defense capabilities.

右

K

这

L

て

新

朱

約

は、現

下

Ø

東

亜

運

學

愶

勢

及

C

白

蘅

麽

0

現

况

K

保 籴 約 改 正 VC B する 件 艺艺 许花打

安

現 行 条 約 Ø 問 題 点 及 V 新 粂 約 Ø 檞 憇

現 行 条 約 K 対 L て は 般 的 1/C 自 ) 主安 性 X)· な M

対

鑏

で

な

Ś な یج Ø 批 判 X)× 行 わ #2 7 b る Ż 瑰 行 条 約 Ø 内 容 H 間 題 ٤ さ

て 5 る 酷 点 及 右 K る 新 朱 約の 樽 想 圣 女 n は 左 Ø ح お

h

n

U 舆 す 概 述

೭ 左 る

(1) 瑰 行 条 約 H 米 軍 駐 屯 Ø 榴 利 ž 与 兔 て S 3 Ż. 米 

Ø

日

本

防

衢

は 趨 務 づ H 6 れ て Va な Va ح Ø 批 判 XV. あ る

XX. Ĺ zis. 办 米 軍 Ø 駐 屯 £ 祕 め Z) つ な L 5 办 Ø 形 定 10 1 b 米

田 Ø H 本 防 衛 戦 務 ž 明 Ø, VC す る ٤ ٤ 4 KC 自 衞 傲 と 在 日 米 卸

0 齺 力 K 籨 を 基 儊 5 H る ح ح 圣 H ŔĴ لح す る

(m)

, C

現

行

条

約

VC

盐

5

て

は

Œ

H

米

選

は

極

東

Ø

安

全

Ø

た

め

使

用

L

9

鏗

る ح ٤ と な っ 7 甘 ŋ な L ) 5 Ø 制 躍 な < 対 外 作 戰 奎 な L 9 る

ح Ė 12 る 危 鮻 Ż あ る ٤ Ø 批 判 X): あ る

前

ح

な

つ

て

V

る

Ø

て

H

本

Ø

遼

向

K

反

L

7

自

勴

的

K

戦

争

KC

ŧ

È

IC あ 新 る 条 程 約 度 は Ø ح 訊 Ø 約 点 \* K W Ż ک 在 ح H \* 米 目 簠 的 Ø と H す 本 鰕 3 媙 Ħ 外 本 K

基

地

作

戦

盐

H

る

行

動

勯 Ø た 使 用 す る 2 ح を 鼢 縊 審 項 ح す る 0 伹 L 補 給 ヌ 係 KC 8

約 おけず る ک ٤ KC は 米 田 H 闻 宜 L 左 Va 0 0

は 右 Ø ほ Ż. 東 Ø 盛 粂 K 項 戦 Ł 争 觀 Ø H 觝 3 颐 X 生 す る X)S ح ح è 合 H 米 兩

現 行 朱 約 て 壮 在 H 米 運 Ø 配 戂 及 V 装 傶 VC 関 L 制 阪 ψ. な

るとの批判がある。

米

は

H

本

0

黛

闻

を

쌣

觀

·L

て

核

兵

器

Ť

B

3

込

to

埭

そ

n

**7**1.

(A)

新 条 約 K 去 M 7 壮 ん 5 N/A 0 肜 式 VC 甘 V T 在 H 米 重

及

Z.

簽

\*

酱

識

礟

項

<u>ک</u> ویونور

ح

0

種

批

料

奎

封

\*

る

ک

ح

٤

す

る

Ø

(=) 珽 行 条 約" Ø 内 乱 条 項 H 独 文 H 논 L て 0 体 面 釜 多 ゅ H る

新条約においては、この種条項は設けない。

あ

る

೭

Ø

批

¥

Ż.

\*

8

行 条 約 て B 本 は 米 H Ø 同 黨 左 < L て 第 === 园 VC 基 地 供

یج ¥ な 条 र b K ح 生 ٤ Va \* H 約 L 2 T Ø V る Ø 項 It 壮 屈 酸 嬮 H BY な て B 3 ح Ø 批 判 Ž,

現 行 条 約 K は 蓬 黢 濉 ح Ø 籅 係 Ż. 规 定 5 12 て b な S と 0 批

判がある。

4

新条約においては、国連憲章と

0

W

K

癥

第

五

+

粂

と

Ø

数

係

圣

明

磴

K

規

定

す

る

(H) 瑰 行 条 約 IC 郑 鼮 0 定 8 Ø な Va ح کے 6 批 判 Ø 対 象 と な て

新条約には期限を付する。

右 各 糧 备 頂 # 米 軍 Ø H 本 K ¥ け る 配 饡 及 Z, 使 用 0 問 顕 及 Z, 圈

後 連 者 灉 IC 難 っ ځ Ø M T A 係 は そ は Ø 眸 後 交 年 換 Ø H 公 米 文 χ). 会 行 ଚ も Ø 殿 n て Ø Va 共 る 闻 XX. 芦 明 좖 K 条 實 約 及 な K t n S

てはさらに明確化することとなる。

右 Ø 旺 Ž, B 治 艇 済 朱 項一 ż 設 H る 水 否 ፟ 0 間 臘 及 ZX. H 米 两 H XX.

自 助 及 V 相 互 援 Di K I ŋ 访 衙 力 圣 蘕 発 展 さ 世 る ح Ø 趣 旨 O 条

奎 鵔 H る 办 Ø 閱 題 Ż. あ り 蹇 法 上 Ø 盐 を 生 Ľ な 5 I 9 文 雷 VC

þ K 注 黨 Ŋ, 奎 要 米 す 伽 る は XX .10 b 右 B は 汝 る K 日 ン 運 デ 最 援 ン ベ 助 1 0 根 拠 規 定 ح ŋ な る 6 Ø て

I

Ø 精 神 圣 变 D す B 0 ٤. L て 重 燮 視 L τ Va る

以

上

**Ø** 

て

حے

8

槲

趣

Ż.

実

現

す

n

ば

•

現

存

条

約

办

自

主

性

を

欠

<

٤ Ø 批 判 Ø 甜" 点 K 応 兔 9 る ک ટ ح 左 る žìš 新 粂 約 ž 汝 等 な B Ø

式 と を 相 互 N. 援 助 型 米 ٤ H な Ø す H 本 È 防 P 獅 Ø 쬻 閥 H 題 圣 圣 明 生 確 ず 化 る す る た め KC は 条 約 Ø 形

相 互 援 助 方 式 Ø 間 盟 及 T 神 纖 小 笠 原 0 取 扱 S

米 H I 太 ¥ 举 地 域 0 赭 国 ځ Ø 安 全 保 麿 粂 約 K お 5 て 相 互 援 助

太

答

と

7

て

Va

る

0

米

H

H

ح

n

5

0

髂

H

I

ŋ

舆

質

的

K

は

穳

極

的

授

助

9 计 る ۲ ٤ 荃 期 符 L て M 左 S Ż. 同 盟 Ø 係 K あ る ځ Ø 精 神 面 を

重 視 L Ż つ ح 0 K 웇 奎 と る 2 ح K 1 相 手 H Ø 体 面 查 重 する

ŋ

と Ø 考 麿 \$ 3 て 5 3 0 す な ゎ 5 ح . Ø 方 式 奎 չ る ح ٢ K l b

n 条 約 仕 K 太 的 K 壮 対 等 な \$ Ø ح 左 7 7 5 る 0

Ħ 米 閩 0 新 条 約 IC 1 Va て b 米 H 相 互 援 助 形 式 釜 と る ح ح を

IC 出 窯 Va L て て 瀊 Va 法 る 上 X Ø 問 闻 盟 時 圣 KC 4 生 \* 次 る 交 ZX. 渉 ح K ٤ お È 5 離 て 務 H 本 は 負 کے ゎ L. な T は VA ح M 新 5 籴 的

X). 前 攓 ځ な つ て V る Ø ~~~ 米 田 **%** H 本 VC 期 待 L て V る Ø は

ば 同 盟 0 糣 鞹 全 明 6 办 K す る ح と て あ る

ح. Ø 方 式 查 ح る ح す 11 ば **S** ok Ħ 米 相 互 Ø 饀 螆 奎 5 ゎ **V** る 条

約

地

域

VC 指 定 L ح J. \* 政 盤 を 5 计 た 合 兩 は 相 互 VC 掇 助 L 合 9 ۲

ح ح な る ٥ ح Ø 条 約 地 城 H 常 쐝 的 K は 西 太 ZZ. 举 K 站 H る H 米 相 瓦

Ø 顀 土 及 77 管 癣 下 K あ る 坳 域 Ł Va 5 形 ટ 左 る **%** 洣 随 は ح n ZŽŽ H

本 Ø ķ 内 वा 政 饄 上 で M あ 難 る て عے Š Ø n Ħ ば 闻 존 米 8 僡 6 顀 L 域 て 荃 b 神 る 繼 0 ک 小 Ø 笠 朅 厭 合 Ø み 핶 ح 部 李 • る 小 ٠ 笠

原 K 炊 L て 攻 整 Ż M 夂 5 れ n ば • 日 本 は 灪 法 Ø 範 囲 内 K お S て 米

ح 国 と を と 援 左 助 Z す Ż る H ح ح 邎 ح 法 次 解 る 釈 di. Ø 関 具 題 体 7 的 あ IC H ŋ 本 目 XX 下 3 研 办 究 左 中 る 鏹 7 禹 務 る 찯 負

ح Ø 方 太 を ح る 杨 合 米 離 米 薙 条 約 **Ø** 条 約 坳 城 IC 本

飊 Ż. 含 ŧ 11 T Va る 0 T 新 条 約 K L b 麔 舆 上' S わ W る N £. A T O

行 XX. 形 づ ¢ 5 12 る C 中 ځ K 文 B ٠ ځ Ø 批 判 及 U 米 0 東 亜 R 盐 H る 盤 篮 跟

動

Z/X

滩

纖

基

地

ż

心

يخ

\*\*

る

政

係

上

栄

Ø

巢

斑

各

垃

IC

盐

け

る

礟

行 鋤 XX 神 耀 \* 7 な ď 目 ٢ L T , B 本 K 埊 超 反 K 企 生 Ľ B 本 は 蹬

VC ŧ 8 Z 囊 1 3 觝 験 W. あ 3 ٤ Ø 批 判 X 1 T IC 生 ľ 7 Va る

性 ح 格 Ø ľ 位 现 う 行 左 条 批 約 判 闻 \* 鐖 \* 基 戯 垃 L 協 冠 相 耳 ĦÌ 左 遻 助 B 方 0 ح 太 な 奎 'n 斷 念 す 恢 n 辫 H • 歌 ح 夈 Va 3 約

縦 4 H 繙 쩇 7 7 6 7 る \* 兔 左 Va 0

۲ A \* 之 ح 7 ٢ \* Z. W. 次 ٤ L る 述 Ø 在 O L 2 X C た 2 \* 7 ح 定 \* D 11 0 11 治 VC. 粂 I 的 • 件 兇 灣 台 Ø 新 麔 F 9 1 簽 b 按 約 K H Z 红 相 \* 審 Ø E 与 H H 簑 یے \* 本 助 方 L 顩 H 垃 米 太 7 1 重 \* 米 Ø 0 放 H 臍 쨣 使 用 は 屯 女 る B \* \* 本 翩 翻 8 4 为 B 防 る t

る 捣 す て Ħ 合 る 本 ح 防 米 Ø 衢 考 之 \* 之 3 失 方 3 湰 K 7 世 文 ŀ L つ ح 世 め る L と Ø 饪 ځ 9 Ż な る 果 る Ź L Ż. て 0 围 5 ح 題 Ź Ø 办 左 方 あ 3 大 程 þ 老 度 米 ک 奎 伽 て VC n は 米 提 粱 4 H 後 숲 子

の交渉にかかることである。

条 Ø 為 地 項 防 域 る 左 奎 衢 **1**/2 0 ż 設 Ø 政 ح H た n 盤 ح る \* **₹** 8 0 ح 可 9 地 掛 と 能 H 域 合 Ġ 2 K た 帲 考 翻 掛 K 4 え Ø 合 L 6 る 7 小 揩 Ħ 笠 n は る 懓 本 風 ZX. 民 を は 눈 龖 丧 憋 Va 帲 ٠٤-務 憤 z). 趣 る ح Ø K ح 問 L 取 ح 小 て 題 扱 ). 쑢 Z) で Ŗ 原 て な あ 5 は È < る べ • 米 る Ø è 国 ۲ と ø 7 Ø Ø n Ø 管 ح 5 ۲ 閗 鸋 ح 地 n 圈

K ζ. あ る 3 地 ح 域 Va ح Va L 9 て る ح 7 n あ 奎 -3 絵 外 9 す る ŧ た ح 米 ح が 健 擂 は 題 軟 奎 進 縬 小 化 笠 L 原 VC 関 攤 Ü

下

8

域

5

ķ

次 交 谜 を 闻 地 揻 Ø 施 政 楹 返 選 閨 題 ع 舆 連 世 L め Õ ح ح K は 極

て 豁 戒 的 T あ ð

原 上 Ø 取 浙 鈒 0 4 髅 方 4 は 懀 K 本 Ż 件 N 变 X 沙 み 中 牳 相 互 KC 政 援 助 治 肜 决 定 太 0 \* 婴 問 す 題 る 及 と Ŋ ح 神 ろ

瓣

小

45

で

あ

る

新 夈 約 Ø 攤 邈 K 対 ナ る 内 Ø 反 錣

上 述 L 九 新 夈 約 Ø 樽 想 が 1 内 的 ) KC Va χþ IC 評 価 さ n る Ż). Ť 現 在

E

磴

K

Ŧ

選

す

る

ح

۲

H

Ġ

٤

Ì

ŋ

答

易

て

な

W

0

\*

た

現

行

条

約

K

扙

李

る 自 主 性 XX 左 Va \* 按 等 て な Va <u>\_\_\_</u> 左 یج Ø 艘 的 な 园 内 批 割 H

各 種 Ø 不 糍 圣 抽 象 的 K 裘 題 L た B Ø て ð b す べ 7 Ø 人 A Ť 衡 足

中 L め 3 方 式 は あ ŋ 兔 な S 0

Ż 本 X)X 5 現 行 条 約一 Ż, 自 主 性 爸 欠 < ح 0 批 刺 K 対

H 本 Ø 汝 米 発 官 楢 \* L 独 立 国 ح L て Ø 体 面 奎 回 復 す る ٤ Ø

点 K > Va 7 は 異 新 粂 約 Ø 樽 想 な H 第 項 M 0 示 Ø と 翻 b 於 て あ り そ

Ø

趿

b

ic.

台

Va

て

縊

H

杏

ŋ

兔

5

筈

て

あ

る

L

Ż,

L

左

5

部

Ø 夔 力 **7**). 反 汝 玄 展 選 す る ح ع 必 須 て あ b 牸 K 米 軍 Ø 日 本 基 妣

奎 使 付 用 平 K \* 関 ے L Ø 点 驖 K 使 按 用 L \* T 協 H 塞 項 共 齑 ٤ 僡 L K 報 補 復 紿 攻 Ó 盤 た Ø Ø 理 Ø 由 使 釜 用 与 K. 兔 は 鮙 H 嬮

本 は 戰 争 K Í 8 ح ŧ n 3 بح Ø 主 張 奎 な す Å Ø ح 考 文 5 n る 0 L አ<u>ን</u>

Ø 行 動 IC 飿 約 圣 譔 李 る ح ٤ は で È 左 Va 0 す な わ 3 米 鄮 Ø 他 地

L

な

Ż.

6

H

本

防

蘅

Ø

必

要

Ŀ

米

缸

Ø

駐

屯

奎

認

80

る

以

L

そ

Ø

切

Ø 動 は 4 と ľ ŋ B 本 價 域 外 Ø 行 動 Ŕ 定 Ø 夈 件 0 F K 認

3 ح ٤ 논 L な け n H 在 一日 米 選 Źń H 本 防 爾 0 た め Ø. み 胚 駐 屯 す

ځ Va 9 Ż ح ځ Ě 条 件 K は 米 田 ځ L て B 応 t 兔 M

L Z/A L な 'n. 6 基 魀 Ø **F** 戦 -使 用 ح 袖 給 儊 用 を 5 χ'n K 区 別 す

る

À

な یج K X L て 脸 ž 生 ず 3 ۲ E 付 覚 悟 し t < ح ځ 2 必 要 て あ ろ 90

次 VC 相 互 援 肋 肜 式 查 لح る 繼 合 Ø 图 題 点 壮 既 述 L た ٠ ح ح ろ て あ る

新 粂 約 奎 式。 姣 4 0 P Ø ځ L 闭 盥 Ø 糟 神 を 明 5 办 K \* る た め

VC

項 は K 述 ح べ Ø た K 反 挨 圣 脸 ح 0 る ح 性 Ž). ٤ • が 少 必 < 婴 ٤ Ď 8 ح 肜 考 文 定 的 5 IC n It る 現 Ž. 行 夈 ح 約 0 IC 勘 左 合 Va 簈 新

5 た 左 鑑 赘 奎 負 9 ح Ø 颴 Ľ 奎 与 兔 る 点 K t 10 て 内 Ø 政 治 的 抵 抗

は強まるであろう。

两 田 そ N. Ø Ė 他 助 主 及 た U 8 相 批 扣 互 掇 Ø 女 助 K 象 1 ځ ŋ 左 防 る Ŗ 衛 力 Ø \* ح 考 盤 牸 兔 5 発 n 展 る な 0 世 は る 0 日

趣 Ø 条 瓊 及 u 合 IC I b 約 Ø 期 礰 Ø 問 て あ る ٤ 考 兔 5 n Ş

U Ŀ Ø と 2 < ¹ 相 互 援 助 形。 式。 Ø 間 躓 圣 応 驗 外 L 7 考 兔 t ば 総 じ

新 条 約 O 越 は 現 行 条 約 K 按 保 \* 0 点 る IC 批 判 t VA Ø 龤 て 点 は 旗 を 麥 的 N. K n 10 少 つ 7

Ż

れ

是

ラ

る ح 考 免 5 n る

正

す

る

\$

0

T

3

ŋ

自

守

性

0

確

ス シ 1 ١ は 大 巾 K 有 利 C な

て 反 按 行 溉 K b n る 7 8 ろ 9 \* ح Ø 楹 扭. 判 は 米 を 盘 屯 世 L 的

L

る

争

K

I

Š

۲

堂

n

る

伥

険

性

云

R

Ø

批

判

H

K

必 5 \* 左 2 5 ń Ø 角 脧 I ŋ 生 \* ŏ 6 Ø 7 あ る

M 翼 連 L T 两 欧 K # 5 て は 米 重 Ø 存 在 そ n Ė 体 ŽŽ 騣 大

Ø

۲ 阳 Ø 点 止 力 T 8 3 ٤ O 儅 念 水 櫌 底 L て Va る ď. 7 ジ 7 K 法 Va て 壮

兔

方

Ø

盖

異

D.

あ

る

ح

ح

は

認

D

4

る

荃

兔

な

S

Ż,

L

左

Z)Z

ح

れ

\* 国 ٤ Ø 安 全 保 蹬 体 儬 奎 썙 梤 す 3 Ż, 中 欢 主 錢 を ೬ る አ Ø

鹽 M žiX る Ø ~ B る

そ Ø 瀊 睞 VC \* S T 現 行 条 約 Ł 種 K Ø 批 料

VC 盤 闘 3 n 左 H n H \* 5 左 Va.

て

H

本

Ø

安

全

\*

瓣

梤

李

る

た

B

重

要

左

役

翻

を

嶽

ľ

て

è

た

ح

ځ

は

特

K

B

掏

5

ず

現

在

호

À L 太 - XX 5 安 保 籴 約 改 Œ 間 題 は H \* Ø 基 本 的 進 路 Ł 再

認 す る 黨 珠 VC 苔 Ø て 条 約 凝 棄 鼬 す な ゎ 5 中 立 主 錢 奎 主 碨

力 ځ Ø 决 定 的 政 祫 题 と な る 0 ٤ 籼 断 \$ n る

# SECRET

DRAFT TREATY OF EUTUAL COOPERATION FOR SECURITY ESTWEEN JAPAN AND THE UNITED STATES OF AMERICA

Japan and the United States of America

Desiring to strengthen the bonds of peace and friendship traditionally existing between them, and to uphold the principles of democracy, individual liberty, and the rule of law,

tionally existing between them, and to uphold the prines of democracy, individual liberty, and the rule of law,
Reaffirming their faith in the purposes and principles
the Charter of the United Nations, and their desire to live
sace with all peoples and all governments.
Recognizing their inherent right of individual or collective of the Charter of the United Mations, and their desire to live in peace with all peoples and all governments,

self defense as affirmed in the Charter of the United Mations,

Considering the fact that there still exists a state of unrest in the Far East where they have common interest in the maintenance of international peace and security.

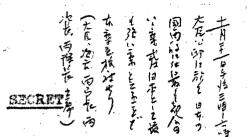
Having resolved to conclude a treaty of mutual cooperation for security,

Therefore agree as follows:

#### ARTICLE I

The Parties undertake, as set forth in the Charter of the United Nations, to settle any international disputes in which they may be involved by peaceful means in such a manner

that



DEAFT TREATY OF MUTUAL COOPERATION FOR SECURITY
HETWOEN JAPAN AND THE UNITED STATES OF AMERICA

Japan and the United States of America

Desiring to strengthen the bonds of peace and friendship traditionally existing between them, and to uphold the principles of democracy, individual liberty, and the rule of law.

Reaffirming their faith in the purposes and principles of the Charter of the United Nations, and their desire to live in peace with all peoples and all governments,

Recognizing their inherent right of individual or collective self defense as affirmed in the Charter of the United Nations.

Recognizing that they have common interest in the maintenance of international peace and security in the Far East,

Having resolved to conclude a treaty of mutual cooperation and security,

Therefore agree as follows:

#### ARTICLE I

The Parties undertake, as set forth in the Charter of the United Mations, to settle any international disputes in which they may be involved by peaceful means in such a manner

that

that international peace and security and justice are not endangered and to refrain in their international relations from the threat or use of force against the territorial integrity or political independence of any state, or in any other manner inconsistent with the purposes of the United Nations.

#### ARTICLE II

The Parties will consult together whenever in the opinion of either of them international peace and security in the Far East is threatened.

# ARTICLE III

Japan grants to the United States of America, subject to such conditions as may be agreed upon, the use of certain facilities and areas in Japan by the United States land, air and sea forces.

## ARTICLE IV

- 1. If an armed attack occurs against Japan, the United States of America shall take such joint measures with Japan as are necessary for the defense of the latter.
- 2. Any such armed attack and all measures taken as a result thereof shall be immediately re-orted to the Security Council of the United Nations in accordance with the provisions

of Article 51 of the Charter. Such measures shall be terminated when the Security Council has taken the measures necessary to restore and maintain international peace and security.

## ARTICLE V

- 1. This Treaty does not affect and shall not be interpreted as affecting in any way the rights and obligations of the Parties under the Charter of the United Nations or the responsibility of the United Nations for the maintenance of international peace and security.
- 2. This Treaty will be implemented by each Party in accordance with the constitutional provisions of the respective countries.

#### ARTICLE VI

The Parties will consult together from time to time regarding the implementation of this Treaty.

#### ARTICLE VII

This Treaty shall be ratified by Japan and the United States of America in accordance with their respective constitutional procedures and will enter into force on the date on which the instruments of ratification thereof have been exchanged by them in Washington.

## ARTICLE VIII

The Security Treaty between Japan and the United States of America signed at the city of San Francisco on September 8, 1951 shall expire upon the entering into force of this Treaty.

## ARTICLE IX

- 1. This Treaty shall remain in force for a period of ( ) years, and shall continue in force thereafter until terminated as provided in paragraph 2 below.
- 2. Either Party may, by giving one year's written notice to the other Party, terminate this Treaty at the end of the period mentioned in paragraph 1 above or at any time thereafter.
- 3. Notwithstanding the provisions of the two preceding paragraphs, this Treaty shall expire whenever in the opinion of the Governments of Japan and the United States of America there shall have come into force such United Nations arrangements as will satisfactorily provide for the maintenance of international pasce and security in the Japan Area.

IN WITHESS WHEREOF the undersigned Plenipotentiaries have signed this Treaty.

DOKE in duplicate at Tokyo in the Japanese and English languages, both equally authentic, this day of

FOR JAPAN:

POR THE UNITED STATES OF AMERICA:

## PROTOCOL

At the time of signing the Treaty of Mutual Cooperation for and Security between Japan and the United States of America, the undersigned Plenipotentiaries, duly authorized by their respective Governments, have further agreed on the following provisions concerning the implementation of Article III, which shall be considered integral parts of the aforesaid Treaty:

Major changes in the disposition of the United States forces (including their equipment) maintained in Japan and the use of facilities and areas within Japan as the bases of military operations for purposes other than the defense of Japan shall be effected upon prior consultation with the Government of Japan.

IN WITHESS WEEREOF the respective Plenipotentiaries have signed this Protocol.

DONE in duplicate at Tokyo in the Japanese and English languages, both equally authentic, this day of

FOR JAPAN:

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:

大臣了处 必九丁 各台等なり 治生 朱星长数 大压 発職ちのを降する明かとあり、又党内のででは海 てまた。 すけいあては或指が見透か至る上中にを行る少多事こと 特に付かなしたかい 十月三六日於空医在李老便食得就 あ回の今での降安全保障得的問題の社会をスローグランする事 北京大 回得 其のお子をものまれしまけもそう得る気運にろ 1のわる子三年上日三十日とちには一ちらすかがるままり マンター 在二十五下公下 幸事人 半作为 ハーツ書をた

参拿記

THE CHARLES	THE SPEED HE A MORN TON		ne special		energia en es		-	,
かの異とあるとのとは人ではは、日本である。大う中山をいるは、松々かはい上げ	上声 ますしましいできますにきをうちゃうりとない	るのだんのうとかいては少松十日でのまりの事をしてしてある。	ぬれるは我ななしてはまかをくうお客である、日本的なをまと	李的好意理己冷我了了。本日は一つの沈雪也找露一家了的之体		そろもなど行かいけいは芝田湖なりとれるまい。好情なそと		行かなけんない。かん我方子子子或我なぼや果的に代了去的の

济

	ar day in the second	e vin secretari proprietari				
魔をするとは別ゆてみる。七小はあとしてはきかいまけて支持する必然	物高年、地村のは割り至ひかくあけいあり、又大多党は右う中部	考了公室がす。 りょうはむすびでは 井田氏は友が、三木、地田民は時	意にるること、 生がからまはれていたりますしとて、甘の上て中にはない	ことかはまちのはは益するとうなりからからいまってしてことで、りかはかかる	ことである。七度段乃以子務を大が七件方公とはあってもとかなった。十八十二	ころもの生み方から進いから)ナれているかかかろうとかいけんはなるとろろ

· 答

生をいる。 さいは 中まとうな	省及等風信の於上谷と打了とのきなで降上げた以下五日	です。八日本のなれを受して	在 事件无法的我之一行	世のからあり、歩のをはっ	we than to the your worth	かとまいはははるるとなるいまったからかちたとうたれかっきこと
されば上事上ったするが天子の時を対か	とのきなでは上げたい	本のなれを受しての方法なるなれる世でで通り	之大り、はれり過してきちも	の意味で大阪了神法は全人同意見	いれなければちと国あること	たんかさけたにきたり
かすなけずりになって	うるり、本のはひひ	走好的	多地和松飞行人等	意見である。	- やまないとうるいとう	いきとは少るひある

務

**************************************							
古は記及子務を下は、お好なが其のコンセプトにおて半月かんの同望ると	国なるコメントを到しない	大使 は今の方法は基立に記さるのできるある、御行を得てるたり	传云的了到给一年者之下文文的()	(大臣子)别传一分四项以下在张科里中少九、女子同分九项之	「五月世明王	以は大きなな物のきかをがたとしてはしてるである。	はなってはのとからしは勢はよいそうるのをかある。かかる人のはよける

務

務

717	PROPERTY AND ADDRESS.			e de la constante de la consta	a kangera a		
少草事かまいますかられからか、其の理化を申してる。	で気かする。米風的とてはとうして一気をし得ない花ちなかある。何故	上の国体育をはなか大声好を出るをはからくとりも前えるな	である。をはまはながろうとしてする。ころりとすとはきるななりと	学者を日本的のなとしてアントンに美了ならば、今次のまちはどりて終了		米国のやするでははいなとれていいからとしている、持っある。一元しいり	メデする最格である。地には今の上年来は勿病未は一見しれ大である

務

•							MANAGES TO SERVICE STREET		· ·
るるれなななが、生刻のかは	立まる限り面中の世にはなるかなま	てりちなととなるははははは	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	かなけいなうないとちろる、光しお様なはほるます故をか	軍事同盟でなく、其父に		信務だしたからとはないようらである	失う方に其ななコンセットの問題をあずる	
はてり 谷町ますることで		ないななとまるいはないは		る光し男様な場合を	其文に を迎の打盗、目のの相互性		いうりでする 大体は	うはいなるような 米耳は	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
そで一あり、主智研究	い。いつとはいれてきまなちと	一种一种	)	子校をかないたない上院	2 the comment interest 2 2 4 + 3	<b>1</b>	明好的を投出松供	米耳作 年本年中一里日 特长的	

何かない上一得色思る。以上有特色人的附入了は問題は	すいろは 其の重像は死部し得かるめではないと思けれ、此がそれ	少少法職官事的恐心方。日本的可問犯が等回的と	「タカヤーとうの見いけしてはお見しのりもまないってあって、かる	か、此が得項なしては上院は通うたい。自即の努力をして、大米国	治一半事少三者、引力徒院以上就是仍几百四人批正得中的校	The state of the s
	いがそからず	いというというと	その海をな	な、米風のサル	ゆの校立である	

元子子	得なまたったう	おようそれにけてを成して書いる様なることを見いないたろかとまるとうがなるとはくてっているがあるというではくてっと近くてっとでする	次でするなうにいいとうがいはあとしていまかしいという。	高之はろうろうからかったまっまって、お孫を通を二たつけ
-----	---------	--	-----------------------------	-----------------------------

されたう米国はいれいにたいかがするとろろコマントメントを与うると
とうも現には、七面のを降してるなるかなくなりかてたらず 日本からを
は、動物がある。そう草葉で表現は同と中国治しという
elly
に限えてまるは、自分は現地にいうから日本的の事情を発が世来でと思
中国等了委任心民の問題にあて個人好な感じを中止ける。 きを日本るよの
23.
七次特の金書的をですところことではいか、とがきではまかいと高勝からし

P. Cameron	No.	AT ON TORSE AND A	THE STREET	*************	 	aren de les e	BEAKTION NEWS	· ·	
	すばからうない。	事。惟君以限之日本与生之院的上一里		られ、以外屋では野田である。以の東地を井屋歌寺	い、将於政政を日本まれ限る次十個大多元次は学会		と言うはりはまれてある。何以そりから	かすなの行動するとるるなのだ 米图もし	とおうことです。何とからきな老親かなう得るそである。
		をから上一年にコンセプトしき、ないるといろふ		出屋教育なり打監して	なる次は当人はか悪いのであ		大ちかあっかいかいれるからな	白老的你的方方是老妻可	行るだっある。大面のただしな

Printer constitutive systematical and secure and constitution report and and analysis and an a	2年に特力ををおっている日本的で	行的學是日初之は、米的は多時写文	ACCUMENTATION .	としておけるやるきはかない。		は潜るである。としまりなりまない		ことは言ふとしていい、中日本がアスカ	はり以上以子、知病 日本かれたか	J	けてはまりした今意かあることか少まてあることは
	で国人ろと本名をかかられることは	 支持与又多了次的自己的情气在前用し			Ометинентего	空日中的 大多元は去的	'nye	又的我你多五色的是人心了了	於松煌传名成中以及は協議が必要な		てるることは日でいかり初選なり

かつ方はも種行文の得を見る。何かとせよ我りはでは失致する
からは免荷をく得るしおちかんなりは又形式としるたろう人
言質的な的るでなく、我的過でを好修好に遊今了樣問於するころ
を考了五方子小了八分、七小十一年三年之事し 砂在 日発にならないの
ることは立事ない。若日本例で変がなっていけず大地接は変質的形式
得なっ行政はでははまりして法かせまればは将の万年に信ちす
,
知論日本例の内記で出国の自らせてりいてある、よりとしては好養

Company of the Company	BARRETT TO THE REAL PROPERTY OF THE PROPERTY O	AND THE COURSE OF THE COURSE O		i singan kangan kangan salah kangan kangan kangan kangan kangan kangan kangan kangan kangan kangan kangan kang
本が行いいのはなとまでよりつかは手のはないりとしてはとうかといれ	には生了なが後のお来にはしない。 路表院もよい様と思えれたいい日	地位と男かの形でするい。女喜はち得然の一時信之書として議会が北京のはないとってはなのとではないる、米はなとうは	か、福を書からからは限立の故能と成为了少年を生する。如と世子内容は	そうこうにおる、湯きまの大はりかはかまとしては捨てあると思す

務

	RECENSE ZORA DISKA WZZE SOŁINE ZOZEZ PŁYMENIA KONTORI IZ WORAZ		
一事で又いちらかかせらいなってであるはならないの日本例にしていまるたちの大多に発し得すまでなけがはひらないと思すったられる	大臣 塔海中工中上家公人在科は在皇海路公内设了、又经了大臣 苦苦的多用了降了办法方、我多写记得解决证公	为指言旅艺持入精为解说多文外、光外的杨公可了解之管子。高为含甲子外看了一方南公兴军使用了城隔天城外野用江中里	(M) A

務

はるお後致なし、一方方ちはち回の今後を報をし	かった。個人的にちのかろときまとうしていましょう	子ではなかと多く	あっていたのであって、竹町もやか、下はいくとかによる	はて子ろうが多はないないのそう。 年八年高石をはい	今代とこは立まる大けれていれなけれな得を行するい。大ちな	福的記事がまり、自分十十月的にかったまな国民をう
製	かいけんとうなるかに		しとかしまないとか云	孟石艺以条石以成		い国気をそり見している。

務

	•
程をひらばりとうとところととうよもうと、地方ないまと	•
	•
公司等要を好了是 これですが、同時に大使れたとし、此か	
· }	
ちらくうだった男は甚な方を全であるか、ような果となって、なってり	•
大臣 中国方方核が高者であると思う。	•
	•
なりりきかあかりとりかい。	
	:
地域内勢をえる一般の格がそしたとして被告することである。又地にもうと	
として草まるときことであり、又似ですちは上年事はなかったこととし、好れ	

· 省

The second secon			NATURE OF THE PROPERTY OF THE	**************************************	ngamiona yanudni kata in wat 1884 ta ka	MANAGEMENT SCALES
江国我があろうであらうか、三はるおうをである。こかすりは	大便 生の子は修弘地限を日本のサントする 大面のを活っるのを改	行的路里的由着是沃尔丁了了一里了一点的我们是打一造千了	英元度ゆうやさの「別にする人をするけ」云なんによる地 二は	防災夷務が投空の見後であること、ハウ書でといか、二は歌井	第四位 特に米州で草華として作むちから、七は三あり、一は米見の日本	かっている見てをない。

務

C. T.	OG - NATURAL BANKS OF STATE	a wyspating and beautiful mine of or			n Samahatan Sidopaga panda ann eucleana an ann an ann an an an an an an an a
土屋と少てするし、白からかり、九の様にてと年季が一応国了では	こととそうない。よろが主国にたらか多りからである。	高りろうでは事をそうつる時は失いのよるを本にして事と入りる	中文外に方性ではたり、「方法でんりようになる」とする。	一世の上で草要としてアントンにきるないしかい。ころ上をの作う	られておきまかしくろうななってろなくしてるだっとかられたかっていていたとうなる

en en en en en en en en en en en en en e	. Bilingungan bilang panggan panggan panggan panggan panggan panggan panggan panggan panggan panggan panggan p	MINUMENTS I S SALES AND AND AND AND AND AND AND AND AND AND			AN A PRINCIPAL P	. ,
		左尾 按接证面子?	なるワントンは抱むしゃうと思いる	あれば搭きしない方がよいと思る ちゅう今後のあては将然地代の内	大阪同島である年季に付けとてングを直方ある見るか立つとは外	思見は別とし、岩里人にり、活けていたりである。